

令和3年度国庫補助事業：  
中央アジア地域等貿易投資促進事業  
中央アジア投資環境整備・ビジネス振興事業  
産業育成ビジネスマッチング事業

**第2回**  
**中央アジア・バーチャルEXPO (CAVEXII)**  
**国別オンラインイベント報告書：**  
**カザフスタン**

2022年3月

**一般社団法人ロシアNIS貿易会**  
**ロシアNIS経済研究所**

## はじめに

産業育成ビジネスマッチング事業は、日本と中央アジア等地域との間の貿易・投資関係の発展と、対象国の産業多角化ならびに市場経済化促進に資することを目的とする「中央アジア地域等貿易投資促進事業」の一環である。原燃料・一次产品生产に特化した単純な産業構造を擁する中央アジア諸国にとって、産業多角化が長期的経済発展を図る上で不可欠の要件であるとの認識に立ち、これを日本企業とのビジネスマッチングを通じて支援することを目的とする。日本における事業パートナーの発掘を望む現地の業界団体・企業グループの訪日、あるいは同様に現地における事業パートナーとの出会いを望む日本の企業団体等の現地渡航を、情報提供や然るべき企業の紹介等によってサポートし、双方の交流活発化による貿易・投資促進を図る。

例年、産業育成ビジネスマッチング事業の対象となる案件は、基本的に中央アジア等諸国の企業グループを対象とする公募を通じて選定する。しかし、2020年初めから始まった新型コロナウイルスの世界的流行の影響で、感染防止を目的とした日本を含む各国政府の制限措置が行われ、日本人の現地への渡航、外国人の日本への招聘共に極めて困難な状況が続いている。かかる状況を受け、事業方針の抜本的変更のもと2021年2月に実施したのが、オンラインによるバーチャル・イベントを通じてビジネスマッチングを行う「中央アジア・バーチャルEXPO (CAVEX)」である。中央アジア5カ国の企業と日本企業との交流のためのオンライン・プラットフォームを設置し、投資プロジェクトPRのためのウェビナー、現地企業によるバーチャル展示会、双方企業によるB2B等を実施するもので、日本のみならず現地側からも多数の参加を得た。2022年に至るも依然として新型コロナウイルス感染症は終息を見せず、通常の直接的人的往来を基盤としたビジネスマッチング事業実施の目途が立たないことから、令和3年度は前年度事業の拡大版となる「第2回中央アジア・バーチャルEXPO (CAVEX II)」を実施し、オンラインによるバーチャル・イベントを通じたビジネスマッチングを行うものとした。

2022年1月17日（月）～3月4日（金）に開催した「第2回中央アジア・バーチャルEXPO (CAVEX II)」では、1月17日（月）にオンライン・プラットフォームとなる特設ウェブサイト

トを開設、1週間のプレオープン期間中に特設ウェブサイトを通じて参加各国の基礎情報や企業・組織を紹介し、B2B（商談会）の受付をスタートした。1月24日（月）からはバーチャル展示会を開催、2月25日（金）までの本開催期間中は1カ国当たり1週間をナショナルウィークとして設定し、投資ウェビナーや企業プレゼンテーション等のビジネスプロモーション・イベントを集中的に開催した。本開催期間後はフォローアップ期間とし、会期終了の3月4日（金）まで特設ウェブサイト、バーチャル展示会の運営やB2B（商談会）が続けられた。

本報告書は、令和3年度中央アジア地域等貿易投資促進事業における中央アジア投資環境整備・ビジネス振興事業の一環として、経済産業省の助成を得て刊行されたものである。CAVEX IIのカザフスタン・ナショナルウィーク中、2月1日（火）～2日（水）の2日間にわたって行われたウェビナー「カザフスタンと日本の投資発展の可能性」の概要を中心に、特設ウェブサイトのカザフスタンページやバーチャル展示会のカザフスタンブースの概要を記した。

本事業の開催にあたっては中央アジア各国の投資誘致機関、商工会議所、また在日大使館等が現地側カウンターパートとなり、参加企業・団体・組織の選定や企業情報の収集、オンラインイベントの実施にご協力いただいた。カザフスタンについては、在日カザフスタン共和国大使館に多大なご尽力をいただいたことに改めて謝意を表す。

2022年3月

（一社）ロシアNIS貿易会

ロシアNIS経済研究所

# 目次

## I. ウェビナー記録

1. プログラム	1
2. 報告・コメント・質疑応答	3
◆セッション1：総論「カザフスタンの投資環境」	
(1) ジャンドス・テミルガリ 国営企業「カザフインベスト」副総裁	3
報告「カザフスタンの投資環境」	
(2) マラト・ビリムジャン アスタナ国際金融センター地域協力ディレクター	13
報告「アスタナ国際金融センターの可能性」	
(3) ジャナスィル・オスパノフ株式会社「情報会計センター」会長	24
報告「カザフスタン民営化への参加の可能性」	
(4) 尾上修平 住友商事(株)アルマティ支店長コメント	30
セッション1カザフスタン側カウンターコメント	31
◆セッション2：テーマ別分科会「IT分野における協力の可能性」	
(5) アミルハン・エスケンディル 国際ITスタートアップ・テクノパーク「アスタナ・ハブ」国際関係・投資・輸出オフィスマネージャー	35
報告「アスタナ・ハブの可能性」	
(6) マディナ・ウムルザコヴァ 有限責任事業組合「Cerebra.ai」事業開発部長	45
企業プレゼンテーション	
(7) グリサヤ・オミラリ OQUDA株式会社事業開発部長	50
企業プレゼンテーション	
(8) ダウレン・バジロフ 有限責任事業組合「Clockster」事業開発部長	54
企業プレゼンテーション	
(9) 坂口憲一 (株)テクノソリューション取締役事業部長コメント	57
セッション2カザフスタン側カウンターコメント	59
◆セッション3：テーマ別分科会「医療分野における協力の可能性」	
(10) エルハト・イスカリエフ 有限責任事業組合「SK-Pharmacy」会長挨拶	60
(11) 有限責任事業組合「SK-Pharmacy」	
アイグリ・スィズディコヴァ 戦略部長	61
報告「医薬品のシングルディストリビューター」	

アシルハン・アシルベコフ医療機器調達モニタリング部長	77
報告「医療機器システムの改良」	
(12) サイダ・エルデンベコヴァ カザフスタン製薬企業「Medservice Plus」事業開発部長	81
報告「カザフスタンにおける医薬品製造の現地化」	
(13) マルス・マフムトフ株式会社アクチュブレントゲン常務コメント	87
(14) 山田紀子 ピー・ジェイ・エル(株)代表取締役社長コメント	88
セッション3 質疑応答	89
◆セッション4：テーマ別分科会「鉱業・冶金分野における協力の可能性」	
(15) ダニヤル・ミュルザフメトフ国営鉱業企業「タウケン・サムルク」投資・マーケティング部長	93
報告「国営鉱業企業『タウケン・サムルク』について」	
(16) アスハト・ジルバエフ有限責任事業組合「YDD Corporation」商業ディレクター	97
報告「YDD CorporationおよびAsiaFerroAlloysについて」	
(17) 西野元樹 アドバンストマテリアルジャパン(株)営業本部長コメント	100
セッション4 質疑応答	102
3. 当日紹介できなかった質問に対する報告者の書面回答	106
4. オンラインイベント参加者アンケート結果	108
II. 特設ウェブサイト・バーチャル展示会	
1. 特設ウェブサイト	117
2. バーチャル展示会	121
III. 付属資料	
カザフスタン概要	125

# I. ウェビナー記録

## 1. プログラム

### ウェビナー「カザフスタンと日本の投資発展の可能性」 セッション1:総論 & セッション2:IT分野 プログラム

- ◆日 付： 2022年2月1日（火）
- ◆時 間： セッション1；14:00-15:10（日本時間）／11:00-12:10（カザフスタン時間）  
セッション2；15:10-16:00（日本時間）／12:10-13:00（カザフスタン時間）
- ◆主 催： （一社）ロシアNIS貿易会
- ◆協 力： 経済産業省、日本カザフスタン経済委員会、在日カザフスタン共和国大使館
- ◆言 語： 日露同時通訳／◆会議システム：Zoom

日本時間 (カザフ時間)	プログラム
<b>14:00-15:10 (11:00-12:10)</b>	<b>セッション1：総論「カザフスタンの投資環境」</b>
14:00-14:03 (11:00-11:03)	◆開会・議事説明 輪島 実樹 （一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 部長
14:03-14:08 (11:03-11:08)	◆日本側来賓挨拶 高原 一郎 日本カザフスタン経済委員会 会長／丸紅(株) 取締役副会長
14:08-14:29 (11:08-11:29)	◆カザフスタン側報告「カザフスタンの投資環境」 ジャンドス・テムルガリ 国営企業「カザフィンベスト」副総裁
14:29-14:47 (11:29-11:47)	◆カザフスタン側報告「アスタナ国際金融センターの可能性」 マラト・ピリムジャン アスタナ国際金融センター地域協力ディレクター
14:47-14:55 (11:47-11:55)	◆カザフスタン側報告「カザフスタン民営化への参加の可能性」 ジャナスィル・オスパノフ 株式会社「情報会計センター」会長
14:55-15:00 (11:55-12:00)	◆日本側コメント 尾上 修平 住友商事(株) アルマティ支店長
15:00-15:10 (12:00-12:10)	◆カザフスタン側コメント ジャンドス・テムルガリ 国営企業「カザフィンベスト」副総裁
<b>15:10-16:00 (12:10-13:00)</b>	<b>セッション2：テーマ別分科会「IT分野における協力の可能性」</b>
15:10-15:13 (12:10-12:13)	◆開会・議事説明 輪島 実樹 （一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 部長
15:13-15:26 (12:13-12:26)	◆カザフスタン側報告「アスタナ・ハブの可能性」 アミルハン・エスケンディル 国際ITスタートアップ・テクノパーク「アスタナ・ハブ」 国際関係・投資・輸出オフィスマネージャー
15:26-15:35 (12:26-12:35)	◆CAVEX IIカザフスタン出展企業プレゼンテーション① マディナ・ウムルザコヴァ 有限責任事業組合「Cerebra.ai」 事業開発部長
15:35-15:40 (12:35-12:40)	◆CAVEX IIカザフスタン出展企業プレゼンテーション② グリサヤ・オミラリ OQUDA株式会社 事業開発部長
15:40-15:46 (12:40-12:46)	◆CAVEX IIカザフスタン出展企業プレゼンテーション③ ダウレン・バジロフ 有限責任事業組合「Clockster」 事業開発部長
15:46-15:53 (12:46-12:53)	◆日本側コメント 坂口 憲一 (株)テクノソリューション 取締役事業部長
15:53-16:00 (12:53-13:00)	◆カザフスタン側コメント／閉会

**ウェビナー「カザフスタンと日本の投資発展の可能性」**  
**セッション3：医療分野 & セッション4：鉱業・冶金分野 プログラム**

- ◆日 付： 2022年2月2日（水）
- ◆時 間： セッション3；14:00-15:10（日本時間）／11:00-12:10（カザフスタン時間）  
 セッション4；15:10-16:00（日本時間）／12:10-13:00（カザフスタン時間）
- ◆主 催： （一社）ロシアNIS貿易会
- ◆協 力： 経済産業省、日本カザフスタン経済委員会、在日カザフスタン共和国大使館
- ◆言 語： 日露同時通訳／◆会議システム：Zoom

日本時間 (カザフ時間)	プログラム
<b>14:00-15:10 (11:00-12:10)</b>	<b>セッション3：テーマ別分科会「医療分野における協力の可能性」</b>
14:00-14:04 (11:00-11:04)	◆開会・議事説明 輪島 実樹（一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 部長
14:04-14:06 (11:04-11:06)	◆カザフスタン側代表挨拶 サブル・エシムベコフ 駐日カザフスタン共和国特命全権大使
14:06-14:09 (11:06-11:09)	◆カザフスタン側代表挨拶 エルハト・イスカリエフ 有限責任事業組合「SK-Pharmacy」会長
14:09-14:31 (11:09-11:31)	◆カザフスタン側報告「医薬品のシングルディストリビューター」 アイグリ・スィズディコヴァ 有限責任事業組合「SK-Pharmacy」戦略部長 ◆カザフスタン側報告「医療機器システムの改良」 アシルハン・アシルベコフ 同 医療機器調達モニタリング部長
14:31-14:44 (11:31-11:44)	◆カザフスタン側報告「カザフスタンにおける医薬品製造の現地化」 サイダ・エルデンベコヴァ カザフスタン製薬企業「Medservice Plus」事業開発部長
14:44-14:47 (11:44-11:47)	◆カザフスタン側コメント マルス・マフムトフ 株式会社「アクチュブレントゲン」 常務
14:47-14:53 (11:47-11:53)	◆日本側コメント 山田 紀子 ピー・ジェイ・エル(株) 代表取締役社長
14:53-15:10 (11:53-12:10)	◆質疑応答
<b>15:10-16:00 (12:10-13:00)</b>	<b>セッション4：テーマ別分科会「鉱業・冶金分野における協力の可能性」</b>
15:10-15:13 (12:10-12:13)	◆開会・議事説明 輪島 実樹（一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 部長
15:13-15:23 (12:13-12:23)	◆カザフスタン側報告「国営鉱業企業『タウケン・サムルク』について」 ダニヤル・ミルザフメトフ 国営鉱業企業「タウケン・サムルク」 投資・マーケティング部長
15:23-15:34 (12:23-12:34)	◆カザフスタン側報告「YDD CorporationおよびAsiaFerroAlloysについて」 アスハト・シルバエフ 有限責任事業組合「YDD Corporation」 コマーシャルディレクター
15:34-15:41 (12:34-12:41)	◆日本側コメント 西野 元樹 アドバンストマテリアルジャパン(株) 営業本部長
15:41-16:00 (12:41-13:00)	◆質疑応答／閉会

## 2. 報告・コメント・質疑応答

### ◆セッション1: 総論「カザフスタンの投資環境」

#### (1) ジヤンドス・テミルガリ 国営企業「カザフィンベスト」副総裁 報告「カザフスタンの投資環境」

本日のイベントにご参加いただいた皆様に御礼を申し上げます。このようなイベントがカザフスタンと日本の経済協力の発展に重要な役割を果たすということは言うまでもない。本日は私の報告の中で、カザフスタンの投資ポテンシャル、我が国の支援策、カザフィンベストの活動をご紹介したい。

今日のカザフスタンは、国全体がいくつもの新しいチャンスや利益を生むビジネスの大きな可能性を秘めている。カザフスタンのキーファクターをいくつか挙げると、まず国土面積が世界で第9位である。面積的には世界の大国の1つということになる。人口は1,900万人。すべての国と友好的な関係にある。中央アジア最大の経済規模を誇り、GDPは1,700億ドルを超える。これは我が国以外の4カ国の合計よりも大きな額である。そのため、1人当たりGDPも中央アジアで最も高く、世界銀行のデータで上位中所得国とランクづけられている。また、カザフスタン経済には中央銀行とは別に国家基金があり、外貨準備高は合計で900億ドルを上回っている。これが世界経済の危機的状況下での経済的安定を保証している。

1991年の独立以降30年間で、カザフスタンは3,800億ドル以上の外国直接投資を誘致し、地域で最大の外国直接投資受け入れ国となった。日本はカザフスタンにとって、アジアにおける貿易・経済のキーパートナーの一国であり、我が国への投資国トップ10にも入っている。つい先日、カザフスタンと日本は国交樹立30周年を祝った。両国の貿易高は年間10億ドルを超えている。また日本企業は我が国で積極的に活動され、カザフスタンには40社以上、日本の資本が参加した法人が事業を行っている。これらは我々の協力の大きな可能性を証明している。

カザフスタンと日本の経済関係指標では、2020年以降のコロナ禍で経済関係の数値はそれまでに比べると減少したが、我々は2021年の数値、そして2022年の数値についても楽観的な目で見ている。なぜなら、いくつかの日本企業との間で、新たなプロジェクトも検討されているからだ。日本企業の皆様を、我が国とのより緊密な二国間関係にお招きしたい。

さて、カザフスタンが魅力的な投資先であることはすでに申し上げたが、これからその理由をお話ししたい。カザフスタンはユーラシア大陸の中央に位置し、豊富な天然資源、効率的な生産、良好な投資環境を誇っている。また国による全面的な投資・経済環境整備への支援が行

われている。投資家の権利の保護、相対的に安価で熟練した労働力を提供している。

我が国は戦略的な立地、欧州とアジアを結ぶ大陸間横断輸送回廊の交差点に位置する。中央アジア諸国や中国、カスピ海西部諸国など、5億人以上の消費者に直接アクセスできる市場をもっている。さらに東に行けば、ASEAN諸国を含むアジア諸国がある。また、「一带一路」構想でもカザフスタンは重要な役割を担っている。同構想の主要な陸路の25%にあたる3,000km以上がカザフスタンの国土を通過しているためである。中国から欧州への新しいルートでは、輸送時間が大幅に短縮され、現時点で約15日前後となり、海路の3分の1～4分の1の期間での輸送が可能である。これは中国、東アジア、日本からEU諸国への輸送を念頭に置いている。

この10年間でカザフスタン政府はインフラ整備に300億ドル以上を投資してきた。また中国をはじめ多くの国々との貿易・経済関係の協定を結んでいる。我が国はWTO、ユーラシア経済連合、上海協力機構など重要な国際機関、国際的な連合の正式な加盟国である。カザフスタンはグローバル市場へのゲートウェイとしてマルチモーダル輸送の機会を提供している。カスピ海にも面しているため、カスピ海沿岸諸国との流通もスムーズに行うことができる。そしてEUを含めた市場へのアクセスが可能である。

次に豊富な天然資源についてお話ししたい。カザフスタンでは国土の8割以上、2億2,000万haが農業生産に利用されている。国連食糧農業機関（FAO）によれば、我が国の農地面積は世界で6番目の広さである。また、カザフスタンは天然資源にも恵まれている。メンデレーエフの元素周期表にある105の元素のうち99、ほぼすべての元素が存在する。分かりやすい例で言えば、スマートフォンに使用されるレアアースの約9割をカザフスタンで採ることができるという興味深い事実がある。ウランやクロム、銅といった鉱物資源の生産・輸出では、我が国は世界でトップの位置を占めている。さらに世界銀行の評価によれば、カザフスタンには5,000以上の未調査の鉱床があり、その価値は46兆ドル以上と言われている。

それと並んで、カザフスタンは再生可能エネルギーを重要視しており、大きな可能性をもつと考えている。例えばカザフスタンの西部と北部には、「風の廊下」と言われる、常に風が秒速5mで吹いている地域があり、そこでは年間18億kWh以上の潜在能力があると言われている。また南部地域は、年間2,500～3,000時間の日照時間がある。代替エネルギーではいくつもの新しい分野が注目されており、例えばグリーン水素に関連した大きなプロジェクトが我が国で策定されている。

カザフスタンはユーラシアの中央にあるため、貿易に関しては多くの有望な、そして活力のある市場へのアクセスが可能だが、それに加えて強調したいのは、現在カザフスタンはすでにコスト効率性の高い製造拠点であるということだ。これはつまり、例えば近隣諸国と比較すると、カザフスタンでは電力、ガソリンの価格が手頃であることが分かる。ガスの価格は世界で

最も安い部類に入る。そのため競争力の高い電力、ガソリン、ガスを提供することができる。だからこそ現在、大きな製造拠点が作られ稼働しているのである。

カザフスタンが魅力的な投資先である次の理由は、ビジネス環境である。カザフスタンは力強く競争力のあるビジネス環境の整備を重視しており、例えばヘリテージ財団のランキングでは、電子政府開発指数はカザフスタンがCIS諸国中で1位である。また国連貿易開発会議（UNCTAD）によれば、カザフスタンは2021年、移行経済国の中で最も大きく外国直接投資が増加した。

我々は最良の国際基準に従って投資環境を常に改善している。近年は適切な立法基盤が作られ、投資家の権利を保障する二国間の投資条約が50件、多国間の投資条約が1件締結された。2017年、カザフスタンはOECD投資委員会の準加盟国となり、国際投資に関する宣言に参加し、国際的に高い認知度を示している。

また、新たな問題に対処するために必要なプラットフォームを確立しているということも強調したい。戦略的な問題については大統領が議長を務める外国投資家評議会があり、制度的・継続的な投資家の問題については、首相が議長を務める投資環境整備会議などがある。そのほか、アスタナ国際金融センターが、カザフスタンをグローバルなビジネス金融センターとして位置付けるうえでとても重要な役割を担っている。アスタナ国際金融センターからは私の後に報告をしていただく。最高の国際基準に従ったコモン・ロー裁判所のシステムなどについてもお話ししたいと思う。

カザフスタンが投資先として魅力的である次の理由は、熟練した労働力である。カザフスタンは地域で最も高い識字率を誇っている。国連の教育指標では我が国は世界で第35位の位置にある。この点は、日本の投資家の皆様にぜひとも注目していただきたい。カザフスタンは多言語国家だ。国民の英語力も高く、ビジネスを行いやすいことは間違いない。また国費留学プログラムがあり、1万5,000人近くの国内トップクラスの学生たちが世界のトップ100の大学で学んでいる。これらの若い人々は我が国の技術革新と発展の原動力となる。また、国内には130近い高等教育機関がある。

次は、我が国の政府、国家による全面的な支援についてお話ししたい。投資プロジェクトに対する包括的な支援には、税制上の優遇措置、つまり各種の補助金や、法人税、付加価値税、土地税、資産税の免除、そして非財政的な優遇措置、土地やインフラの無償提供などが含まれる。これは企業、特にメーカーにとっては非常に重要なポイントであると思う。

カザフスタンには13の経済特区と36のインダストリアル・ゾーンがあり、整備されたインフラと幅広い投資優遇措置を保証している。2021年より我が国では、政府との直接契約を可能にする新たな投資協定の制度が導入された。この協定を締結することで、締結日から25年間、法

律の安定性が保証される。これは、具体的な投資プロジェクトの参加者が締結できるものである。

ではここで、特にご注目いただきたい分野を挙げたい。カザフスタン経済の多角化を目指す政府は、アグリビジネス、ヘルスケア、輸送・物流、観光、石油化学、エンジニアリングなど様々な分野で投資の機会を創出している。アグリビジネスの中には食品加工業ももちろん含まれる。カザフィンベストでは、常に開発のポテンシャルが高い分野、ただいま挙げたような分野に関して分析を行っており、投資家にとって魅力的なニッチやプロジェクトの可能性を探っている。

カザフィンベストは経済やビジネスプラン、ファイナンスモデルを含む、170件以上の投資提案書を作成している。どのプロジェクトにおいても、地元のビジネスパートナーがイニシアチブを発揮してサポートを行う。日本の経済界の皆様、個々の企業の皆様に対する投資提案がある。すべて国際的な基準、そして国際的なベストプラクティスに沿った形での作業を行っている。投資家の皆様の決定をお待ちしている。

最後に、我々カザフィンベストについて簡潔にご説明したい。カザフィンベストは政府に代わって投資に関する交渉役を一手に引き受けている。カザフスタン国内のすべての地域に事務所をもち、海外にも事務所、代表部をもつ。このネットワークにより、投資プロジェクトのアイデアから実行、さらに投資後の期間に至るまでワン・ストップでサービスを提供することが可能である。我々の使命は、外国投資家の皆様にカザフスタンで良好な環境でビジネスをしていただくための条件を作り出すことである。スライドに掲載されているパートナーは特に規模の大きな企業だが、彼らは我々のパートナーの一部に過ぎない。

強調したいのは、原料・資源分野だけではなく、製造業においても世界有数の大企業がカザフスタンを選び、生産拠点の現地化を行っているということだ。特に食品加工や機械製造、石油化学分野の企業が進出している。金額的には、独立後のカザフスタンに入ってきた外国直接投資は3,500億ドルに達している。

投資家の皆様が我が国をすでに信頼していただいているということは認識しているが、我が国が投資環境の改善に今後も注力していくということをお約束する。カザフィンベストは、カザフスタンへの投資に関心をお持ちの日本企業の皆様を総合的にサポートすることを目指している。



## IMPORTANT FACTS ABOUT KAZAKHSTAN



### Peaceful and politically stable

Leader in Central Asia by Global Peace Index



### Territory 2.7 million km<sup>2</sup>

9th largest



### Highest GDP \$171.2 billion

Largest economy in Central Asia



### Highest GDP per capita in the region

Upper-middle economy



### Trade Turnover \$86.5 billion



### Population 19.1 million people



### International Reserves \$90.6 billion



### FDI over \$380 billion since 1991



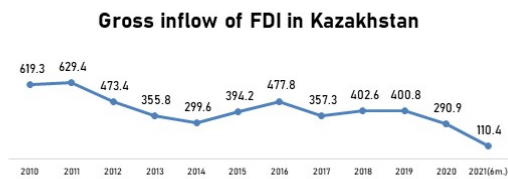
SOURCES: WORLD BANK, BUREAU OF NATIONAL STATISTICS, NATIONAL BANK OF KAZAKHSTAN [invest.gov.kz](http://invest.gov.kz)

## KAZAKHSTAN-JAPAN COOPERATION

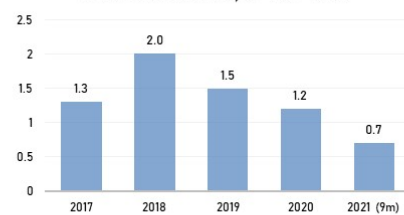


### 4.8 bln USD

Gross inflow of FDI in Kazakhstan (2010-2021(6m))



### Trade turnover, in bln USD



### Export to Japan

Crude oil, ferroalloys, tantalum

### Import from Japan

Pipes, medical devices, X-ray equipment, motor vehicles



[invest.gov.kz](http://invest.gov.kz)

## REASONS TO INVEST IN KAZAKHSTAN



**GATEWAY TO THE WORLD'S LARGEST MARKETS**



**ABUNDANT NATURAL RESOURCE BASE**



**COST-EFFICIENT MANUFACTURING HUB**



**BUSINESS-FRIENDLY ENVIRONMENT**



**QUALIFIED AND EDUCATED WORKFORCE**



**COMPREHENSIVE STATE SUPPORT**



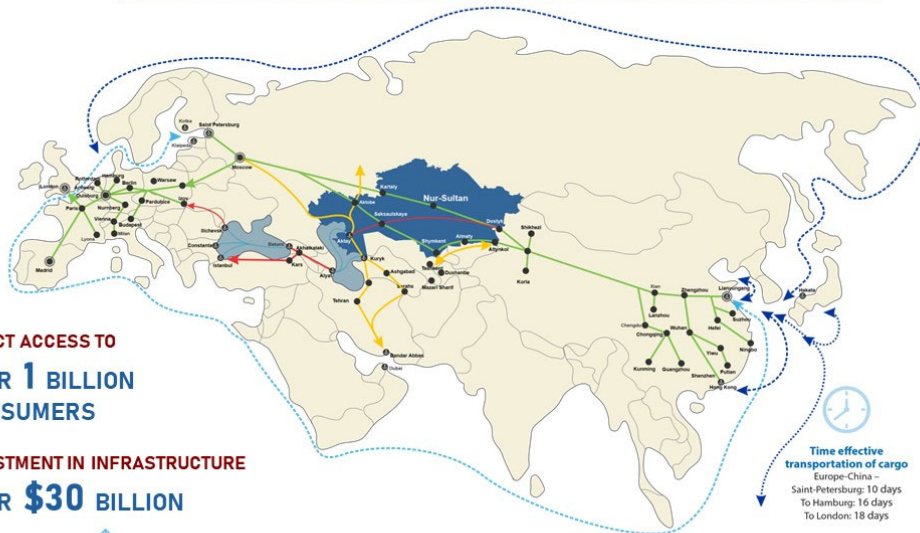
**VAST OPPORTUNITIES ACROSS SECTORS**



[invest.gov.kz](http://invest.gov.kz)

## REASON 1. GATEWAY TO THE WORLD'S LARGEST MARKETS

### DIVERSIFIED AND EFFICIENT TRANSCONTINENTAL TRANSPORTATION



**11** transport corridors

**168 700** km auto roads

**17 000** km railway

**24** airports, including 11 -open sky regime

**2** sea ports

Member of WTO, EAEU, SCO

Bilateral and multilateral trade agreements



[invest.gov.kz](http://invest.gov.kz)

## REASON 2. ABUNDANT NATURAL RESOURCE BASE

### KAZAKHSTAN'S GLOBAL RANK

MINERAL RESOURCES	RESERVES	PRODUCTION
Chromium	1	2
Uranium	2	1
Silver	5	12
Zinc	7	9
Lead	9	13
Coal	10	8
Iron ore	11	13
Molybdenum	11	12
Copper	11	10
Oil	12	13
Bauxite	13	10
Gold	16	10

### LAND

**#9** LARGEST COUNTRY IN THE WORLD

**220** MILLION HECTARES OF AGRICULTURAL LAND

**#6** IN THE WORLD FOR AGRICULTURAL LAND AREA (FAO)

**~5,000** UNEXPLORED DEPOSITS VALUED AT OVER **\$46 TRILLION** (WORLD BANK)

### THE BEST CONDITIONS FOR RENEWABLE ENERGY PROJECTS:

THE PRESENCE OF **WIND CORRIDORS** (5 M/S) IN THE WESTERN REGIONS - THE POTENTIAL IS 1.820 BILLION KWH PER YEAR

2500 - 3000 **SUNNY HOURS** PER YEAR IN THE SOUTHERN REGIONS



SOURCES: U.S. GEOLOGICAL SURVEY, BP, OPEC, WORLD SILVER SURVEY, WORLD NUCLEAR ASSOCIATION, OECD NEA & IAEA, URANIUM 2020, U.S. ENERGY INFORMATION ADMINISTRATION, INDEPENDENT STATISTICS AND ANALYSIS

[invest.gov.kz](http://invest.gov.kz)

## REASON 3. COST-EFFICIENT MANUFACTURING HUB

### ELECTRICITY PRICES FOR BUSINESS (USD/KWH)



### AVERAGE WAGES AFTER TAX (USD/MONTH)



### GASOLINE PRICES (USD/LITER)



### FAVORABLE TAX REGIME



### ACCESS TO RAW MATERIALS

Gas - **\$58,2** for 1000 m3 (the lowest price in the world and #2 for affordability)



SOURCES: WORLD BANK, INTERNATIONAL LABOUR ORGANIZATION, ANALYTICAL PORTAL GLOBALPETROLPRICES.COM, RIA RANKING [invest.gov.kz](http://invest.gov.kz)

## REASON 4. BUSINESS-FRIENDLY ENVIRONMENT

### KAZAKHSTAN ON THE GLOBAL ARENA

RANKING	
Index of economic freedom (Mostly Free, Heritage Foundation)	34
Global Competitiveness (IMD)	35
Global E-Government Development Index (1st among CIS countries)	29

### PLATFORMS FOR DIALOGUE BETWEEN PUBLIC AUTHORITIES AND INVESTOR

Foreign Investors' Council chaired by the <b>President</b>	on strategic issues
Council on Improvement Investment Climate chaired by the <b>Prime Minister</b>	on systematic issues
Investment Council chaired by the <b>Prime Minister</b>	on current problems of investors



50 bilateral and 1 multilateral investment treaties



Associate member of the OECD Investment Committee



#1 in FDI growth among transition economies (UNCTAD, 2021)

Unique financial hub that brings together the best practices and opportunities offered by similar institutions around the globe



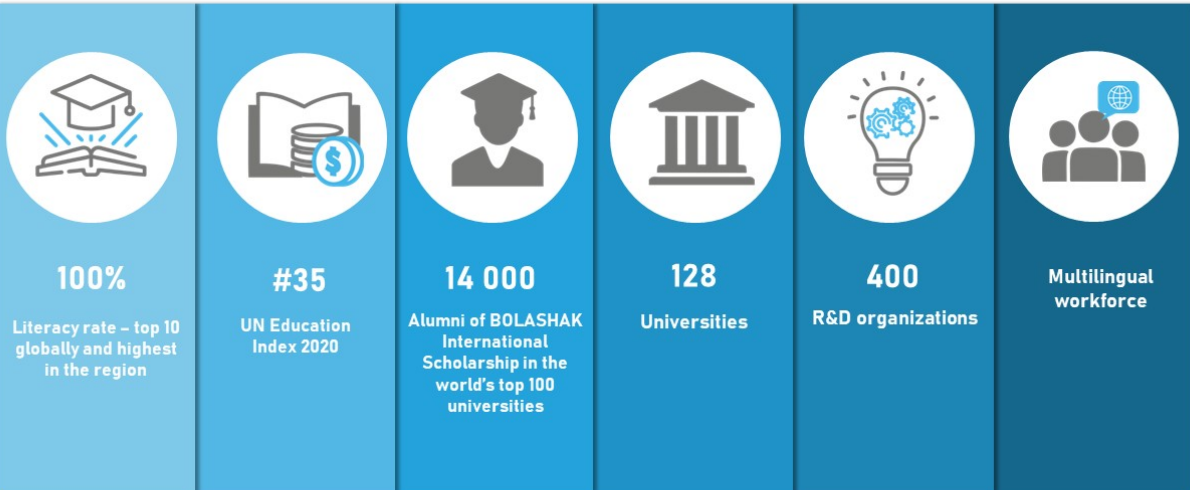
Arbitration center and Court based on British Common Law and independent of the Kazakhstani judiciary

Stock Exchange received status "Recognized stock exchange" from the Royal tax and customs service of Great Britain



[invest.gov.kz](http://invest.gov.kz)

## REASON 5. QUALIFIED AND EDUCATED WORKFORCE



[invest.gov.kz](http://invest.gov.kz)

## REASON 6. COMPREHENSIVE STATE SUPPORT



**13** Special Economic zones

**36** Industrial Zones



SINCE 2021, INVESTORS (WITH PROJECTS OVER \$50 MLN.) HAVE THE OPPORTUNITY TO SIGN A CUSTOM-MADE AGREEMENT DIRECTLY WITH THE GOVERNMENT ENSURING STABILITY OF LEGISLATION FOR 25 YEARS

KAZAKH INVEST  
NATIONAL COMPANY

[www.invest.gov.kz](http://www.invest.gov.kz)

## REASON 7. VAST OPPORTUNITIES ACROSS SECTORS



**Agribusiness**  
57 projects



**Mining and Metallurgy**  
41 projects



**Chemical and Petrochemical Industry**  
12 projects



**Healthcare and Pharmaceuticals**  
15 projects



**Transportation, Logistics and Infrastructure**  
7 projects



**Tourism**  
7 projects



**Machinery building**  
9 projects



**Others**  
23 projects

KAZAKH INVEST offers over **170** investment proposals, including teaser, business plan and financial model. Every project is initiated and backed by a local business partner

KAZAKH INVEST  
NATIONAL COMPANY

[invest.gov.kz](http://www.invest.gov.kz)

## ULTIMATE INVESTMENT GUIDE IN KAZAKHSTAN



**KAZAKH INVEST**  
NATIONAL COMPANY

**ONE - STOP SHOP**  
FOR INVESTORS IN  
KAZAKHSTAN

**FULL-FLEDGED  
SUPPORT**  
AT ALL STAGES OF  
PROJECT  
IMPLEMENTATION

**EXPERTS**  
WITH LOCAL  
KNOWLEDGE AND  
INDUSTRY EXPERTISE

**NETWORK OF  
REPRESENTATIVES**  
ABROAD AND IN ALL  
REGIONS OF  
KAZAKHSTAN



[invest.gov.kz](http://invest.gov.kz)

## OUR PARTNERS



GLENCORE



**HITACHI**

**Marubeni**

**HEIDELBERG  
CEMENT**



**CLAAS**

**ALSTOM**



**citibank**



**THE LINDE GROUP**



**RioTinto**



[invest.gov.kz](http://invest.gov.kz)

## (2)マラト・ビルムジャン アスタナ国際金融センター地域協力ディレクター 報告「アスタナ国際金融センターの可能性」

我々の機関、アスタナ国際金融センター（AIFC）には、投資リスク低減のためのプラットフォーム、地域投資ハブとしての役割がある。先ほどの報告にもあったが、カザフスタンが大きな投資の可能性をもつ一国というだけではなく、地域全体のファイナンスセンター、そして直接投資ハブであることを強調したい。そのため、AIFCはカザフインベストとともに、我々の国を地域のビジネスセンター、ファイナンスセンター、そして輸送・物流センターにするべく、大規模な活動を推進している。つまり、ある種シンガポールやドバイのようなものをこの中央アジアに作るということだ。そしてこの点に関して、AIFCは中央アジア諸国だけでなくコーカサス諸国やモンゴルなどユーラシアの国々をも含むすべての地域における、一種の投資リスク低減ためのプラットフォームなのである。

最初に、トカエフ大統領による、地域投資ハブおよび直接投資の地域センターについての理念をご紹介したい。これは地域からAIFCへのローカリゼーションを意味するもので、投資企業、投資銀行、国家投資エージェンシー、直接投資基金、その運営会社、コンサルティングファーム、その他のブローカーなど、我々には様々な法人・機関をまとめる役割がある。直接投資の地域センターの創設により、多様化した地域の様々な投資プロジェクトを実現していくことができる。大規模な機関投資家や個人投資家の誘致によりAIFCを通じた取引量を増やしていくことで、地域センターとしてのAIFCの魅力を高め、地域へのグローバルファイナンスの窓口を提供することができるようになる。つまり、カザフスタンの豊かさの向上だけでなく、AIFCには地域全体のファイナンスセンターとなるという大きな課題がある。我々は金融分野だけでなく、投資やあらゆる資本分野への技術移転を通じて発展を支援していく。

AIFCのケリムベトフ総裁は、AIFCの使命について、革新的な金融商品・サービス開発を促進すること、そしてそれによってカザフスタンの持続可能な経済発展に大きく貢献することだと述べている。また資本については、製造資本（製品の生産・加工に関する資本）、金融資本（ファイナンスセンターとしての資本）、社会資本、人的資本、自然資本（天然資源に関する資本）に分かれている。つまりAIFCの目的は、投資の誘致、技術移転の促進により、カザフスタンだけでなく地域全体において、様々な方向に資本を永遠に成長させていく可能性を提供することにある。

次にAIFCのストラクチャーについてお話ししたい。AIFCのストラクチャーの中心となるのは管理評議会であり、その下に総裁、そして様々な機関がある。エコシステムとしては、「Expat Centre（エクスパット支援機関）」「Business Connect」「Islamic Finance」「Tech」「GFC（グリーン

ファイナンスセンター)」「BCPD (人的資本発展の機関)」などがある。

それから、AIFCの管轄についてお話ししたい。AIFCの法的体制は、法律諮問委員会が中心となり、過去3年間にわたりその整備に向けての多大な作業がなされ、完成したものである。法令の観点では、ロンドンやドバイなど世界最良のファイナンスセンターと類似のものを導入しており、国際投資家にとって分かりやすいものとなっている。

AIFCにはビジネスや投資に関する紛争解決のため、世界レベルの法律の専門家がいる。英国のコモン・ローを熟知する優れた国際裁判官がいる。すでに765件の判決・調停・仲裁の事例がある。国際監査基準については、AIFCの経営陣をご覧くださいと、カザフスタンだけでなく世界でも非常に著名な法律家を起用していることがお分かりいただけると思う。

今日では、60以上の国々から1,000以上の企業がAIFCに参加企業として登録されている。

ポートフォリオについて、総投資額は50億ドルを超えており、そのうちポートフォリオ投資が18億ドル、開発機関あるいはAIFCに登録された大手の国際的な開発銀行を通じた直接投資が21億ドル、AIFC参加企業自身による直接投資が1億ドル、そしてファンド経由の直接投資が13億ドルとなっている。

では、金融機関としてどのようなメリットがあるかという点をお話しする。もちろんまずは「ファースト・ムーバーズ・アドバンテージ」である。AIFCは参加企業にカザフスタンのあらゆる投資機会を提供するだけでなく、国家福祉基金「サムルク・カズィナ」傘下の大手企業との協力により、資産管理調整のプロセスにおいて、また民営化プログラムへの参加において追加の優遇措置がある。そのほか引き受けサービスについては、AIFCの参加企業は地域の主要な引き受け会社となることができる可能性もある。カザフスタンや我々の地域における投資機会のより近くにいられる。

ニッチ資本市場セグメントについては、我々はいくつかの規制措置を簡素化し、純利益や時価総額などアスタナ国際取引所(AIX)の指定する要件の部分的な免除を行っている。この点については、オーストラリアやトロントの取引所とも協力をしている。それにより多くのジュニア・マイニング・セグメントでの投資機会が現れている。カザフインベストからの報告で、カザフスタンには多くの分野での投資の可能性があることをご紹介したが、特に鉱業・冶金分野の可能性は大きい。その他の方面ではグリーンボンド発行や費用の払い戻し、より簡素化された規制措置(一部の規制対象活動のライセンス承認手続きの簡素化)などが挙げられる。

また、先ほど様々な資本があることをご紹介したが、それぞれの方面で国際的なパートナーとの具体的な協力関係にある。自然資本、製造資本、人的資本、社会資本を利用することにより、持続可能な開発への貢献を行っている。

そのほかの方面として、イスラム金融もある。すでにイスラム開発銀行やカタール国際イス

ラム銀行とは大きな協力関係にあり、イスラム金融カントリーインデックス（IFCI）では第14位となっている。またAIFCはこれらのパートナーとカザフスタンにおけるイスラム金融開発のためのマスタープランも策定している。

グリーンファイナンス開発は、我々のエコシステム機関であるグリーンファイナンスセンター（GFC）が中心となって行っている。これについては、すでに中央アジアや欧州の中でナンバーワンであると言えることができる。またGFCはカザフスタンのグリーンタクソノミーにも取り組み、代替エネルギー分野での規制や基準の策定に関し省庁への支援も行っている。すでに5億ドルのグリーンプロジェクトがある。

また技術・イノベーションの開発にも、我々は大きな焦点を当てている。エコシステムとしての技術・イノベーション・フィンテック開発分野では膨大な分析が行われ、カザフスタン企業、中央アジア企業、そしてAIFCへの登録を希望する国際企業に対する数多くの支援プログラムがある。市場調査や業界分析、スタートアップにとってのアクセスサポート、パートナーシップのネットワークサポートなどである。

人的資本開発については、AIFC継続的専門能力開発局（BCPD）のリザーブプールとしてすでに1万3,000件強の実績がある。これらの人々はAIFCで技能向上のトレーニング、研修、再訓練プログラムを受けた人々である。プログラムには米国証券アナリスト（CFA）や英国勅許公認会計士（ACCA）、データサイエンスやウェブサービス資格の取得なども含まれる。

我々は全地域のプロジェクトのデータベースを作成しており、ここには2,600件を超える総額100億ドル以上のプロジェクトがある。また将来的な投資プロジェクトのため、国家のデジタル投資プラットフォームを整備している。



## REGIONAL INVESTMENT HUB

2

*"AIFC can act as a connecting link between the countries of the region. The center should work closely with international partners in the East and West, North and South."*

**Kassym-Jomart Tokayev**  
The President of the Republic of Kazakhstan

At the Management Council meeting, July 2020



AIFC

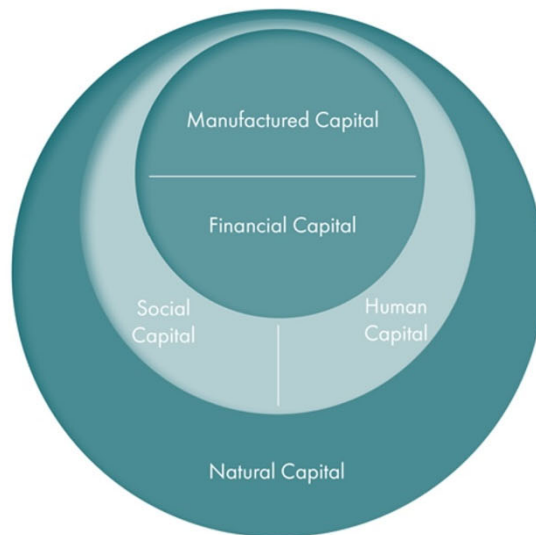
## AIFC MISSION

3



*"AIFC shall significantly contribute to the sustainable economic development of Kazakhstan and the Region by fostering innovative financial products and services"*

**Dr. Kairat Kelimbetov**  
AIFC Governor



AIFC

# AIFC STRUCTURE



# AIFC JURISDICTION

The AIFC legal regime is specially adapted and well-designed to operate in a special way envisaged by the Constitutional Statute. Its acts are tailored in English specifically for doing business in the AIFC and, which are familiar to the global market players. The AIFC Acts were preliminary approved by the AIFC Legal Advisory Council, which members are highly qualified lawyers and represent well-known London-based law firms and barristers' chambers.



## LEGAL ADVISORY COUNCIL



**Michael Blair QC**

Chairman

Michael Blair QC is Leading Counsel at 3 Verulam Buildings Barristers and a specialist on financial services and financial services regulation. Continuously rated by Chambers and Partners as a "Star Individual" in the financial services category over the last 8 years.



Simon FT Cox



Andrew Oldland QC



Andrew Roberts



Michael Thomas



Christopher Campbell-Holt



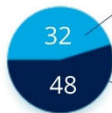
Roy Pearce



Francis Fitzherbert-Brockholes

### AIFC ACTS:

- Based on principles, legislation and precedents of the law of England and Wales and the standards of leading global financial centres;
- Acts adopted by the AIFC Bodies, which cover majority of relationships between registered or recognised companies in the AIFC and other relevant persons; on corporate, contract, employment and other matters. The coverage of activities is being constantly extended



### AIFC FINANCIAL SERVICES FRAMEWORK

Financial Services Framework / Auditor / Conduct of Business / Takaful and Retakaful / Recognition Insurance and Reinsurance / Collective Investment Scheme / Banking Business Prudential / Anti-Money Laundering / Pre-IPO Listings / Representative Office // Fees + other acts

### AIFC GENERAL LEGAL FRAMEWORK

On AIFC Acts / Security / Contract / Companies / Netting / General Partnership / Obligations / Damages and Remedies / Court / Personal Property + other acts

## WORLD CLASS DISPUTE RESOLUTION AUTHORITIES

6



**The Rt. Hon. The Lord Mance**  
AIFC Court Chief Justice

Lord Mance has many years of experience in commercial law and international trade, in public and private international law and in European law. He was appointed Deputy President of the UK Supreme Court in 2017.



**Mr. Christopher Campbell-Holt**  
Registrar and Chief Executive of the AIFC Court and IAC

Mr. Campbell-Holt is responsible for the day-to-day management and administration of the Court and IAC and case management of litigation and alternative dispute resolution as delegated by the Chief Justice and IAC Chairman.



**Ms. Barbara Dohmann QC**  
Chairman of the AIFC International Arbitration Centre

Barbara Dohmann QC has been one of the UK's leading commercial barristers and an international arbitrator for many years. She has extensive experience of appearing before foreign courts in very large commercial disputes.



THE RT. HON. THE LORD FAULKES QC



THE RT. HON. SIR RUPERT JACKSON



THE RT. HON. SIR JACK BEATSON FBA



THE RT. HON. SIR STEPHEN RICHARDS



ANDREW SPINK QC



THOMAS MONTAGU-SMITH QC



CHARLES BANNER QC



PATRICIA EDWARDS

**9**  
JUDGES

TOTAL CASES AT THE AIFC COURT AND IAC

**765**

**Court**

**17**  
JUDGEMENTS

**IAC**

**748**  
ARBITRATION AND MEDIATION CASES

**1958**

NEW YORK CONVENTION GUIDE

**41**  
INTERNATIONAL ARBITRATORS

E-Justice

AIFC

## WORLD CLASS REGULATORY STANDARDS

7

### ASTANA FINANCIAL SERVICES AUTHORITY

the regulatory body of the AIFC, which is independent and the financial regulation is based on international standards. The key posts are occupied by UK-recognised experts in the field of jurisprudence and finance.

### MEMBER OF KEY GLOBAL STANDARD SETTING INTERNATIONAL ORGANISATIONS



**IAIS**  
INTERNATIONAL ASSOCIATION OF INSURANCE SUPERVISORS



**AAOIFI**  
ARAB BANKING SUPERVISORS ASSOCIATION



**FinCoNet**  
INTERNATIONAL FINANCIAL CENTRES PROTECTION ORGANISATION



**Mr MARC HOLTZMAN**

Chairman of the Board of Directors

Marc Holtzman has assumed the position of Chairman of the AFSA Board of Directors as of 1 January 2021. He has previously served as a Non-executive independent member of the Board of Directors. Mr Marc Holtzman is the Chairman of BK Group, the largest Bank in Rwanda and Chairman of CBZ, Zimbabwe's largest financial institution. Previously he headed Kazkommertsbank in Kazakhstan and served as Vice Chairman of Barclays Capital and as Vice Chairman of ABN Amro Bank as well as President of the University of Denver. Mr Holtzman also currently serves as a member of the Board of Directors of TTEC, the world's leading provider of analytics-driven technology-enabled services.



**MRS ANGELA KNIGHT CBE**  
Deputy Chairman of the Board, Chairman of the Audit and Risk Committee



**DR AKASH DEEP**  
Non-executive independent member of the Board



**MR DANIEL HELLER**  
Non-executive independent member of the Board



**MR GREGORY TAMZER**  
Non-executive independent member of the Board, Chairman of Legislative Committee



**DR IAIN SAVILLE CBE**  
Non-executive independent member of the Board



**MR MASOOD AHMED**  
Non-executive independent member of the Board, Chairman Nomination and Remuneration Committee



**MR MARAT AITENOV**  
Non-executive member of the Board



**MR MUKHTAR BUBEYEV**  
Executive member of the Board, Chief Executive Officer

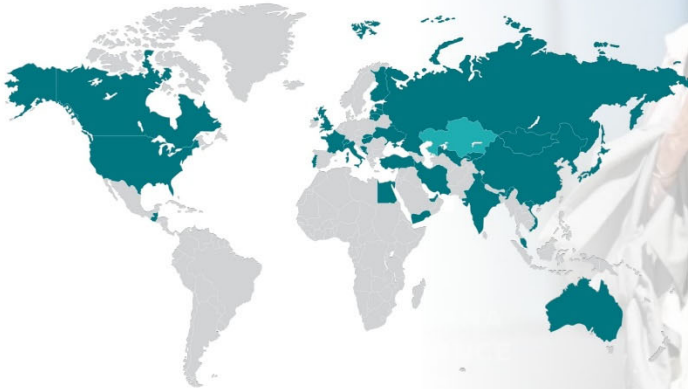
E-Residence

AIFC

## AIFC - REGIONAL FINANCIAL CENTRE

9

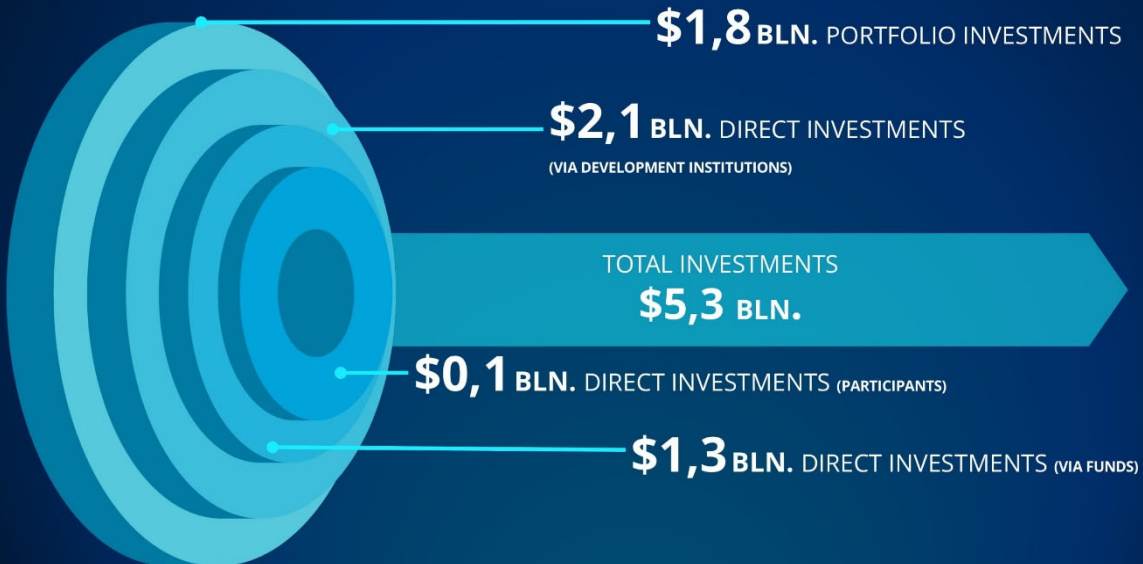
Over **1000** companies from **60** countries  
REGISTERED AS AIFC PARTICIPANTS



AIFC

## AIFC – REGIONAL INVESTMENTS HUB

10



AIFC Investment Platform

AIFC

## ADVANTAGES FOR FINANCIAL INSTITUTIONS

11

### First mover advantage

**Added weighting for AIFC Participants** in SWF's asset management procurement process. Participation in the privatisation programme.

**Underwriting services:** Potential to gain the status of the main local and subsequently regional underwriter in an underdeveloped underwriting market.

### Niche capital market segments

**Mining and Junior Mining** synchronised with Toronto, Australian, AIM; exemptions from several AIX Business Rules listing requirements, such as net profit and market capitalisation requirements.

**Regional Equity Market Segment (REMS):** A simplified prospectus and regulatory regime with free-float market cap not exceeding USD 200 mn and minimum free-float level reduced to 15% of share capital.

**Green Bonds and reimbursement of costs** for mandatory external verification required for green bonds issuance.

### Simplified regulatory measures

**Simplified authorisation procedures for licenses of some regulated activities** (incl. advisory on investments & credit facilities, arranging deals in investments & credit facilities, insurance intermediation and insurance management).

**Post-COVID relief:** Changes to base capital requirements (to USD 5mn) and waiver of liquid asset requirements for certain activities for 3 years from 2020.

AIFC

## AIFC – CONTRIBUTION TOWARDS SUSTAINABLE DEVELOPMENT

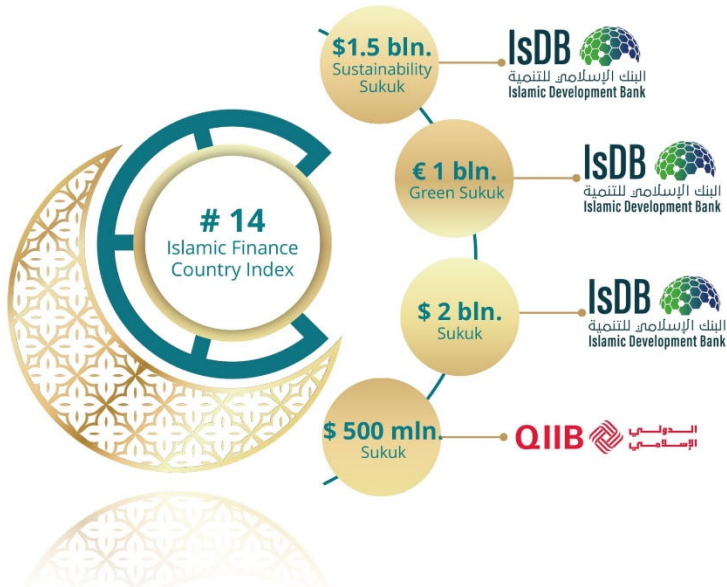
12



AIFC

## ISLAMIC FINANCE DEVELOPMENT

13



The AIFC has developed a **Master Plan** for the development of **Islamic finance in Kazakhstan** until 2025 and a legal framework with the assistance of the IDB and ADB



ASIAN DEVELOPMENT BANK

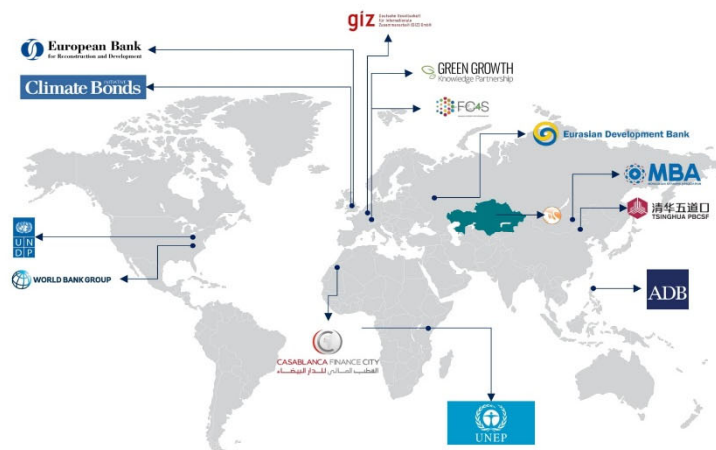
AIFC

## GREEN FINANCE DEVELOPMENT

14



Authority



Kazakhstan signed the Paris Climate Change Agreement in August 2016 and ratified it in December 2016.

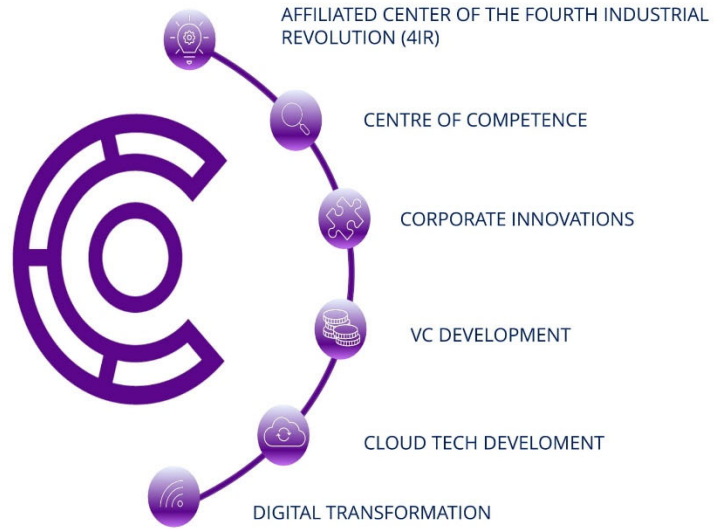
AIFC

## TECHNOLOGY AND INNOVATION DEVELOPMENT

15

### COMPREHENSIVE FINTECH ECOSYSTEM

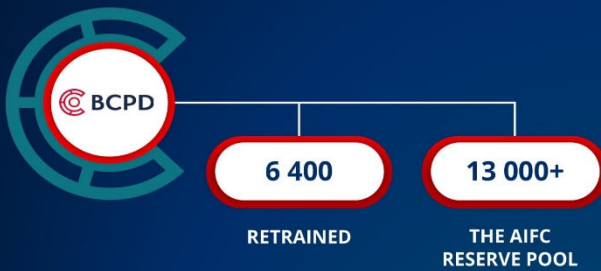
<b>13</b>	INDUSTRY REPORTS
<b>14</b>	START-UP SUPPORT PROGRAMS
<b>125+</b>	START-UPS SUPPORTED
<b>37</b>	COMPANIES EXPORTED
<b>90+</b>	WIDE PARTNERSHIP NETWORK
<b>70</b>	FINTECH HUB PARTICIPANTS
<b>26</b>	VC DEALS
<b>\$4M</b>	VOLUME OF VC DEALS



AIFC

## HUMAN CAPITAL DEVELOPMENT

16



**IQWANT**  
School of advanced technologies

**Academy of Law**  
**ALPHARABIUS**

**UNIVERSITY OF THE FUTURE**

**A-PRO**  
Focus & Achieve



AIFC

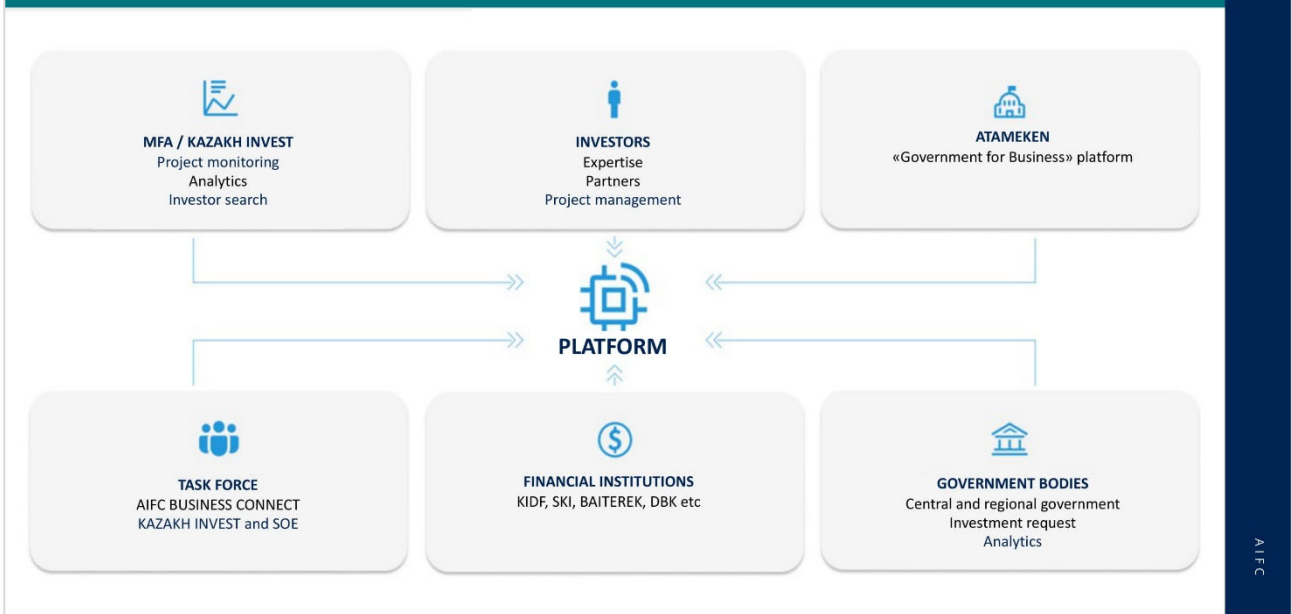
## BUSINESS DEVELOPMENT AND WAYS OF COOPERATION

17



## NATIONAL DIGITAL INVESTMENT PLATFORM

18



### (3) ジャナシル・オспаノフ 株式会社「情報会計センター」会長 報告「カザフスタン民営化への参加の可能性」

本日は電子取引プラットフォームについてお話ししたい。情報会計センターはもう7年以上前になるが、2014年にこの電子取引プラットフォームを開発した。これは、国有財産の売却を目的とした電子取引プラットフォームである。2015年には国連の国際電気通信連合（ITU）主催の国際コンクールに出展し、スイスのジュネーブにおいて同年、本プロジェクトは「C6.良好な環境」部門での優勝を果たした。同コンクールは、18部門に70カ国から303件のプロジェクトが応募した競争率の高いコンクールであった。本取引プラットフォームの所有者は財務省国家資産民営化委員会であり、情報会計センターはその開発者という位置付けになる。

電子取引プラットフォームではこれまでに約20万件の入札が行われ、5万件以上の各種資産売却の入札が実施された。カザフスタンでは現在、第2回波となる大規模民営化が行われており、規模の大きな対象物も電子取引を通じて売却されている。2021年からは炭化水素鉱床を含む地下資源利用権の入札も開始され、2022年も石炭やウラン鉱床などが取引対象となっている。

これまでに電子取引で売却された資産総額は6,780億テング（約20億ドル）にのぼる。現在のプラットフォームには18万7,195人が登録しており、その構成は55%が個人、34%が法人、11%が個人事業者である。

入札に参加するためには、ウェブポータル「GOSREESTR.KZ」に各自で登録する必要がある。登録にはカザフスタン国家認証センターが発行した電子署名（EDS）が必要であるのと、銀行口座を持っていることが条件となる。登録後は、興味のある対象を選び、保証料をお支払いいただく。そして応札の申請を行っていただくことになる。入札結果に応じ、落札した場合はプロトコルに署名する。落札できなかった場合は、保証金返還申請書に署名することになる。応札するには銀行にテング口座をもつ必要がある。保証料はカザフスタンにある銀行に開設された口座に返金される。

現在、電子取引プラットフォームでは、18部門の財産が売却されている。また重要な入札方法として、「AUCTION」「TENDER」「BID」の3種類の入札方法がある。「AUCTION」の参加には特別な制限はない。唯一の条件は、支払い能力を証明することである。応札には保証料の支払いが必要になる。

先ほども申しあげたが、入札への参加にはカザフスタンで発行されたEDSが必要になる。非居住者が海外にあるカザフスタンの大使館や領事館でEDSを取得する仕組みも整えている。EDSの発行に関しては11の在外公館（ワシントン、ソウル、ビシケク、モスクワ、プラハ、ドバイ、ニューヨーク、サンクトペテルブルグ、フランクフルト、イスタンブール、北京）で行わ

れている。在日カザフスタン大使館においても、今後同システムが活用できるようになる。このEDS発行プロジェクトの目的は、潜在的な投資家がカザフスタンのオンラインオークションに参加できるようにすることである。国家資産の民営化だけでなく、地下資源利用権の入札も含まれる。外国法人のEDS発行についての手続きは次のとおりである。

1. 財務省国家歳入委員会のウェブサイト ([www.kgd.gov.kz](http://www.kgd.gov.kz)) で法人のオンライン登録を行い、登録証明書 (BIN) を取得する。
2. ウェブサイト ([www.pki.gov.kz](http://www.pki.gov.kz)) でEDS発行のオンライン申請を行う。
3. オンライン申請後に固有コード付きの電子申請書を印刷する。
4. 11の在外公館のいずれかで申請を行う。その際、パスポートの原本、法人代表者の公証付きの委任状、BINが記載された登録証明書が必要となる。
5. 領事による申請の承認後、ウェブサイト ([www.pki.gov.kz](http://www.pki.gov.kz)) にアクセスし、EDSのアクティベートを行う。登録は無料で、1営業日以内に行われる。EDSの有効期間は1年間である。

外国の自然人、つまり個人がEDSを取得する方法についても、法人の場合と同様に在外公館での申請で取得が可能である。その際に必要となるのが、パスポートの原本およびPDFの電子コピー、キリル文字で書かれ公証を受けたフルネームの翻訳の電子コピー、EDSキー保存用のUSBメモリである。申請後は在外公館からの連絡を待ち、2営業日以内にEDSが提供される流れとなる。費用は無料で、EDSの有効期間は1年間である。

現在、民営化対象リストに含まれている大型の民営化対象物に関する情報をご紹介したい。この情報は電子取引プラットフォームでご確認いただける。各施設の名称の前にあるラベルをクリックすると同施設に関する追加情報を閲覧できる。そこには入札日や入札方法、対象施設の財務および経済活動に関する情報が掲載されている。

電子取引プラットフォームは、最大数の入札参加者、売り手、買い手を引き付けるための透明な競争環境を作り出すことを可能にする。投資家の皆様には、カザフスタンまで来ていただかなくても、すべての民営化対象施設をウェブサイトで見いただくことができ、応札ができるということを強調したい。



## INTERNATIONAL RECOGNITION

1



### ELECTRONIC MARKETPLACE

#### 1st place at WSIS-2015

(World Summit on the Information Society)  
May 26, 2015, Geneva

«ELECTRONIC AUCTION FOR PROPERTY SALE»  
PROJECT

«C6. ENABLING ENVIRONMENT»  
CATEGORY

ORGANIZED BY

**THE INTERNATIONAL TELECOMMUNICATION UNION**  
*supported by the United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO), the United Nations Conference on Trade and Development (UNCTAD) and the United Nations Development Program (UNDP)*

## THE ELECTRONIC TRADING PLATFORM STATISTICS

2

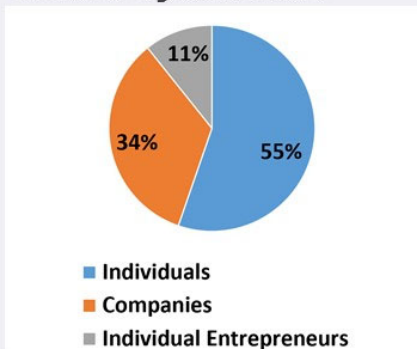
### TRADE STATISTICS AND PARTICIPANTS

**2014-2021 r.r**

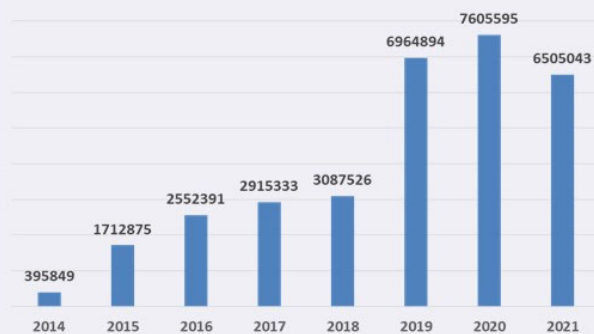
**199,798** trades were held, **53,389** trades took place,  
assets worth **678.8** billion tenge (~\$1,6 bln) were sold.

**187 195**

Number of registered bidders



Number of visitors by years

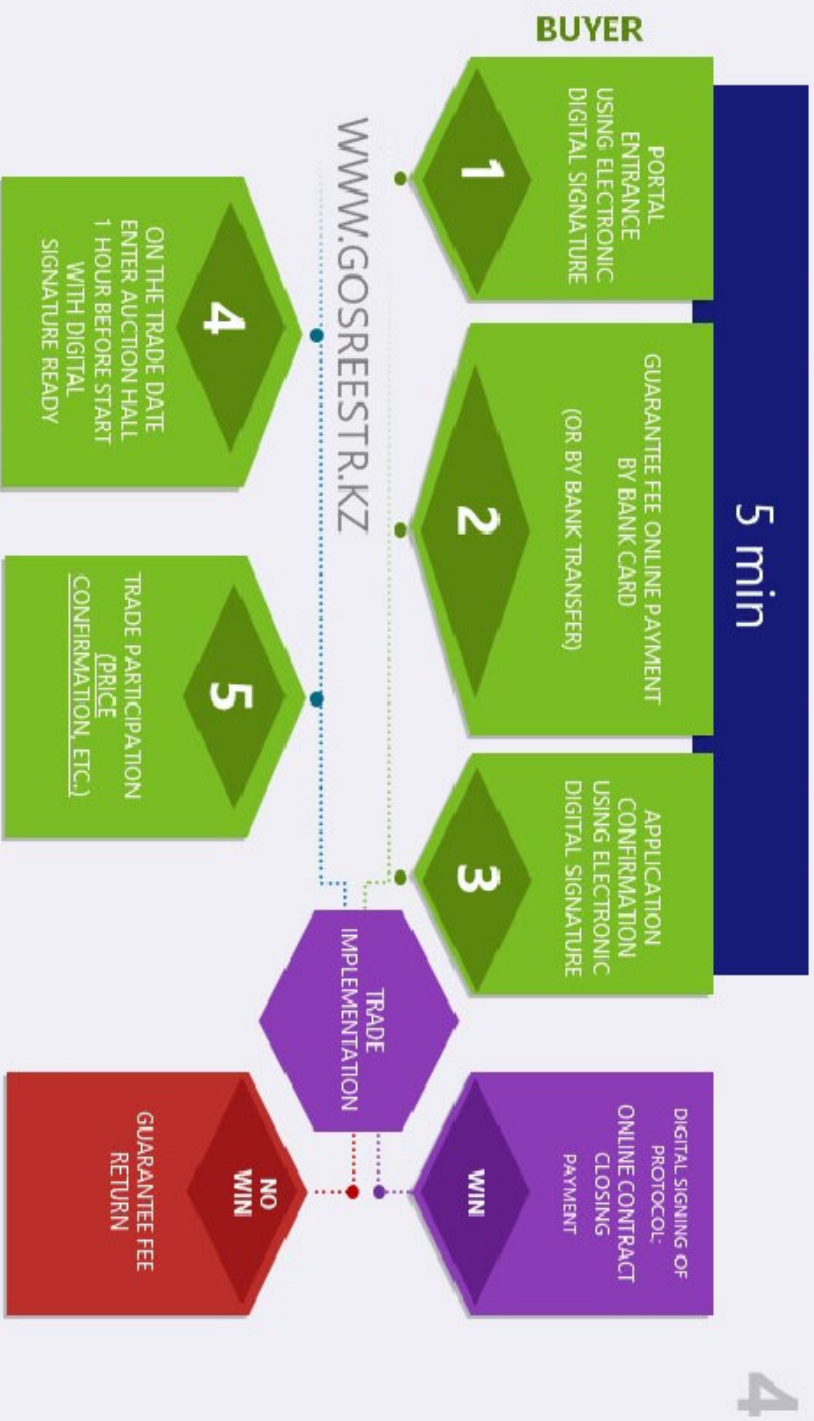


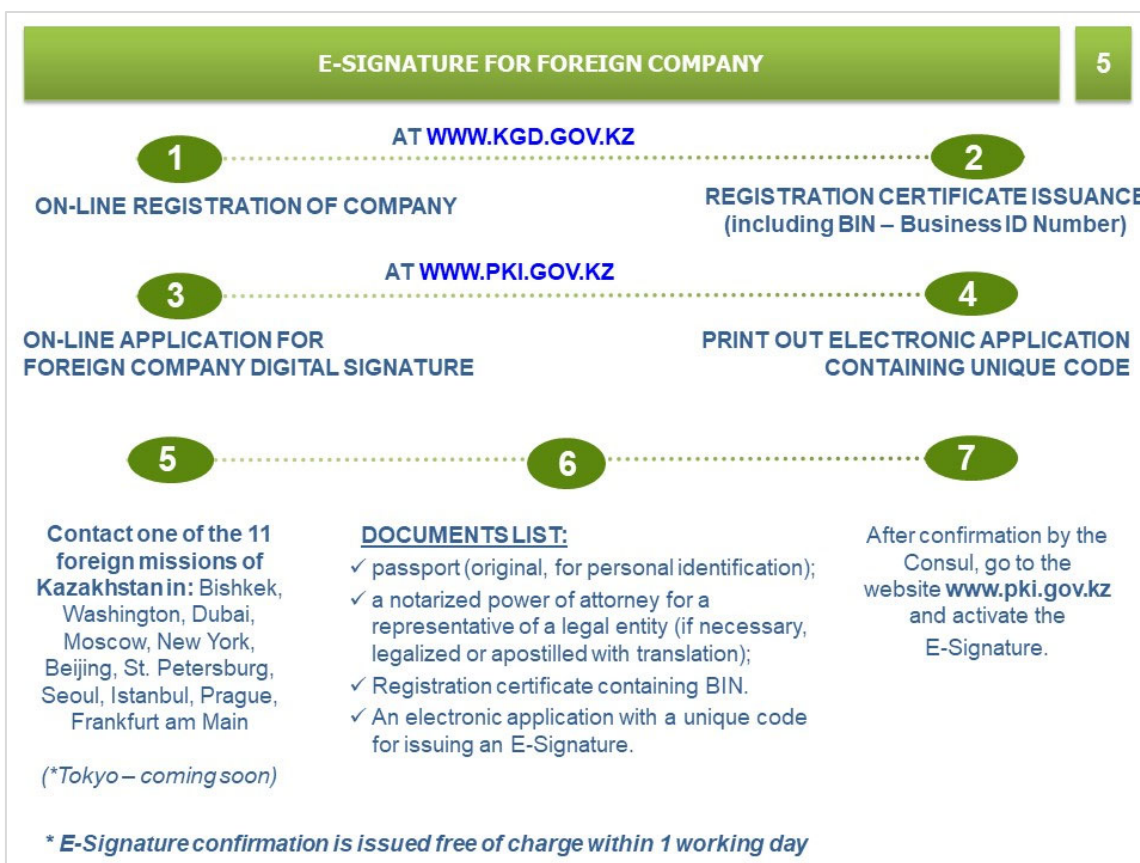
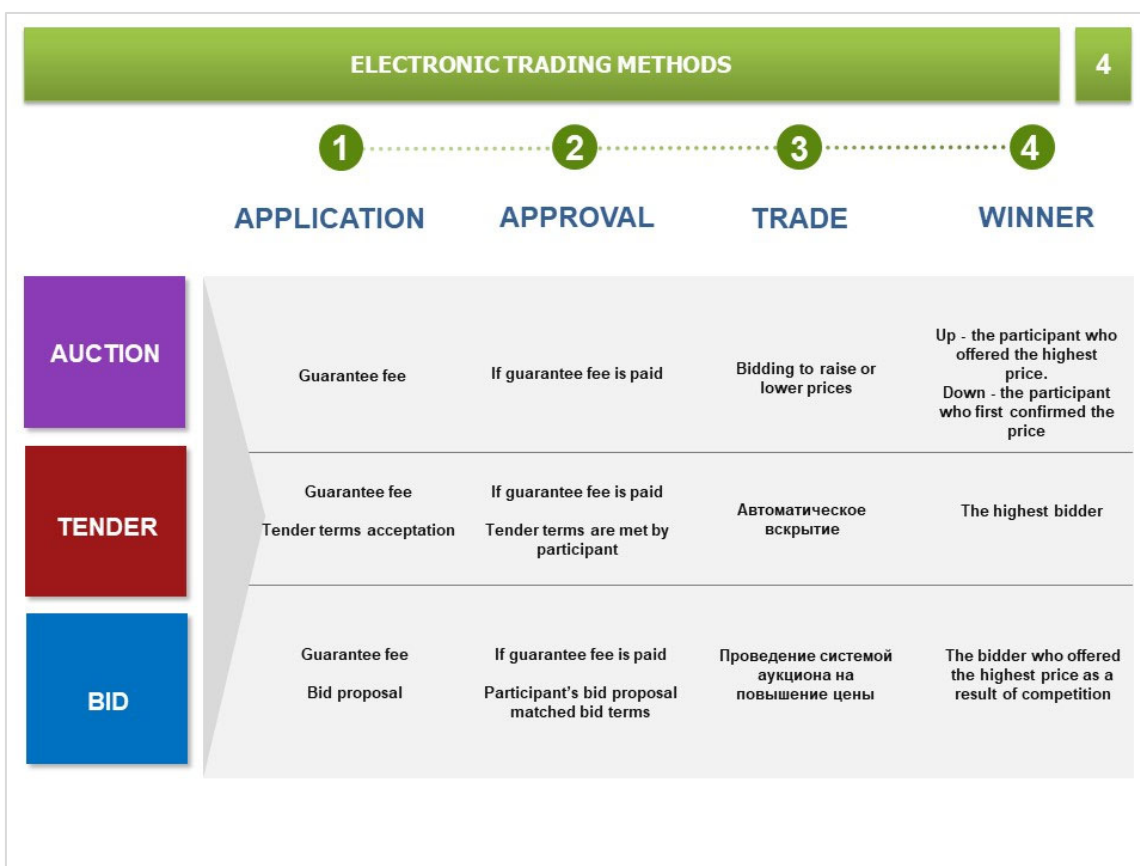
# BIDDING PARTICIPATION PROCESS ON THE ELECTRONIC TRADING PLATFORM

3

## TRADE PARTICIPATION






CONVENIENT FAST SIMPLE





## LIST OF PRIVATIZATION OBJECTS

7

Name	BIN	Region	Share for sale, %	Trade year	Trade month	Property type	Status
 «Bus Park No. 1» JSC	960240000570	Nur-Sultan	100	2022	December	Municipal	Trade announced
 «Ust-Kamenogorsk Hydroelectric Power Station» Ltd.	970940000082	East Kazakhstan		2022	March	National	Assessment procedures
 «Shulba Hydroelectric Power Station» Ltd.	970940002871	East Kazakhstan		2022	March	National	Assessment procedures
 «Sultan elevator-mill complex» JSC	960840001025	North Kazakhstan	13.99	2022	December	National	Trade announced
 «Shymkent Airports» JSC	970140000162	Shymkent	100	2024	December	Municipal	Trade announced

 *Access information on the object placed on the electronic trading platform (starting price, guarantee fee, start of trading, additional information on the object)*

 *Access information on the object placed in the Financial Statements Depository (annual financial statements and audit reports, as well as corporate events and lists of affiliates of joint-stock companies)*

 *Access information on the object, placed in the State Property Register (contact details, information about the financial and economic activities of the object)*

#### (4)尾上修平 住友商事(株)アルマトィ支店長 コメント

昔の資源貿易を中心とした交易関係から、今や製造、輸送、金融、DX、代替エネルギー、はたまた民営化など、カザフスタンでの協力の対象分野が大きく広がっていることを感じている。私事ではあるが、2021年12月にアルマトィに赴任し、カザフスタンの急速なIT化、従来のもすれば官僚的な書類主義の国からの変化を感じている。日々の生活では、スマートフォンでタクシーを呼んだり、キャッシュレスないしはバーコード決済をしたり、公共システムを利用できるようになった。このようにスマートフォン1つで事が足りてしまう状況は、ある意味日本よりも進んでいるのではないかと思っている。このようなシステム構築は、長年の皆様の努力の賜物だと思う。

しかし、ビジネスは長年お互いを理解する相互信頼関係がなければ、短期的には盛り上がっても、数年後には廃れてしまうということは、過去の経緯を見れば明らかである。言いにくいことではあるが、年始の暴動がアルマトィで起きた時、我々は自宅でインターネットの接続もなくなり、じっとしていたわけだが、先に述べたような便利なスマートフォンもすべて機能しなくなった時に、本当にこのカザフスタンの発展を信頼して、長期的な視点から協業していくことはできるのだろうかと不安がよぎってしまうことは、おそらく私個人だけではなく、本ウェビナーに参加しているビジネスの関係の方々、皆が感じていることだと思う。その意味でも、この騒乱がなぜ起きたのか納得するような答えを得て、納得感をもって協業していきたいと思っている。騒乱収束の早さやその後の現政権のアクションの早さを見ると、トランスペアレントで公明正大な方向に向かっているのは間違いないと思うが、今後の信頼関係のためいくつか質問をしたい。すべてテミルガリ副総裁にコメントいただければと思う。

1点目は直接投資の分野について、例えばフリーゾーンの関係については以前からご紹介いただいていると思う。過去5年間における外国企業の投資の実績や成功例等を教えていただきたい。また今まで成功してこなかった理由はどのような理由なのかお考えを聞きたい。

2点目、ご紹介いただいた政策に関して、騒乱前と騒乱後では何か変化があるのか教えていただきたい。

そして3点目、殊に日本企業に対して何を期待するのかご教示願う。総論賛成各論反対になることなく、より深く協力関係を構築して信頼関係を醸成する上でも、率直なご意見をいただきたい。



## セッション1 カザフスタン側カウンターコメント ジャンドス・テミルガリ 国営企業「カザフインベスト」副総裁

尾上様、ご質問に感謝する。確かにいただいたご質問がパートナーの皆様の大きな関心のもとであることは認識している。一連の出来事からまだ数週間しか経っていないわけだが、我々カザフインベストは、我が国に滞在している、あるいは関係している国際的な投資家の皆様と話し合いを進めているところである。手短かにコメントをさせていただきたいと思う。

一連の出来事について、これはカザフスタン西部において平和的な恣意行動によって始まった。引き金となったのは燃料、特に液化石油ガスの価格がいきなり跳ね上がったことである。そしてその状況が他地域にも及んだわけである。西部の人々が最初に要求した事々に加え、他の地域の人々が新たな様々な要望を平和的な形で提示した。その後西部の人々の要求に関しては、政府がこれに応え、人々はそれに満足している。

さて、ではそもそもの原因は一体何であったかということだが、それについては1月21日に大統領が経済界との対話でも述べている。つまり、国全体として見た収益が国民の間で均等に分配されていないという事実があり、人々もそれを実感しているというのが、大統領が述べたことであった。事態は悪化し、不信感をもった急進的な人々が行動を起こし、政府が非常事態宣言を発令した。1月19日まで非常事態宣言は続いた。そして、インターネットの切断といった多くの人々に不便を味わわせる措置を、政府はとらざるをえなくなった。これは、国が対テロ作戦を多くの地域で導入したためである。幸い、状況はかなり迅速に鎮静化した。現在は国のほぼ全域が安定化し、平和な日々が戻ってきている。

しかし、それより強調すべきなのは、投資家の皆様、またその他の人々との間の信頼感をどう回復させることができるかということである。大統領は国民に対して「新しいカザフスタン」という新方針を発表した。国の経済・社会のすべての分野で非常に大きな改革を行うものである。投資家の人々からは、状況を良い方向に変えるということに対して肯定的な反応をいただいている。国全体としても、ビジネスの方によりしっかり顔を向けるべきだという考えに至っている。

また経済特区などの区域に関してもご質問をいただいたが、カザフスタンですでにビジネスを行っている企業に対して、特にサクセスストーリーに関してはもっと共有するべきであるということを認識している。様々な分野での成功例、多数の国の例があるため、喜んで皆様と今後共有させていただきたい。2021年にカザフインベストが支援した中で、57件の新しい投資プロジェクトが実際に動き出した。新たな分野でのプロジェクトも複数ある。2022年は、一連の出来事により当然、対応すべき事項が出てきたわけだが、すでに大統領が指摘したように、国

としてすべての義務、つまり内外の投資家に対して国が約束したものを正しく実行していくことが、我々の原理・原則である。今般の経緯を受けて、国営企業「カザフインベスト」が外国との協力で最終的な実現段階に入っているプロジェクトについて協議する際、概して、先ほど日本側からお話があったような、少し身構えた感じを投資家の皆様がもっておられることを感じた。しかし、情報説明活動が行われる中で、基本的に状況は安定化した。カザフスタン共和国におられる投資家の皆様はそのままカザフスタン共和国に残り、投資を続けていく気持ちをもってくださっているということを私は指摘したい。

もちろん生じた変化について言えば、我々は経済政策の修正に期待している。すでに、ESGの規範に従った第一弾の改革が示され、投資政策には新たな時代の要求に応えたコンセプトが導入されている。それはエコなプロジェクトや透明な経営理念、そして投資家の社会的責任である。そしてカザフスタン共和国にとって、日本企業の皆様からの質問にお答えすることは、非常に重要なことだと考えている。

カザフインベストとして、2022年は2021年の実績を超えたいと思っている。新しいプロジェクトも、前年より多い60件以上を実現したい。そして外国の投資家とより緊密に仕事をしていきたい。この中には当然、日本のパートナーの皆様との仕事も含まれている。特に再生可能エネルギー分野に関して大きなポテンシャルを見出している。また、固形鉱物資源の高度加工処理プロジェクトも有望である。大統領の最終的な決定はまだ出ていないが、地下資源の利用について、今後最適化がなされる予定である。最終的な決定となればすぐに皆様にお知らせしたい。これはすべて、新たな経済政策、我が国の天然資源利用の改善に向けたものである。

日本企業の皆様にはハイテク分野のプロジェクトにおけるカザフスタンの信頼性の高いパートナーであり続けてほしい。我々も社会的な高い責任感をもって対応していきたい。



ウェビナー後に受領した追加の文書回答：

### ■経済特区等での日本企業の成功例

多くの多国籍企業は、活動を拡大し、現地生産を開始するために、すでにカザフスタンを選択している。これらの企業は様々な分野で活動している。合計で、約5万社の外資系企業がすでにカザフスタンにおける事業実施のメリットを享受している。



カザフスタンにおける日本企業のサクセスストーリー：

**丸紅**：1993年にカザフスタンに出張所を設立。それ以来、同社はアスタナ国際空港の建設、アティラウ製油所の近代化（フェーズ1およびフェーズ3）プロジェクトに成功裏に関与し、ハラサン1および2ウラン鉱山開発プロジェクトや硫酸プラントプロジェクト等に投資してきた。また設備機器および工業製品の売買取引を多数行ってきた。

**東京製網インターナショナル**：2018年7月4日にアルマトィ市インダストリアル・ゾーンにおいて防災製品製造工場の操業を開始。CIS圏で類を見ない日本のハイテク工場である。同プロジェクトは、「アルマトィ市の発展推進のための50のプロジェクト」というイニシアチブの一環として実施されたもの。日本の投資のおかげで工場は操業に至った。プロジェクト総額は1,000万ドルであった。雇用数は30枠。最終製品は年間300tの防災システム用部品および建設で使用する完成品。

**日立建機**：Eurasian Machinery LLP（日立建機の子会社）の投資家は、カラガンダ州における大型機器整備のサービスセンター（コンポーネント修理センター）設立の投資プロジェクトを

実施した。同センターのサービスは、鉱山、建設、石油・ガス部門の企業向けに提供されている。プロジェクトの総投資額は500万ドルであった。同社の専門家によると、同センターは掘削機や大型ショベル、特殊機器、ローダー、ダンプトラックなどを対象に保守メンテナンスサービスに従事している。同センターはカザフスタンにおける最も先進的なサービスセンターの1つであり、鉱業・冶金産業の企業向けのサービスクラスター発展に大きく貢献している。現在、同プロジェクトで約50人の従業員が働いている。サービスレベルの向上を目的としてセンターの専門家は日立（日本）、MTU（ドイツおよびトルコ）、アリソン（ロシア）における最高のトレーニングセンターにおいて講座や高度なトレーニングを受講している点を投資家は強調している。さらに、同社はアルマトィに独自の技術研修センターを持っている。

### ■経済協力・投資分野においてカザフスタンが日本企業に対し期待する点

貿易に関しては、日本への加工製品、特に食品の供給の増加、コスト削減を目的とした日本から供給された商品のカザフスタンにおける部分的な現地生産、および電子商取引の発展。

投資に関しては、鉱業・冶金分野、農業、インフラ分野など伝統的な分野では日本の技術を使用した生産性向上のための投資プロジェクトの実施および合弁事業への参加。脱炭素化、デジタル化、原子力などの新分野では、その後の商業化のための共同研究。

日本は東アジアにおけるカザフスタンの主要な貿易・経済パートナーの1つであり、カザフスタンでにおける投資国トップ10にも含まれる。両国はこの度、外交関係樹立30周年を迎えた。

過去数年間、両国間の貿易高は10億ドルを超えている。日本の資本が参加している60以上の法人がカザフスタンで活動している。2021年に日本企業はカザフスタンに約2億4,000万ドルの投資を行った。

今日、カザフスタンは天然資源だけでなく新たな可能性を提供している。カザフスタン政府は、経済の多角化や主要な国内産業の可能性の実現に努めている。アグリビジネス、ヘルスケア、輸送・物流、観光、石油化学製品、エンジニアリング等、様々な分野での幅広い投資機会が開かれている。カザフインベストは、170を超える投資提案を作成してきた。これらの投資提案には、ティーザー、事業計画、ファイナンスモデルが含まれている。各プロジェクトは現地のビジネスパートナーが主導し、サポートを行う。

カザフスタンのパートナーとの相互に有益な協力を日本企業をお招きしたい。

## ◆セッション2: テーマ別分科会「IT分野における協力の可能性」

### (5)アミルハン・エスケンディル 国際ITスタートアップ・テクノパーク「アスタナ・ハブ」 国際関係・投資・輸出オフィスマネージャー 報告「アスタナ・ハブの可能性」

「アスタナ・ハブ」は中央アジアにおけるITスタートアップの巨大なテクノパークで、2018年に創設された。我々は設立以来、①ITの普及、②スタートアップ開発、③投資文化の発展という3つの方向性で、カザフスタンにおいて活動を行っている。

これまでの3年間の活動により「アスタナ・ハブ」には1,200万人を超えるユーザーがおり、イベントは1,000件以上実施して5万5,000人以上に参加いただいた。これらの様々なイベントを通じてファイナンスの誘致も行っている。入居企業の累計総収入額は1,660億テング、総融資額は484億テングである。638社のスタートアップが活動しており、うち54社が外国企業である。

「アスタナ・ハブ」の活動は、まずIT分野で才能のある人々を発掘することにある。スタートアップの奨励とそのためインフラ整備を行っている。これはIT文化の発展にもつながるものである。また、スタートアップ・コミュニティの構築も活動として行っている。スタートアップの奨励手段として税の優遇措置も導入している。

次に、我々のスクール「ALEM」について紹介したい。これは新しいタイプのITスクールで、様々な教育・研修を受けることができる。ここには特に教師がいるわけではなく、生徒が「アスタナ・ハブ」の教室に来て、C言語やJAVA、Pythonなどプログラミング言語の学習をすることができる。様々な地域から8,000件ほどの受講申し込みが来ており、600人にのぼる受講生がいる。生徒の平均年齢は25歳である。本スクールのコンセプトは、フランスのスクールをモデルにしている。

それから、新プログラム「TECH ORDA」について、これは奨学金のプログラムである。国内の様々な地域の大学と提携しながら、カザフスタンの学生にIT教育プログラムを提供している。2021年は100件（60万テング）の奨学金の提供を行った。2022年は2,000件、2023年は4,000件を検討している。なお私の知る限り、2022年はすでに想定を超え6,000件になる見込みである。

また、ベンチャーキャピタル・スクール（VCスクール）は、国民の投資リテラシー向上のための場所である。今の時点ではまだ、スタートアップへの投資意欲があっても、その準備ができていない人がある。VCスクールでは、投資を正しく行う方法についての研修を受けられる。スタートアップの評価や投資先選択のサポートをしている。2018年以降、すでに200人以上の投資家に参加いただいた。

「TECHPRENEURS」は、いわゆるバイキングスタイルのスタートアップに対する育成プログ

ラムである。以前、本プログラムはストラクチャーに沿った段階的な実施の仕方であったが、関心を失っていく参加者もいた。参加者にはすでに具体的な特定の関心分野があるからである。そのため、我々はプログラムをより細分化し、各スタートアップは自身の関心のあるものを選んで参加できるようにした。スタートアップ同士のミーティングなども行われている。

「PLUG AND PLAY」については、2021年に我々は米国の「Plug and Play」社と覚書を締結し、企業革新を開始している。2021年末には第1回目のプログラムの総括として、デモデイ「BATCH 0（第0期）」が行われた。今後は、スタートアップの経験交流も発展させていきたい。

「SCALERATOR」は、カザフスタンのIT企業を対象にした、自社製品を北米、欧州、中東、東南アジア等の新たな市場に適応させていくための新たなプログラムである。期間は2カ月間で、無料である。2021年に本プログラムを卒業した企業は、総額84万ドルにのぼる計40件のプロジェクト契約を締結した。このようにプログラムは成功しているため、今後も継続をしていきたいと考えている。

企業革新について、「アスタナ・ハブ」には750社以上の具体的活動を行うIT企業が入居し、R&Dセンターが8つ開設され、254件の教育イベントを実施、6,000人を超える参加を得た。

「アスタナ・ハブ」のある万博跡地のEXPOエリアには、クラスター、エコシステムが形成されている。同エリアにあるアスタナ国際金融センターでIT企業が登録を行い、英国法に従って活動している例もある。先ほど申し上げたITスクール「ALEM」、「アスタナ・ハブ」はアスタナ国際金融センターの内側に所在する。また、デジタル発展・イノベーション・宇宙産業省とZERDEもクラスターに入っている。さらにカザフスタン最大規模の大学の1つであるナザルバエフ大学も近くにある。このように、1つのエリアにITの重要な機関を集めることで、ここでITの才能の発掘をし、総合的に連携することが可能となっている。

我々はスタートアップに対する融資も行っている。そのほか、入居企業には税の優遇措置も提供している。国際協力も進めている。「アスタナ・ハブ」の目的はITサービスの輸出であり、2025年までにITサービス輸出額5億ドルを目指し、拡大を続けている。



## ASTANA HUB AT A GLANCE



# ALEM

THE FIRST SCHOOL IN THE WORLD WORKING UNDER 01 EDU SYSTEM ("ECOLE 42" 2.0) LICENSE

«I am impressed with Xavier Niel's 42 project – the programming school that is so competent in many issues. It is definitely the future of education».  
Pavel Durov



«It was great to see it. It is really a unique school; I haven't seen anything alike in the world».  
Jack Dorsey



**NICOLAS SADIRAC**

Honored master of IT-education of the international level.  
Stanford University PhD in Physics

- **2013**  
Launched the first school in Paris in cooperation with Xavier Niel
- **2018**  
Developed computer science's educational programs of a new generation tentatively entitled "ZONE 01" based on Ecole 42 methodology
- **2019**  
Opened Alem school housed by Astana Hub

## 01 ADMISSION

**Requirements**  
The applicants from any country in the age of 18-35 can apply for free training after logical and deductive skills testing

**7000+** APPLICATIONS FOR TRAINING  
**600** PARTICIPANTS FROM THREE BASINS

## 02 TRAINING

**Primary areas**  
Algorithms & ML, GameDev, Unix, WEB, Mobile Dev, IT-Security, Network

**Programming languages**  
C, C++, Swift, Java, PHP, JavaScript, Python, Ruby, OCaml and others

**208** ON-GOING STUDENTS    **25** AVERAGE AGE



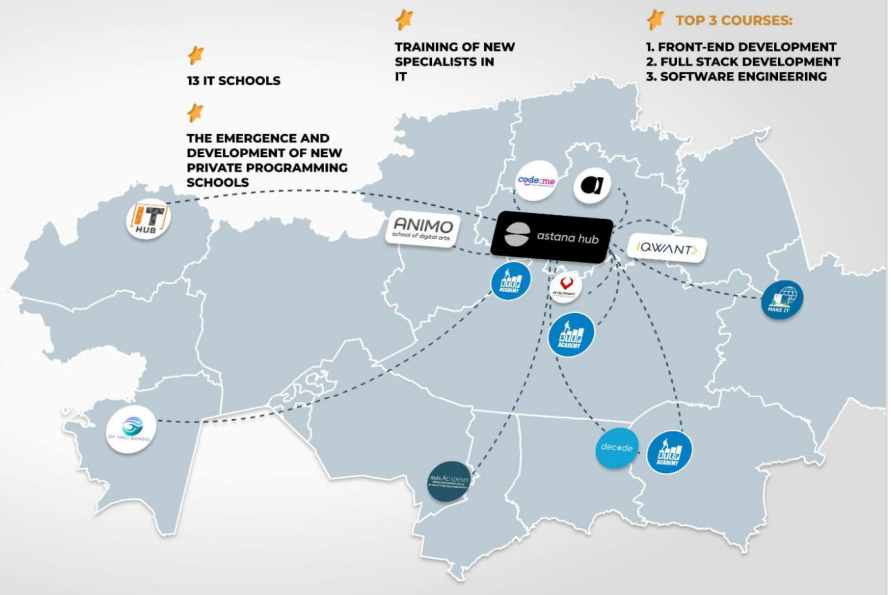
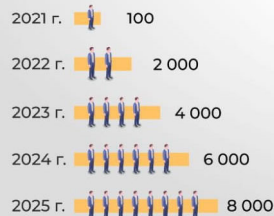
# TECH ORDA

Human capital development program in IT

**60 million KZT**  
from Astana Hub

**600 000 KZT** IT School Grant    **100** Students in 2021

**GOAL:**  
**20 000 TRAINED STUDENTS**



## VC SCHOOL (VENTURE CAPITAL SCHOOL)

### GOAL OF THE PROGRAM

Improving investment literacy among investors, as well as the development of the venture capital market.

The program helps participants become members of local business angel clubs and gain skills:

- How to make money in the venture capital market;
- How to build an investment portfolio;
- How to evaluate technology startups;
- Which startups are best to invest in.



**200+ investors**

Trained since 2018.



## TECHPRENEURS

The acceleration program provides **continuous support** to startup projects of **all stages**, with an option to choose services within the program **separately from each other** in a **"smorgasbord"** format.

### LIST OF AVAILABLE SERVICES:

#### MAJOR:

- Tracking
- Group trainings
- Individual consultations



**144** program participants

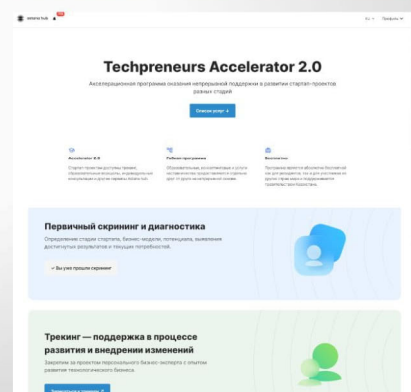
**976** expert hours received

#### ADDITIONAL:

- PR promotion
- Specialized programs
- Invest Day
- Plug and Play
- Workplace in a co-working space
- Corporate innovations

**349** applications

**94** active service users



## PLUG AND PLAY

A combination of acceleration programs and events that **bring startups, corporations, and venture capitalists together**



Astana Hub has partnered with a leading actor in the global innovation ecosystem - **Plug and Play** (USA) to bring in corporate innovation to Kazakhstani companies



### CORPORATE INNOVATIONS

Working experience with over **500** major corporations from all continents

### ACCELERATION PROGRAM

More than **50** acceleration programs a year

### VENTURE CAPITAL INVESTMENT

Investment in **220** companies and co-investment with 180 venture capital funds

## SCALERATOR

Free 2-month program for IT companies from Kazakhstan to help **adapt the project to new markets, increase sales and find partners in North America, Europe, the Middle East and Southeast Asia**

### OPERATORS:



### GOAL:

Entry of Kazakhstan IT-companies to foreign markets

**234** Applications in total



**95** Participants underwent an expertise review



**35** participants entered the Southeast Asian markets



**30** participants have made their way into the markets of North America and Europe



**30** participants have entered the CIS markets

### PROGRAM PARTICIPANTS GET:

- Individual traction sessions
- Group Mastermind Sessions
- Individual and group consultations with experts
- Board meetings
- Networking with companies
- Final meetup
- Signing of no less than 10 (ten) international contracts in each area



## CORPORATE INNOVATIONS

- 750+ IT companies
- 20 Technical specifications
- 559 Startups in the database



## R&D CENTER AND LABORATORIES

- 8 R&D centers
- 254 Educational events
- 6293 Listeners



### BENEFITS FOR R&D

- Free workplace
- Location in the EXPO Business District
- Proactive community of startups and IT-companies
- Access to human resources
- PR promotion
- Access to businesses, government, universities



## ASTANAHUB.COM - DIGITAL TECHNOPARK

on a daily basis the tasks of technological entrepreneurs are performed online

The main goal of the platform is to create online communication tools for startups, investors, experts, and all target groups to improve, develop, and automate the ecosystem

### FEED

Ecosystem Event Center, stay informed and bring others up to date by posting activities  
**Read the news, publish posts**  
212 news posts 326 posts

### MEMBERS DATABASE

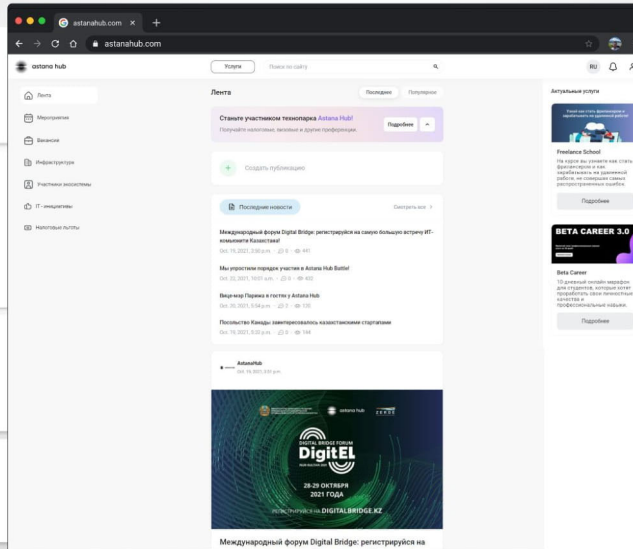
An open database of ecosystem participants (startups, investors, experts) to stimulate communications and transactions between them.  
**Create a card and become a member of the ecosystem**  
878 members

### SERVICES

Programs, courses, events, grants and benefits.  
**Upgrade yourself and your startup**  
50+ services

### EVENTS

Stay up to date on industry events and post yours  
167 events



### VACANCIES

Service that helps you find a job and select staff in the IT industry.  
**Find a job or an employee**  
97 vacancies

### IT INITIATIVES

Ideas and proposals to accelerate the digitalization of Kazakhstan.  
**Create an initiative and influence the future of IT**  
40 initiatives

### INFRASTRUCTURE

Interactive map of the pavilions and 3D tour.  
**Choose a workplace for your startup**

### TECHNOLOGICAL TASKS

A resource for finding technology challenges for corporations and collecting proposals from the IT marketplace  
**Find or suggest a solution**  
Under development

### GAMIFICATION

Applying game-based approaches in non-game processes in order to attract users to increase their involvement in using the products  
Planned



## SEED MONEY PROGRAM REVENUE SHARE MODEL

APPLICATIONS ARE ACCEPTED AT THE FOLLOWING STAGES:

✓  
MVP

UP TO \$12 000

✓  
PRODUCT-MARKET FIT

UP TO \$24,000

✓  
SCALING

UP TO \$47,000

✓ IT Component    ✓ Project Stage    ✓ Team

# REGULATIONS

CIT	20%
VAT FROM REALIZATION OF GOODS, WORKS AND SERVICES	12%
VAT FOR IMPORT	12%
VAT FOR OBTAINING NON-RESIDENTIAL SERVICES	12%
ROYALTY TAX (LEGAL ENTITY)	15%
NON-RESIDENTIAL DIVIDENDS	15%
IIT FROM RESIDENTIAL EMPLOYEE'S INCOME	10%
SOCIAL TAX FOR NON-RESIDENTIAL EMPLOYEES	9,5%

## SME

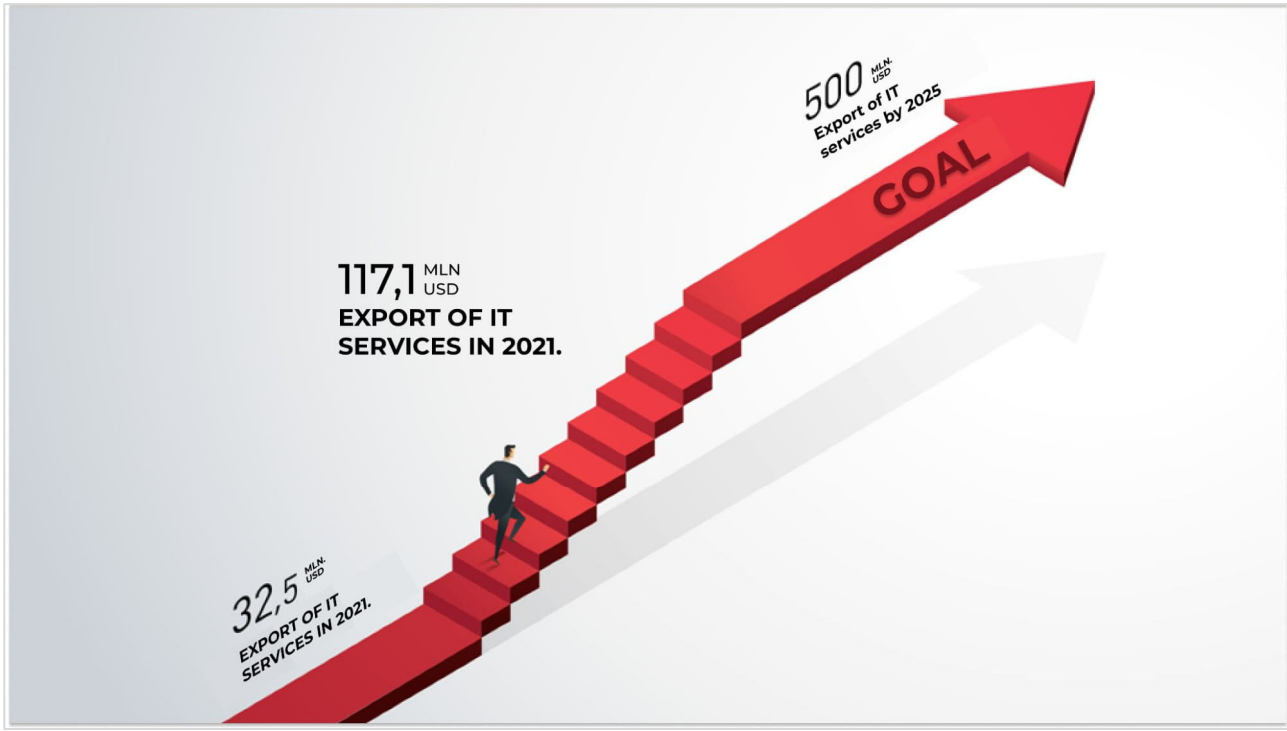
## ASTANA HUB MODEL

0%	until 2029
0%	until 2029
0%	until 2029
0%	until 2029
0%	until 2024
5%	first 3 yrs, after 0% until 2029
0%	until 2029
0%	until 2029

### Who can get the preferences?

Astana Hub participants – legal entities, Kazakhstan residents and non-residents, whose activities correspond to the List of priority types of activity in the field of Information and Communication Technologies.

**529** IT COMPANIES ARE ALREADY GETTING THE TAX PREFERENCES  
**10,5** MLN USD SAVED BY THE PARTICIPANTS GETTING THE TAX PREFERENCES





## (6)マディナ・ウムルザコヴァ 有限責任事業組合「Cerebra.ai」事業開発部長 企業プレゼンテーション

「Cerebra」は100%カザフスタンで開発された、人工知能ベースの脳卒中自動診断ソフトウェアである。医療技術の世界的リーダーである「Medtronic」社が選ぶ、医療用人工知能における世界の革新的プロジェクトのトップ10入りを果たした。

脳卒中の一番の課題は診断にある。即時治療を開始して脳死を防ぐためには、最初の6時間以内に診断を行う必要がある。しかし、CTを使用した従来の診断方法では、人間の目の生理学的限界があることから、脳画像の小さな変化を検出することはほとんど不可能である。

我々は医師に対し、最初の4時間で診断を行い、治療を開始するためのサポートをしている。このコア技術となるのが、コンピュータービジョンである。脳のCTスキャン画像を機械学習アルゴリズムによって解析し、脳卒中の症状を特定、虚血性脳卒中の場合は国際的なASPECTSスコアで、また出血性脳卒中の場合は血液量を使用してそれらを数値化する。臨床医は最も適切な治療法、例えば血栓溶解や血栓摘出などを選択する際に、この解析結果を利用することができる。

「Cerebra」のプラットフォームはiOSでもAndroidでも使うことができる。現在行っているのはCTスキャン画像解析のみだが、今後は2022年6月にMRIやCT灌流画像（CTP）、CT血管造影法（CTA）画像の分析についてもリリースを予定している。

分析のワークフローとしては、まず虚血性か出血性か分類し、部位の特定、段階の判断を経て、治療方法の決定をしていくことになる。また、すべての臨床データの数値化を行う。その結果、どのような治療が最も適切であるのか、我々の側から提案を行う。その際にはどの部分に病理があるのかも明示する。

2021年1月から、カザフスタンの17の病院で無償のパイロットプロジェクトを開始している。また、CIS諸国や韓国、中国、モンゴル、サウジアラビアの機関ともパイロットプロジェクトの実施や今後の共同プロジェクトの実施について合意している。

実際に「Cerebra」のソフトが利用された最初の事例をご紹介したい。72歳の虚血性脳卒中の患者で、ASPECTSスコアの評価は8点であった。「Cerebra」が10分で診断を行い病理の場所を特定したことで、医師による手術が間に合ったのである。この事例は翌日カザ



フスタンの国営テレビでも放映された。これまでの実績として、「Cerebra」は約1万5,000件の治療をサポートしてきた。

現在、我々の競合他社となっているのは、先進国にある6社のグローバル企業である。我々の独自性は技術にある。我々の技術はCTスキャン画像の分析であるため、MRIを基本とした先進国より、CTスキャンデータを基本としている発展途上国で活用されることが期待されている。MRIは先進国で幅広く設置されているが、発展途上国ではまだCTに限定されているという事実がある。

今後のロードマップをご紹介すると、我々は2018年の創業だが、2022年秋には第1期を終了する予定で、この時期までに、外国の病院とのパイロットプロジェクト実施の合意に沿った形で製品の輸出を計画している。

我々のチームには、企業家、医療専門家、技術専門家の3つの専門家のグループからなる21名のメンバーが在籍している。

我々は日本企業の皆様と、「共同開発」、「共同プロモーション・共同ディストリビューション」、「投資」を含めたあらゆる形でのパートナーシップを検討している。



# SOLUTION

WHAT CAN CEREBRA DO?

Tech Stack: UNet, VNet, PyTorch, OpenCV, Docker, STK, SPM

DIAGNOSIS

- Intracerebral
- Subarachnoid
- Intraparenchymal
- Subdural
- Epidural

blood volume\*

CT scan

CLASSIFICATION

Ischemic

SEGMENTATION

- ✓ acute
- ✓ post-acute
- ✓ chronic

AUTOMATED RADIOLOGICAL RESULT

ASPECTS score\*\*

+

CLINICAL

CALCULATION

Clinical Data  
• NIHSS  
• Questionnaires

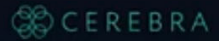
TREATMENT RECOMMENDATION

Thrombolysis  
Thromboectomy  
Conservative

\*Metrics: dice 97%  
\*\*Metrics: F1 80%, MAE - 0.59, MSE - 1.098

## SCOPE OF CEREBRA

# TRACTION



Working Beta in Kazakhstan  
17 hospitals



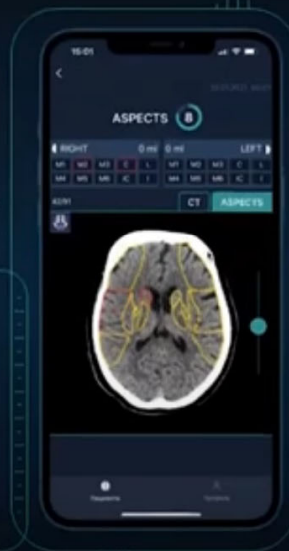
	<b>Uzbekistan</b>	Agreement with National Chamber of Innovative Healthcare of Republic of Uzbekistan
	<b>Kyrgyzstan</b>	Agreement with Ministry of Healthcare of Republic of Kyrgyzstan
	<b>South Korea</b>	Agreement to launch pilot in Asan Medical Center
	<b>China</b>	Agreement with medical distributor
	<b>Mongolia</b>	Negotiations backed by Irbis Ventures (Singapore)
	<b>Saudi Arabia</b>	Negotiations

# SAVING LIVES



One of the first cases:

- Patient, 72 years
- ischemic stroke, ASPECTS 8
- CEREBRA pointed to the location of blood clot, successful neurosurgery performed



Currently system has

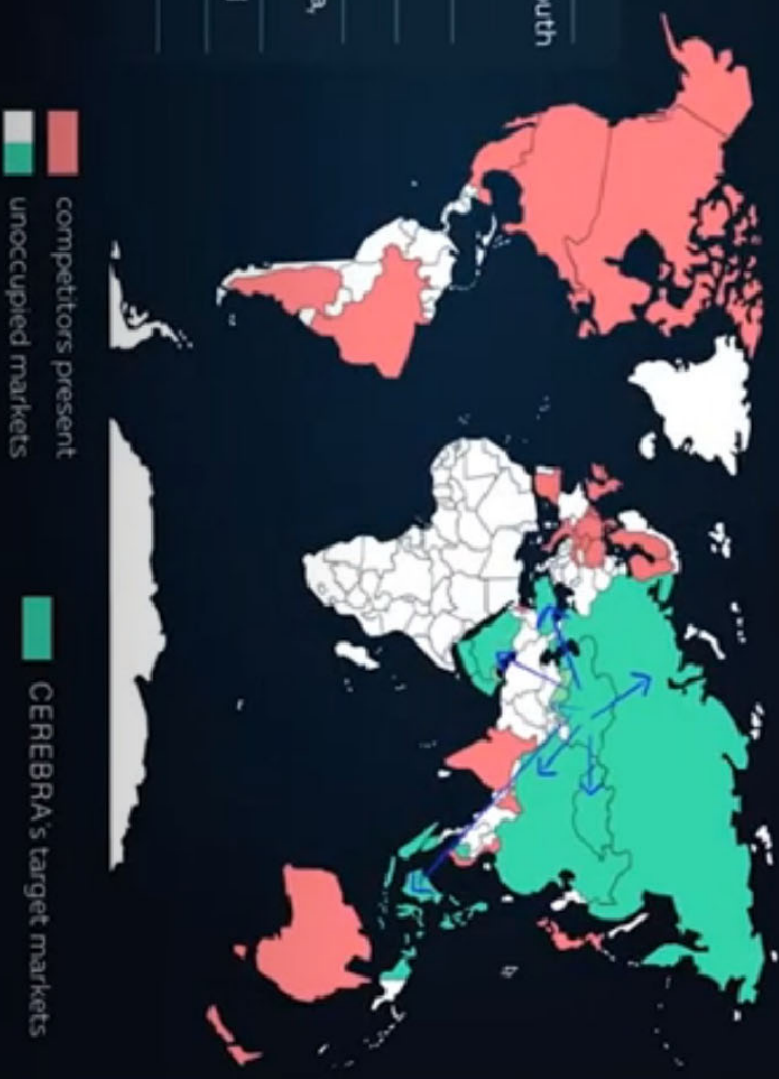
more than **15** thousand cases

# COMPETITORS

CEREBRA: CT (developing world)

Competitors: MRI, Perfusion (developed countries)

Company	Market
 RapidAI	60+ countries: North and South America, Europe, Australia, Japan
 Cercare Medical	Denmark
 NICOLAB	Netherlands
 icometrix	Europe, Japan, India, Canada, Brazil, Australia
 Brainomix	25+ countries: Europe, Brazil
 Viz.ai	USA, Israel
 CEREBRA	



## (7)グリサヤ・オミラリ OQUDA株式会社事業開発部長 企業プレゼンテーション

「OQUDA」は学生と大学、様々なエージェントを結びつけるためのオンラインB2Bプラットフォームである。エージェントには、教育プログラムを学生向けに販売するエージェントや留学エージェントなどがある。対象には大学旅行代理店の査証専門家なども含まれ、教育分野だけでなく、観光分野もカバーしている。そのほか、我々のプラットフォームには、留学予定の学生を対象とした教育コンサルタントとして活動しているブロガーも登録している。

2022年のビジネスプランとしては、現在の売上を10倍にすることを目指している。2020年9月時点では8,000ドル、2020年11月が6万4,000ドル、2021年2月が13万ドルと、今のところ売り上げは拡大し続けており、さらなる拡大を期待している。

我々には「GLOBAL ACADEMY」や「Grants.kz」、「STUDY in」をはじめとする220社を超えるパートナー企業があり、そのうち141社がセールスエージェントである。教育機関には、語学学校や教育センターなども含まれる。

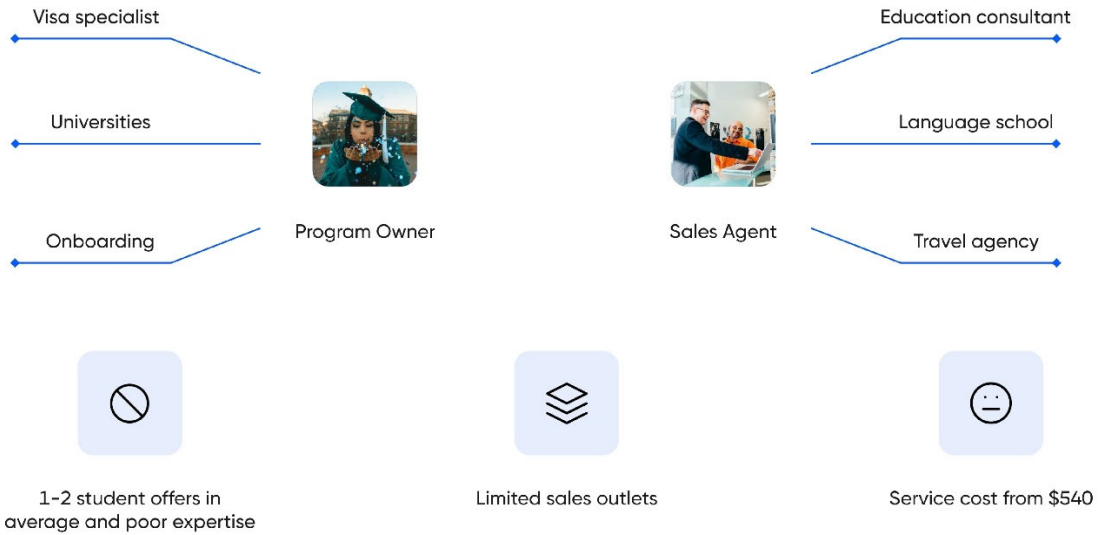
学生向けに様々なエコシステムを提供している。プラットフォームに登録した学生は、英語アカデミー「skyeng」のプログラムをはじめ、有名なディストリビューターが提供する学習プログラムや語学コースを利用することができる。学生自身が教育プログラムを探したり、直接プログラム提供機関にコンタクトしたりする必要はない。プラットフォームへの登録後は、様々なエージェントのあらゆる教育プログラムにすぐアクセスできる。欧州の多くの国々、アジア、米国その他の大学も参加しているため、より幅広い範囲の教育プログラムを提供できる。そしてエージェント側にとっても、業務が便利になる。一般にエージェントがサービスを提供できる大学は数カ所と限りがあるが、我々のプラットフォームに参加することで、幅広い学生へのサービス提供が可能になる。

競合他社としては、「ApplyBoard」「Edvisor」「Adventus.io」など長く市場で活動を行ってきた企業がいる。しかし我々のプラットフォームはより学生向けであるという点で、これらの企業との違いがあると考えている。

チームメンバーにはハーバード大学やコベントリー大学で学んだメンバーが在籍している。

日本の大学に留学したいカザフスタン人は多く、日本に対する関心も高いため、我々の活動範囲をぜひ日本にも広げ、「OQUDA」のプラットフォームで日本の教育プログラムのサービスを提供できるようにしたい。

## Problems

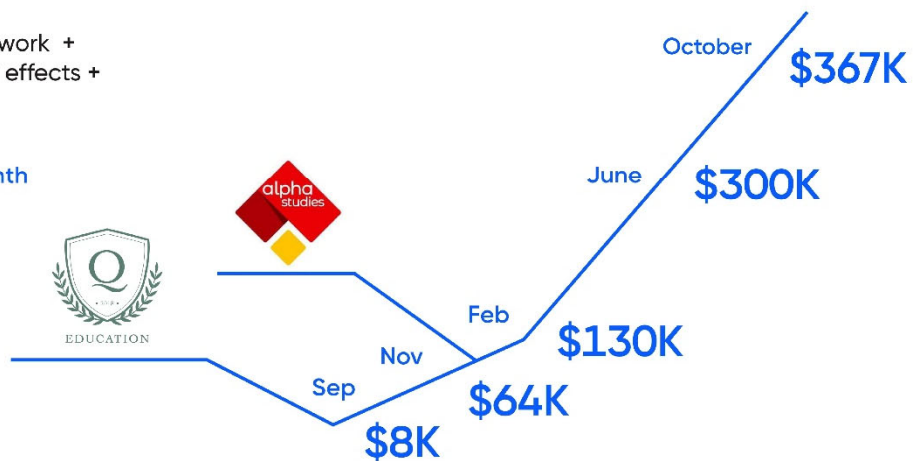


## Business Model

Scalability of direct network +  
Defensibility of network effects +  
Revenue model: B2B

Avg. fee = \$1850  
Subscription = \$80/month

CAC = \$34  
Margin = 40%





## Ecosystem around student

### Internships

**Product Designer**  
OQUDA inc. | Nur-Sultan, Kazakhstan

Upload  
This opportunity is urgent.

Business & Management, Arts, Design & Architecture  
These are the backgrounds the opportunity is associated with.

Kazakh, English  
These are the localities open for applicants that you'll have to meet.

**About OQUDA inc.**  
Description: Innovative SaaS platform for smarter international student recruitment. The revenue model of SaaS and marketplace allow us to double our sales each month and benefit our partners across the world. We are a C-Corp company incorporated in Delaware, USA.

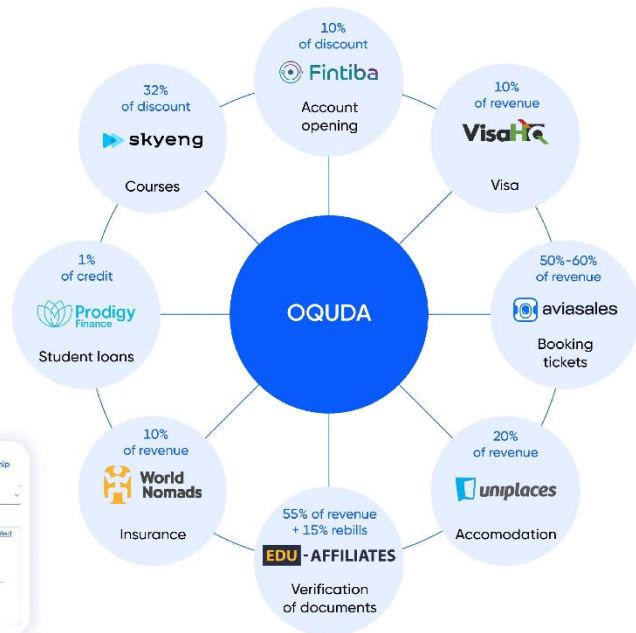
**About internship**  
Role description: Some responsibilities in Product Design may include:  
As a member of a multi-functional team at Anolis, you will help to create the next generation of the world's finest hardware devices. No experience. You will work in Safety, Hardware, Business Working Hour: 30 hours per week.  
Responsibilities: You may:  
Ability to work in team-BC  
Self-motivated  
Strong analytical/problem-solving skills  
Knowledge of finite element analysis and computer-aided design (CAD) software  
Experience with computer design and ACP bonding  
Ability in public and media  
3-D CAD skills  
Fluency in Design for Manufacturing  
Functional role

**My internships**

Name:  State:

Choose an option...  Choose an option...

**Product Designer**  
Senior opportunity: C  
Role Description: Some responsibilities in Product Design may include:  
As a member of a multi-functional design team at Anolis, you will help to create the next.  
Role Responsibilities: You may meet or have interest in any one of the following qualifications:  
Ability to work in team-based...



## Competitors

**ApplyBoard**  
B2B2C Marketplace

"CommonApp" for foreign students to North American universities.

Round C (May '20)  
\$70M at \$1.4B

**Edvisor**

B2B CRM

Connecting schools & agents with real time collaboration.

Round A (Feb '19)  
\$2.3M

**Adventus.io**

B2B SaaS Platform

Enabling institutions and recruitment agents to find and transact with each other, seamlessly.

Round A (Jan '20)  
\$12M

## (8)ダウレン・バジロフ 有限責任事業組合「Clockster」事業開発部長 企業プレゼンテーション

本日は、我々の「Clockster」が皆様にとって有益なサービスであるということをお話ししたい。「Clockster」は2018年に創設され、カザフスタンでKFC、Hardee's、Costa Coffee等の運営を行う米国の「Americana」社の勤怠管理システム事業に携わってきた。82店舗を所有していた同社から勤怠管理システム効率化の依頼を受け、我々は人事管理コストの10%削減に成功した。日々の勤怠管理に割く時間を削減できるようになったほか、従業員の遅刻の減少にも効果があった。その後我々は、本サービスがこのような大手企業はもちろん、中小企業にとってより有益なサービスであると考え、現在、中小企業を主な対象として事業を行っている。

モバイルアプリケーション「clock:ster」には、出勤・退勤時間の記録やビジネスコミュニケーション、タスク管理、給与支払い簿、シフト管理などの機能がある。まず出勤・退勤時間の記録については、本モバイルアプリにジオフェンシングが実装されており、従業員は出勤時に区域に入るとアプリ内で出勤時間の記録を、区域から出る際に退勤時間を記録する。これにより自動ですべての従業員の出退勤時間の分析がなされる。

ビジネスコミュニケーション機能はモバイルアプリ内で利用できる機能で、管理者が従業員に対し仕事に関する連絡をすることができる。従業員側からのシフト変更依頼、経費などの申請も可能である。コロナ禍での在宅勤務でも我々のアプリが活用されている。

シフト管理機能については、すでに我々は同市場で4年以上の実績があり、クライアントにとって最大限使いやすいシフト管理プログラムを提供している。プログラム上でシフト表を簡単に組むことができ、プログラム内で従業員からのシフト希望の受け取りや、従業員へのシフト変更依頼の連絡も行うことができる。

タスク管理機能については、残っているタスクや期限などの通知を自動で行うほか、チームがどれだけタスクを遂行しているか、リアルタイムでモニタリングできるようになる。それぞれのタスク遂行にどれだけの時間がかかったかということも記録できる。

給与支払い簿の機能は、人為的ミスによるリスクなく、より速やかに、そして簡単に給与の支払い・受け取りができるようになるものである。従業員に対して具体的なデータリスト、つまり出勤時間、残業時間、税、手当、その他の情報を基に計算した給与明細を送付する。

「Clockster」のサービスはすでに世界中、2,000社以上で利用されている。従業員数が100名以内の企業であれば現在、無料でサービスを利用することができる。関心をもっていただいた日本企業の皆様に、ぜひ我々のサービスを提供したい。日本に関しては、研修センターや作業所など現在3社とお付き合いがあるが、日本市場でまだ大きなブランドとなっているとは言えな

い。我々のデータや情報について、例えばビジネス関係の団体もしくは商工会議所のようなところにお伝えいただければ、有益なサービスであると思っただけだと確信している。我々は喜んであらゆる協力をしていきたい。



# Clockster features

**Time & Attendance**

**Business Communication**

**Task Manager**

**Payroll**

**Shift Management**

### Today

Late 1 On time 2 Absent 1 Day off 0 On leave 0

**Samantha Ray** Manager Work schedule: 10:00 AM - 7:00 PM **10:09 AM**

**Markus DeAngelo** Waiter Work schedule: 10:00 AM - 7:00 PM **10:21 AM**




### Total Times Summary

Hours planned	142h
Worked time	116h 25m
Out of schedule	0
Late time	2h 33m
Early leave time	15m

Employee shift schedule chart showing names (Kate, Clover, Dominic, Alex) and their active periods on a timeline. The chart includes a vertical red line indicating the current time at 10:54. Kate's shift is from 08:30 to 19:00. Clover's shift is from 11:00 to 19:00. Dominic's shift is from 09:00 to 18:00. Alex is marked as 'Day off'.

## Time and Attendance

Employees clock-in/out using mobile app with geo-fencing

-  Attendance reminders, so your employees won't forget to clock-in/out
-  Integration with various Face recognition biometric devices
-  Employees can send a request to create attendance records, in case they forget to clock-in/out



Clockster is already helping **2000+** businesses across the world



Sign up now for  
**FREE LIFETIME ACCESS**

\*up to 100 employees, 170\$ per every 100 additional employees

## (9)坂口憲一 (株)テクノソリューション取締役事業部長 コメント

私は高校時代からコンピュータを専門に学び、1994年にロシアのサンクトペテルブルグ国立大学に留学した。現在は、日ロ貿易のパイオニアである大陸貿易の子会社としてテクノソリューションを設立し、「研究開発型のソフトウェア開発」として、ヘルスケアや造船AIなどの分野で現場でのAI実用に取り組んでいる。

それではカザフスタンの皆様に一言ずつコメントを申し上げたい。2021年にROTOBO主催の「カザフスタンStartup Pitch Day」にも参加させていただき、カザフスタンが人材育成に熱心であることがとても印象に残っている。本日のご報告の中でもITスクールやVCスクールといった形で「アスタナ・ハブ」を拠点とした素晴らしいIT教育が実施されているということがよく分かった。「アスタナ・ハブ」の特徴は、「海外市場をターゲットにした人材育成のエコシステム」が存在することだと思う。カザフスタンの人口は約1,900万人だが、留学生は約8万5,000人にもおぼり、人口比で見ると日本の4倍以上の学生が国費留学という形で、海外で勉強されている。優秀な人材・産業・投資を融合させてイノベーションを創造させようとするカザフスタンの取り組みについては、日本も参考にすべき点が多々あるのではないかと思う。

1 社目のCerebra.ai社について、同社のように画像認識技術（ディープラーニング）を用いて医用画像を自動診断する技術は、医療AIの中でも研究開発が進んでいるのと同時に、世界的にも競争が非常に激しい分野である。日本においても、画像認識技術を用いた医療AIの実用化が進んでいる。私は日本・欧州・米国の3地域で実施された脳卒中関係の臨床試験に携わった経験がある。実際に脳画像を複数の施設からクラウド経由で収集し、診断するシステムの評価を行った。その時の臨床試験は非常に良い結果となり、もうすぐ日本で薬として市場に出る予定である。ここで重要なのは、日本の場合、欧米各国と比較して救急医療設備が整っており、脳卒中発症後の、病院搬送から診療開始までの時間が諸外国と比べて非常に短いということであった。これは医療サービスを行う上で非常に重要な点である。カザフスタンにおいても、日本の救急医療設備の導入をぜひご検討いただきたい。また一方で、日本で医療AIを実用化するためには臨床試験が必要となる。そのため医療機関・医療機器との連携が必要であり、臨床試験にかかる時間も費用も膨大になる。この点が非常に大きな課題となると考える。

2 社目のOQUA社については、留学斡旋会社・留学生・教育機関をつなぐ役目を担っておられる企業で、同社のインターンシップ情報提供サービスは、「留学から就職への道」を支援することが期待できる。日本においても、多くの留学斡旋会社による多くの留学関連サービスが提供されている。とくに留学斡旋時のトラブルを回避するために、業界団体を設立し、ガイドラ

インの策定や「留学カウンセラー」資格の認定などが行われている。また、数は少ないものの、同社の競合となりうるオンライン型の留学手続きシステムを提供している企業もある。OQUDA社は業界団体との連携も視野に入れて、留学斡旋会社、あるいは様々な教育サービスを提供している会社との協力関係を築く必要があるのではと思う。

そして最後にClockster社について、同社は中小企業向けの従業員管理システムを提供されており、モバイルアプリによるGPSを活用したジオフェンス機能はとてもユニークだと思う。現在、日本では「働き方改革」を推進しており、従業員の負担を軽減しつつも、労働生産性を高めることを目指している。残念ながら日本の場合、少子化の影響から若年労働者の採用が極めて困難になりつつあるため、HR-Tech市場は急拡大しており、人材採用の効率化とともに、「採用する人材が企業風土に馴染めるか」ということを、心理学的な統計手法を用いて分析するサービスも存在する。さらに、日本の中小企業の多くはサービス業である。その中でも介護や飲食業界が多いのだが、こうした業界では従業員のシフト管理が非常に難しい。実は私も介護業界のシフト管理システムの開発を手伝ったことがある。Clockster社のシステムがシフト管理だけでなく、サービス提供に対する請求対応もあわせて提供できれば、日本の企業ニーズに合致すると考える。ぜひカザフスタンのIT企業と一緒に仕事ができれば良いと思う。



## セッション2 カザフスタン側カウンターコメント

### バジロフ・有限責任事業組合「Clockster」事業開発部長：

坂口様のコメントでシフト管理システムが難しいというお話があったが、我々のシフト管理システムは非常にフレキシブルなものなので、ぜひ我々のシステムをお試しいただきたい。従業員数100名以内の企業であれば無料であるし、大企業の場合でも無償でのパイロットプロジェクト提供の交渉が可能である。我々は日本市場に非常に大きな関心を持っており、協力の可能性があると期待している。既存のタスク管理や勤怠管理という面以外でも、我々のシステムを日本企業に役立てていただけるよう、今後さらなる開発を進めていきたい。

### アビシュ・OQUDA株式会社バックオフィス責任者：

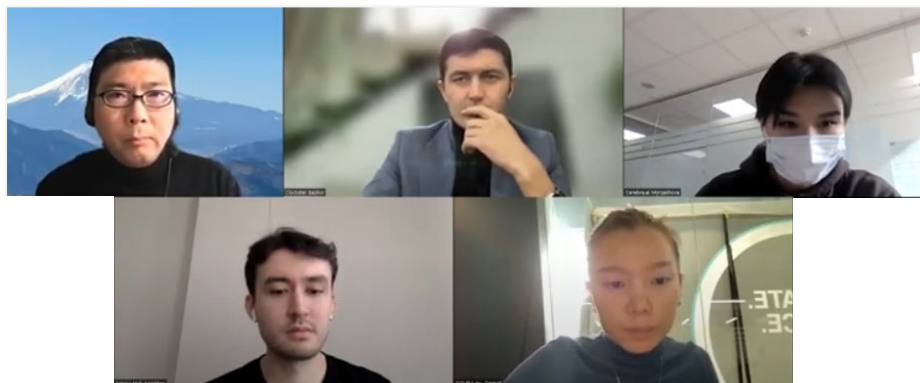
非常に多くの情報に感謝する。我々が今後協力できるような大学は実際にあるか。カザフスタンの留学生をできれば無償で、あるいは何らかの奨学金を使って派遣できるような、大学のリストはあるだろうか。

### 坂口・㈱テクノソリューション取締役事業部長：

私も参加したことがあるのだが、現在、日本の商工会議所と大学が共同で様々な学生リクルーティングのイベントを行っている。このような大学や商工会議所との連携に、非常に価値があると思う。

### エスケンディル・国際ITスタートアップ・テクノパーク「アスタナ・ハブ」国際関係・投資・輸出オフィスマネージャー：

今回このような機会をいただいたことに改めて御礼申し上げます。またコメントにも感謝する。今後のさらなる協力についてのコメントであったと受け止めている。我々も協力の可能性があると考えており、ぜひ関係を推進していきたい。協力の具体的なお提案ができればと思う。



### ◆セッション3: テーマ別分科会「医療分野における協力の可能性」

#### (10)エルハト・イスカリエフ 有限責任事業組合「SK-Pharmacy」会長 挨拶

我々は製薬・医療機器分野における日本とのビジネスを非常に重要視している。保健省そして「SK-Pharmacy」を代表し、本日までご参加者の皆様にご挨拶申し上げます。

我々の国の関係は歴史的に短いですが、両国の関係は、拡大された戦略的パートナーシップのレベルに達している。カザフスタンは経済の近代化を成功させるため、日本の投資と先端技術の誘致に関心を持っている。相互に有益な共同プロジェクトを実施するための有利な条件づくりを行う用意がある。カザフスタンの製薬業界は、効果的な政府の支援措置のおかげで、収益性の高い投資の大きな可能性を秘めている。

コロナ禍の経済・投資活動を回復するための措置を検討するにあたり、トカエフ大統領は、国内製薬産業の発展が我が国の医薬品の安全保証にとって重要であると述べ、2025年までに国産医薬品のシェアを50%に拡大すると宣言した。そのため、カザフスタン政府は『2025年までの製薬産業発展総合計画』を採択し、すでに実施がなされているところである。

計画の主な方向性の1つは、製薬科学の発展、そしてビッグファームと呼ばれる世界的プレーヤーの参加による新たな製造拠点の開設である。とりわけ、高価な革新的製品の生産開発、技術移転による産業促進、デジタル化、革新的医薬品・原薬の現地生産を重要視している。医薬品や原料、医療機器の契約ベースの製造を行うため、カザフスタンに日本の製薬会社を誘致することが、両国間の貿易・経済協力の発展拡大に新たな展望を開くということを強調したい。

本日は、カザフスタンの製薬業界の医薬品供給システムと生産分野の投資ポテンシャルについて紹介する予定である。我々は日本の新たな技術だけでなく、日本の経営文化にも期待している。これは他の様々な分野でも同様で、そのためにも、日本貿易振興機構（ジェトロ）との覚書の締結を提案したい。

本日の直接対話が、我々の協力の地平線をさらに広げる一助となることを願う。大手企業との契約ベースでの生産が実現することを祈る。本日のウェビナーが、両国間のあらゆる協力発展のための重要なきっかけとなると信じている。「九層の台は累土より起こる」と言うように高い塔も地面から築かれる。偉大なものもすべて小さなものから始まる。



**(11)有限責任事業組合「SK-Pharmacy」**  
**アイグリ・スィズディコヴァ 戦略部長**  
**報告「医薬品のシングルディストリビューター」**

カザフスタンにおける医薬品シングルディストリビューターシステムについてご紹介する。

2020年の医療費全体に占める公費負担の割合は44%であった。残り25%は強制保険、31%が国民1人ひとりの民間支出による負担である。国や保険が負担する医療提供に関わっている医療機関の総数は1,500カ所で、そのうち民間機関が818カ所であった。

カザフスタンの医薬品市場の規模は約15億ドルで、その37%を国家財政がカバーしている。そのうち66%の流通を我々「SK-Pharmacy」が担っており、さらにそのうち60%が外来専門医療と医薬品の提供、40%が入院医療の提供である。7,000点以上の医薬品と、9,600点以上の医療製品が国の医薬品登録簿に登録されている。このうち2021年に「SK-Pharmacy」が調達したのは約1,400品目である。カザフスタンの国家予算と医療保険でカバーされているリストには国際的な非独占的・一般的名称（INN）が900品目あるが、そのうち600品目は「SK-Pharmacy」が調達しているものである。

我々は、厳しい条件をもつ国際的な品質管理基準に従って、国家予算および医療保険による医薬品流通の質を確保している。「SK-Pharmacy」は入院受け入れを行う病院、外来専門クリニックあわせて約2,000の医療機関に医薬品を提供している。カザフスタンでは年間200万人以上が、外来専門クリニックで131種の疾病に対応した薬を無料で受け取っている。

「シングルディストリビューター」システムは、国家予算によって医薬品の購入を一元化するため、2009年に設立された。同年、「SK-Pharmacy」がシングルディストリビューターとして指定された。このシングルディストリビューター創設の主な目的は、カザフスタン国内の医薬品生産の支援と、国家予算および健康保険の範囲内で医薬品・医療用品を円滑に供給することである。

「SK-Pharmacy」は4つの買い付け方法を用いて活動を行っている。1つ目が国内のメーカーとの長期契約、2つ目が国内外の製造工場との直接契約である。3つ目はユニセフやUNDPなどの国際機関を通じた買い付けで、これはHIVや肝炎などのための非常に重要な医薬品が対象である。そのほか、4つ目としてウェブ上の調達ポータルによる2段階の入札もある。

2010年と2020年を比較すると、シングルディストリビューター経由の購入額は、2010年の313億テングから2020年の2,785億テングへと8倍に増加した。購入品目数は、2010年の804品目から2021年の1,439品目と約2倍となった。このおかげで国家予算を相当節約することができた。そして国産の医薬品消費の割合は、10年で162品目から663品目と3倍に増えた。金額にして約900億テングである。2021年の購入実績を見ると、購入金額全体に占める割合の大きさは第1位

が国産品であった。2位はドイツ製であった。

2019年にシングルディストリビューターは、医薬品が無料で提供される枠内での45種の疾病のための医薬品と医療用品を調達した。2020年1月からカザフスタンでは強制医療保険システムが導入され、さらに105種の疾病が追加でカバーできるようになった。現在カバーされている疾病の数は45種から137種へと、およそ3倍に増えている。ここで強調したいことは、節約をしたことで出費はそれほど増えていないという点である。

新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環として、我々「SK-Pharmacy」はカザフスタン保健省の委託を受け、2021年2月から5種類のワクチンを調達し、1,400万回分のワクチンを出荷した。

次にロジスティクスについてご説明する。「SK-Pharmacy」の倉庫・物流システムは、ヌルスルタン市、アルマトィ市、シムケント市、アクトベ市の4つの配送センター（ハブ）で構成されており、各ハブはトランジットオペレーション倉庫を拠点に、それぞれ管轄する複数の地域・州への供給を担っている。国内17地域のすべてに迅速な輸送ができるよう、ハブには2カ月分の医薬品と医療用品を保管することに重点を置いている。

シングルディストリビューターを通じた、これまでの国内メーカー製品の調達量は、金額ベースで15倍以上に増加した。医薬品・医療用品の調達総量に占める国産品の割合は37%となった。89件の長期契約を締結し、4,764品目を調達した。2009年から2021年にかけて、シングルディストリビューターによる調達に占める国産医薬品シェアは順調に増加している。2010年には国内メーカーのシェアは金額ベースで15%だったが、2021年末にはその2.3倍の37%になった。

国内メーカーへの支援は、10年間の長期契約の形でなされている。10年間の長期供給契約の義務の適切かつ質の高い履行を条件に、将来、完成品の販売に必要な医薬品市場の一定のニッチをメーカーに提供している。医薬品・医療用品の製造工場建設あるいは近代化を目的として国内メーカーが入札に参加するにあたり、「SK-Pharmacy」は毎年、医薬品・医療用品の仮のリストを作成し、長期契約締結のための入札を行っている。入札結果に基づき、落札した国内メーカーと10年間の長期契約を締結する。長期契約の医薬品・医療用品リストに沿った供給準備が整った場合は医薬品の供給に関するさらなる追加合意書を締結することになる。

現状、カザフスタンの国内主要メーカー10社が国家発注の88%をカバーしている。新型コロナウイルス対策の医薬品についても、48%が現地生産されている。イスカリエフ会長の挨拶にもあったが、大統領の指示のもと2025年までに国内生産シェアを50%まで拡大する計画がある。

我々の業界では、医薬品メーカーが33社、医療用品メーカーが41社、医療機器メーカーが22社、合計96社の国内メーカーが活動を行っている。製薬企業は主にアルマトィ州やカラガンダ州、シムケント市、アルマトィ市に集中している。その理由は交通ハブに近く、原材料や雇用

が確保できるということが挙げられる。

国内メーカー支援のため、医薬品・医療用品の受託製造という概念が導入されている。外国企業が、カザフスタン国内の代理店の設備を使って製造を行うものである。国内パートナーはグッドマニュファクチャリングプラクティス（GMP）の遵守を保証する。現在、政令第375号により、すでに業界トップ30社に入るような大手企業の参入が始まりつつある。

シングルディストリビューターシステムで調達した医薬品リストを調べた結果、現地メーカーがカバーしていない367品目の医薬品・医療用品のうち、41品目が最も高い価値を生み出していることが判明した。これは、ワクチンや血液凝固因子、糖尿病薬、抗腫瘍薬などの薬品価格と総量比が国家ルートの販売で最大の利益を構成しており、投資家にとって最も魅力的であることを意味している。

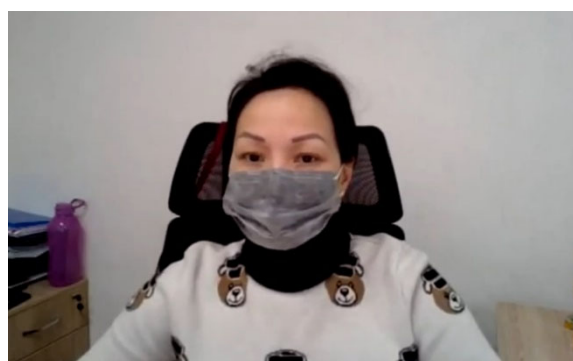
国内製造発展のための強力なインセンティブとなるのは、ファイザーやバイエル、サノフィなど業界トップ50社に入る大手グループとの協力である。そして製薬クラスター発展への大きなインセンティブとなるのは、国内の研究機関、研究開発センターのような大規模な医科大学研究所の関与、そしてそうした機関の経済特区やインダストリアル・ゾーンへの展開である。

研究開発センター発展の主な方向性は次のとおりである。

- ・ 長期契約の可能性を利用するなど、輸入代替医薬品の創出を目的とした研究開発支援
- ・ 科学研究所の技術設備の充実および国内大手製薬企業との共同作業
- ・ 効果的な特許研究と国際市場モニタリングの促進
- ・ 医薬品開発に関連する小規模な科学企業向けの助成金制度の創設

国内の医薬品メーカーを支援するため、国家と投資家の接点を「ワン・ウィンドウ」の原則にするという考えに基づき、カザフインベストと「SK-Pharmacy」はインベストメントガイドブックを共同で策定した。「SK-Pharmacy」のウェブサイトから閲覧することが可能である。

さらにカザフインベスト、カズトレード、カズインダストリー、バイテレク基金、アスタナ国際金融センターに代表される多くの国の支援機関があり、投資プロジェクトを支援するため、「事業展開する国での潜在的投資家との協働」、「ファイナンシャルサポート」、「国内メーカーの輸出促進」、「貿易と金融の流れのオーガナイズ」といったツールを提供している。今後の実り多い協力を期待している。



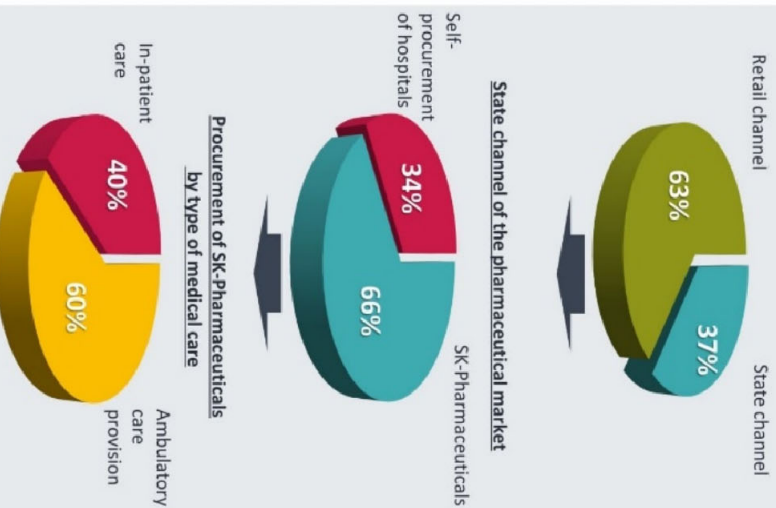


# Pharmaceutical provision in the Republic of Kazakhstan

Healthcare spending in Kazakhstan in 2020



Pharmaceutical market of Kazakhstan  
US \$1.5 billion



State Register of Kazakhstan

**7 341**  
Medicines

**9 687**  
Medical Devices

List of SK-Pharmaceuticals

**1 033**  
Medicines

**406**  
Medical Devices

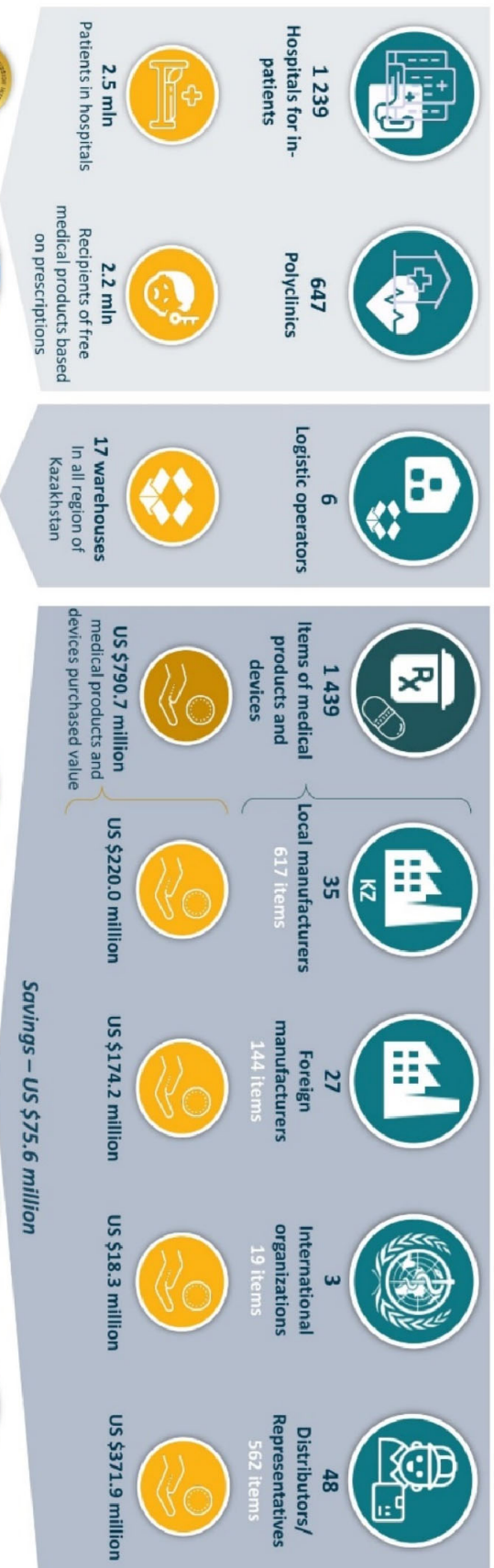
Drugs used under Government Budget and Social Insurance (according to International Nonproprietary Names)

**900**  
Kazakhstan National  
Drugs Formulary

**600**  
SK-Pharmaceuticals

# SK-Pharmaceuticals: Single Distributor

**Single Distributor** adheres to international standards of quality assurance based on strict international requirements that ensure high quality distribution of medical products and devices  
 Carries out procurement and provision of medical products and medical devices within Government Budget and within Social Insurance in accordance with the Code of the Republic of Kazakhstan "On people's health and the health care system"





## Legal status of the Single Distributor

### Definition of the Single Distributor's legal status

Resolution of the Government of the Republic of Kazakhstan dated February 11, 2009 No. 134 "On some issues on the implementation of a unified drug distribution system within the guaranteed volume of free medical care" By the Decree of the Government of the Republic of Kazakhstan dated November 7, 2009 No. 1781 "On a single distributor" SK-Pharmaceuticals LLP was determined as the Single Distributor

### Definition of the Single Distributor's area of operations

Code of the Republic of Kazakhstan dated September 18, 2009 "On people's health and health care"

### Full ownership of SK-Pharmaceuticals was transferred to Ministry of Healthcare

Resolution of the Government of the Republic of Kazakhstan dated May 25, 2013 No. 516 "On measures to implement the Decree of the President of the Republic of Kazakhstan", dated May 22, 2013 No. 571 "On some measures to optimize the management system of development institutions, financial organizations and the development of the national economy"

### Organization's regulations and purchasing procedures

Resolution of the Government of the Republic of Kazakhstan dated June 4, 2021 No 375 "On approval of the Rules of organization and procurement of medicines, medical devices and specialized medical products within the guaranteed volume of free medical care and (or) in the compulsory social health insurance, pharmaceutical services and the recognition of some decisions of the Government of the Republic of Kazakhstan as invalid"

### Storage and transportations services procurement rules

Resolution of the Government of the Republic of Kazakhstan dated February 9, 2021 No. 47 "On approval of the Rules for the procurement of services for the storage and transportation of medical products, medical products by the Single distributor within the guaranteed volume of free medical care and in the system of compulsory social health insurance"

### List of medical products

Annual Order of the Minister of Health of the Republic of Kazakhstan "On approval of the list of medical products and medical devices within the guaranteed volume of free medical care and in the system of compulsory social health insurance, subject to purchase from the Single Distributor"

4



## WAYS OF PURCHASING MEDICINES AND MEDICAL DEVICES BY SINGLE DISTRIBUTOR

### LONG-TERM CONTRACTS



Every year additional agreements (for the amount of 73 billion tng) are concluded for the items on the list of the Single Distributor to the existing long-term supply contracts (63 Long-term contracts to date)

#### Major domestic manufacturers:

- 1) Chempharm;
- 2) Nobel AFF;
- 3) Abdi Ibrahim;
- 4) Kelun-Kazpharm;
- 5) Dolce;
- 6) Karaganda Pharm. complex;
- 7) Nur-May Pharmacy;
- 8) Ecopharm;
- 9) Axel & A;
- 10) Kaz Med Prom.

### DIRECT CONTRACTS



Every year direct contracts are signed with manufacturing plants for medications that have no analogues in the territory of the Republic of Kazakhstan (to the amount of 55.2 billion tenge) on the items of the list of the Single Distributor

#### Large plants:

- 1) Pfizer;
- 2) Glaxo;
- 3) Novo Nordics;
- 4) Boehringer;
- 5) Novartis;
- 6) Sanofi;
- 7) Takeda;
- 8) Vetter;
- 9) Baxter;
- 10) Janssen.

### INTERNATIONAL ORGANIZATIONS



In 2016 an agreement was signed between UNICEF and «SK-Pharmaceuticals» LLP  
Procurement through UNICEF - an increase in coverage of HIV patients from 6 thousand to 18 thousand people

On February 1, 2018 an agreement was signed between UNDP and «SK-Pharmaceuticals» LLP  
Procurement through UNDP is to increase coverage of patients with "Hepatitis C" from 4 thousand to 18 thousand people (SOFOSBUVIR)

### DOUBLE STAGE TENDER (E-PROCUREMENT)



- THE WORK IS UNDERWAY TO INTEGRATE THE IT SYSTEMS OF THE ELECTRONIC FINANCE CENTER with:

- ✓ State Register of Medicines and Medical Devices (National Center for Expertise of Medicines and Medical Devices)
- ✓ Electronic Government Portal
- ✓ «E-license» state database

INTERNATIONAL PROCUREMENT EXPERIENCE IS STUDIED, WHICH IMPLIES AUTOMATIC REFLECTION OF DATA ON PRICES, APPROVALS, ETC.

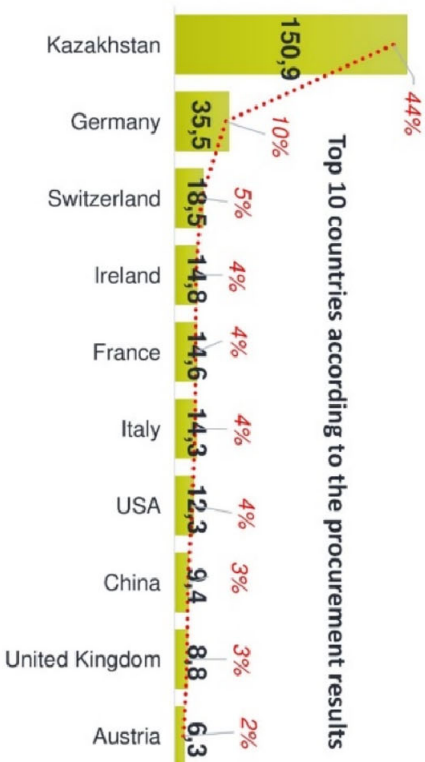
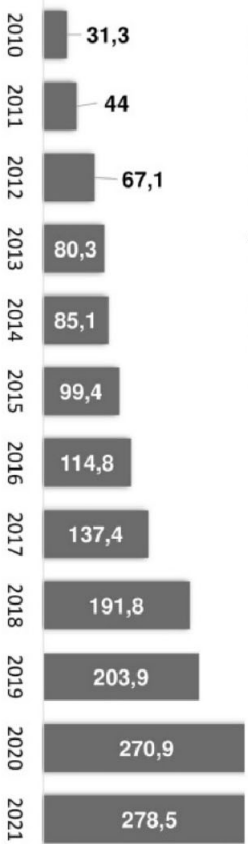


# Procurement of the Single distributor

## Dynamics of procurement of the Single Distributor for 2010-2020

(in billion KZT)

In monetary terms, the purchase volume increased eightfold, from 804 items in 2010 to 1,439 in 2021.



**EQUAL PRICE** – annually about 2 million patients are provided with the same quality medicines, regardless of administrative and territorial affiliation

**CENTRALIZED PROCUREMENT** - 2 thousand medical organizations at the in-patient and out-patient level  
Total Budget Savings in 10 years - **US \$378.8 million**

**THE GROWTH OF THE DOMESTIC MANUFACTURER'S SHARE IN THE TOTAL PURCHASE VOLUME OVER 10 YEARS FROM 15% TO 44%. PLAN 2025 - 50%**

**Procurement through UNICEF, UNDP, STOP-TB and direct contracts with foreign manufacturers (without distributor margin) 20% OF SAVINGS IN TOTAL SAVINGS STRUCTURE**



## Medicines Provision for the Population (OMP)

Until 2020



Guaranteed Volume of Free Medical Care

**45** nosologies



**\$ 264,5 million**

From January 1, 2020



Guaranteed Volume of Free Medical Care

**137** nosologies

3 times

**32**

nosologies

Guaranteed Volume of Free Medical Care



**\$ 363,5 million**



Mandatory Social Health Insurance

**105** nosologies

Mandatory Social Health Insurance

























by 37,4%

Guaranteed Volume of Free Medical Care - \$ 300 million  
Mandatory Social Health Insurance - \$ 63 million

**Expanding the coverage of nosologies in the framework of the Guaranteed Volume of Free Medical Care and Mandatory Social Health Insurance by 3 times, from 45 to 137 nosologies**



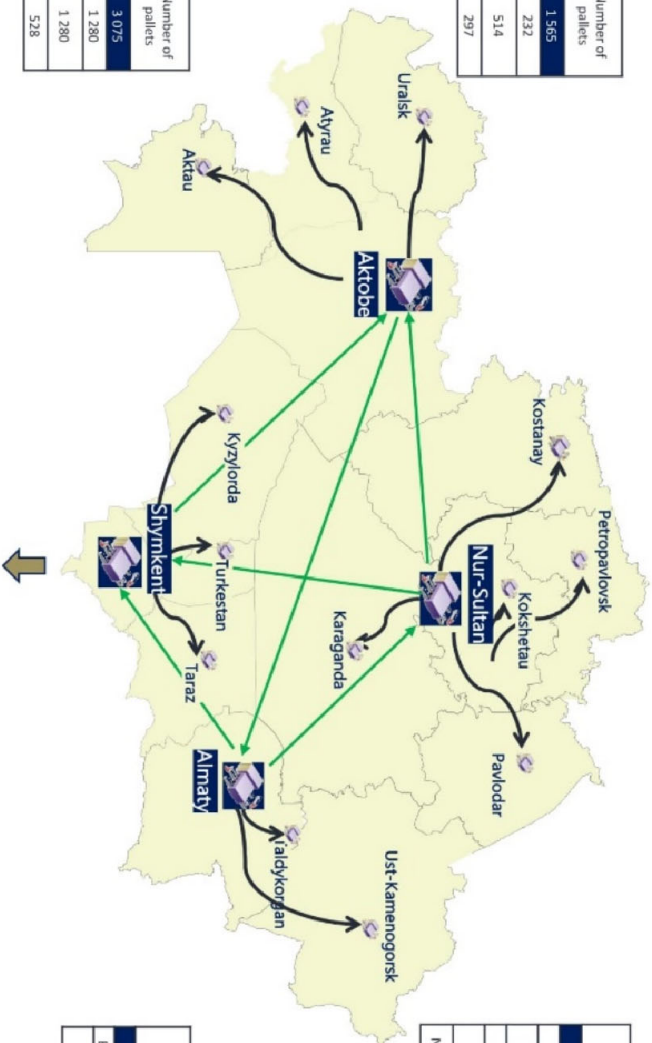
## PURCHASE OF VACCINES AGAINST COVID-19

	PURCHASED, doses	SHIPPED, doses	POPULATION COVERAGE	PRODUCER COUNTRY	TEMPERATURE REGIME	STORAGE DURATION
	 <b>14,3 million</b>	<b>11,3 million</b>	 <b>7,1 million people</b>		<b>-18 C</b>	<b>6 months</b>
	 <b>1 million</b>	<b>1,0 million</b>	 <b>500 thousand people</b>		<b>+2+8 C</b>	<b>2 years</b>
	 <b>3 million</b>	<b>450,2 thousand</b>	 <b>1,5 million people</b>		<b>+2+8 C</b>	<b>6 months</b>
	 <b>500 thousand</b>	<b>500 thousand</b>	 <b>250 thousand people</b>		<b>+2+8 C</b>	<b>2 years</b>
	 <b>4 million</b>	<b>1 million</b>	 <b>2 million people</b>		<b>+2+8 C</b>	<b>2 years</b>
	 <b>4,2 million</b>	<b>-</b>	 <b>2,1 million people</b>		<b>-70 C</b>	<b>6 months</b>
<b>TOTAL</b>	<b>26,8 million doses</b>	<b>14,3 million doses</b>	<b>13,4 million people</b>			

## SK-PHARMACEUTICALS WAREHOUSING LOGISTICS SYSTEM

4 DISTRIBUTION CENTERS (HUBS) IN NUR-SULTAN, ALMATY, SHYMKENT AND AKTOBE PROVIDE THEIR SERVICE REGION (4 SERVICE REGIONS IN TOTAL) THROUGH TRANSIT OPERATING WAREHOUSES.

Region	The total area in sq.m.	Number of pallets
<b>Aktobe city</b>	<b>2 480</b>	<b>1 565</b>
Alyrau region	512	232
West Kazakhstan region	888	514
Mangystau region	451	297



Region	The total area in sq.m.	Number of pallets
<b>Nur-Sultan city</b>	<b>6 550</b>	<b>3 790</b>
Akmola region	730	519
Karaganda region	1 195	1 195
Kostanay region	1 000	623
Pavlodar region	620	550
North Kazakhstan region	300	486

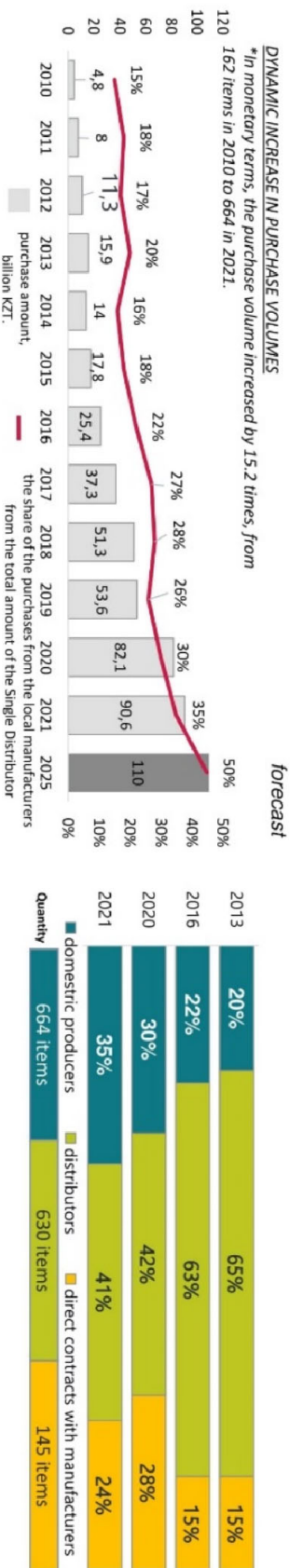
Region	The total area in sq.m.	Number of pallets
<b>Shymkent city</b>	<b>2 950</b>	<b>3 075</b>
Zhambyl region	980	1 280
Turkistan region	980	1 280
Kyzylorda region	372	528

Region	The total area in sq.m.	Number of pallets
<b>Almaty city/ Almaty</b>	<b>3 700</b>	<b>3 380</b>
East Kazakhstan region	995	906
Almaty region	1250	1128

HUBS are focused on storing a two-month supply of medicines and medical devices, for rapid relocation to all 17 regions



## Procurement under long-term agreements with local manufacturers



Since 2010, the volume of local manufacturers in local market has increased by 2 times, their share in physical terms - 39%. 89 Long-term agreements with 35 domestic manufacturers including 4 764 items are operated through the system of the Single Distributor (4 764 medicines and medical devices)

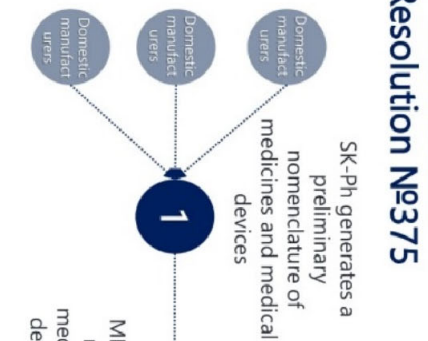
### MEASURES TAKEN TO SUPPORT DOMESTIC PRODUCERS

- Review of the criteria for selecting suppliers for long-term contracts
- Accelerated examination of registration of domestic medical products and devices
- Monitoring the execution of long-term agreements
- Opportunities to accelerate the launch of new products
- Achieving a KPI of at least 50% increase in the share of purchases from local manufacturers by 2025
- Accelerated assessment of safety and quality of domestic medical products and devices

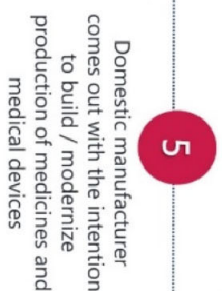
## Procedure for work under long-term contracts with domestic manufacturers

### Government Resolution №375

Requests from potential domestic manufacturers for the construction / modernization of medicines and medical devices production

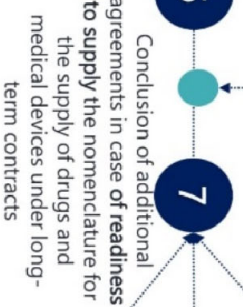


Competition for the conclusion of long-term contracts according to the criteria



Once every six months, the commission audits the implementation of investment projects of domestic manufacturers

Conclusion of long-term contracts with domestic manufacturers for 10 years



SK-Ph warehouses supply volumes to domestic manufacturers according to the schedule of medical organizations

#### The Long-Term Contracts Procurement Commission includes:

- 1) employees of the MoH RK;
- 2) employees of the Ministry of Industry and Infrastructural Development RK;
- 3) employees of National Economy RK;
- 4) employees of National Center for Expertise of Medicines and Medical Devices;
- 5) SK-Pharmaceuticals employees;
- 6) employees of National Chamber of Entrepreneurs "Atameken";
- 7) employees of Non-governmental organizations

#### The visiting audit commission for the implementation of investment projects includes:

- 1) employees of the MoH RK;
- 2) employees of the Ministry of Industry and Infrastructural Development RK;
- 4) employees of National Center for Expertise of Medicines and Medical Devices;
- 5) SK-Pharmaceuticals employees;
- 6) employees of National Chamber of Entrepreneurs "Atameken";
- 7) employees of Non-governmental organizations

#### Criteria for termination of long-term contracts:

- 1) exceeding the deadline for implementing the investment project;
- 2) breach of obligations of the supply contract;
- 3) refusal of production and delivery before the start of delivery;
- 4) Violation of the investment project implementation schedule;
- 5) document from the authorized body about unproven clinical efficacy of the medicine. <sup>11</sup>

## Top 10 manufacturers of Kazakhstan 2021

No	Manufacturer	Volume 2021, mln.tg.	Depth of localization (kaz content), %	Production capacity, units/year*	Number of items in long-term contracts	Share of exports in production volume, %
1	Nobel AFF	16 552,9	87%	1 030 000 000	214 medicines	21,40
2	Chempharm	14 202,6	53%	733 440 000	224 medicines	1,40
3	Karaganda Pharm. complex	4 280,0	65%	126 088	96 medicines	0
4	Abdi Ibrahim Global Pharm	1 158,4	91%	1 500 000 000	121 medicines	0
5	Dolce	5 516,7	83%	157 000 000	125 medical devices	0
6	Kelun-Kazpharm	4 650,1	66%	90 000 000	28 medicines	29,3
7	Super-pharm	4 839,7	68%	32 000 000	319 medical devices	0
8	PFK Eleas	1 158,4	74%	245 000 000	93 medicines	0
9	Kaz Med Prom	2 984,8	70%	55 000 000	27 medical devices	0
10	Farmaktiv	2 613,8	60%	1 500 000	1 medical devices	0

\* production capacity based on actual data from reports submitted by domestic manufacturers

In the total volume of purchases from domestic manufacturers for 2021, the share of the TOP-10 is 66%  
Nobel AFF JSC and Chempharm JSC account for 53% of the top 10  
Nobel AFP JSC, Khimpharm JSC, Kelun-Kazpharm LLP - export-oriented  
LLP "Abdi Ibrahim", JSC "Nobel AFF", LLP "Dolce" more than 80% of the kaz content  
6 of the top 10 produce medicines, 4 of the top 10 produce medical devices

**48% COVID-19 medicines** produced by domestic manufacturers  
The volume of purchase of masks from domestic manufacturers  
for retail 10 million masks worth about 391.6 million tenge  
Increase in COVID-19 medicines (Rivaroxaban manufacturer  
Nobel AFF, 40% cheaper than the price of the original)



# MAP OF DOMESTIC BRANDS IN THE PHARMACEUTICAL INDUSTRY IN KAZAKHSTAN



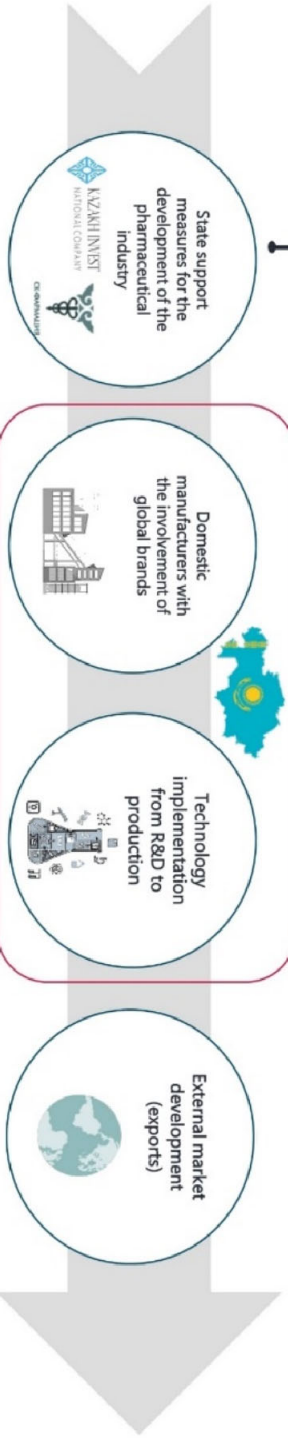
PHARMACEUTICAL ENTERPRISES ARE MAINLY CONCENTRATED IN THE ALMATY, KARAGANDA, SHYMKENT AND ALMATY REGIONS DUE TO THE PROXIMITY OF TRANSPORTATION HUBS, AVAILABILITY OF RAW MATERIALS AND LABOR



# SUPPORTING DOMESTIC MANUFACTURERS AND ATTRACTING BIG PHARMA

Priority for long-term contracts  
According to Chapter 21-1 Resolution of the  
Government of the Republic of Kazakhstan 1729

**BIG PHARMA -  
TOP 50  
by Evaluate  
Omnium**



## STATE SUPPORT MEASURES

Memorandums with Kazakhinvest, Baierek, Akimats, Kaztrade, Economic Research Institute

PHARMACEUTICAL CLUSTER DEVELOPMENT

RAW MATERIAL PRODUCTION

EXPORT POTENTIAL

PRODUCTION OF A LINE OF ORIGINAL PRODUCTS

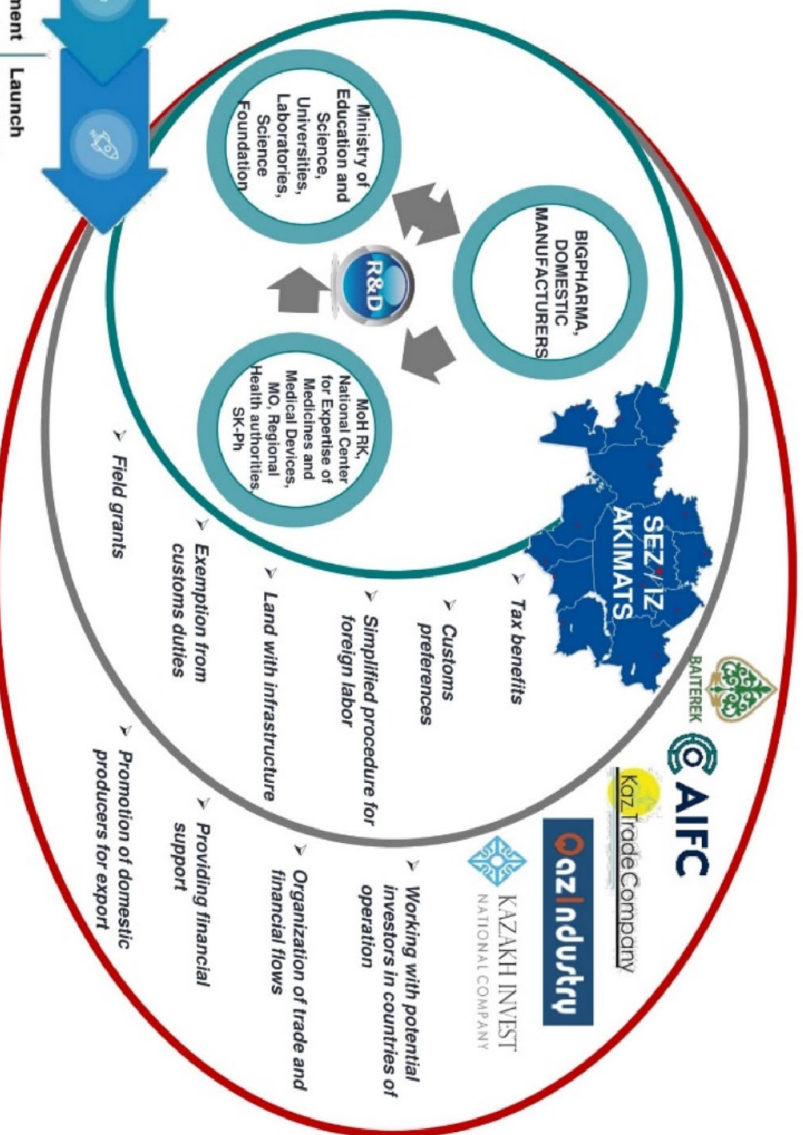
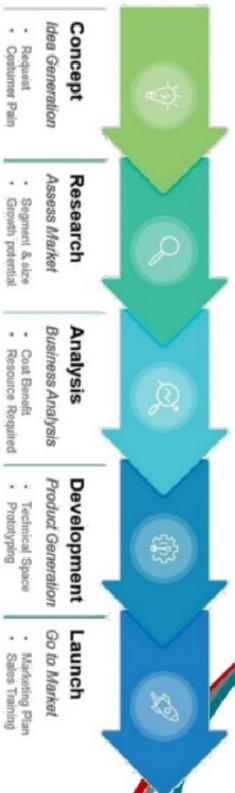
R&D IN PHARMACOLOGY

JOB CREATION

# DEVELOPMENT OF R&D WITHIN THE PHARMACEUTICAL CLUSTER



- ✓ Support for R&D to create import-substituting medicines, including by using the potential of long-term contracts
- ✓ Technological equipping for scientific laboratories and joint work with domestic manufacturers and BigPharma
- ✓ Stimulating effective patent research and monitoring of international markets
- ✓ Creation of a system of grants for small scientific enterprises related to medicine development



## アシルハン・アシルベコフ 医療機器調達モニタリング部長 報告「医療機器システムの改良」

カザフスタン共和国のトカエフ大統領は、医療機関における時代に合った医療機器の整備という観点から、投資誘致や技術移転、最新開発成果の導入、国内メーカーが製造する最新医療機器のシェアの拡大などについて、多くの指示を出した。保健省は「SK-Pharmacy」と共同でこの方向での活動を開始している。

では、カザフスタンの医療機関に医療機器を供給するシングルディストリビューターの機能について簡単に説明したい。2020年12月のカザフスタン共和国保健大臣令に従い、長期供給契約に基づいてシングルディストリビューターが購入した医療機器のリストが承認された。同リストには現在、国内メーカーが製造する16品目の医療機器が含まれている。

医療機器整備の向上のため、世界のトップメーカーや国内医療技術メーカーと協力して、医療機器製造の現地化または委託契約による製造を行う予定である。この課題を実行するために、今後数年間にわたる一連の活動が予定されている。

また、我々はカザフスタンにおける製造現地化・委託製造の問題を解決するため、医療機器の需要を検証した上で、需要をグループに分け、医療機器のライフサイクル契約のメカニズムなどを研究している。その過程で、医療機器メンテナンスの向上、スペアパーツの備蓄、医療機関技術スタッフのトレーニングなどの問題にも取り組んでいく。国際的な実証研究を基にした、ライフサイクル契約導入のソリューションにおける主な要素は、「評価と計画」、「供給と導入」、「稼働保証サービス」、「運用保証サービス」、そして分割払いやリースの利用を含む財務メカニズムもまた重要な要素である。

カザフスタンの医療機関における医療機器整備システム改善の一環として、保健省と「SK-Pharmacy」の後援のもと、医療機器に関する第1回国際フォーラム「MedTech」が、2021年10月27日にヌルスルタン市で開催された。フォーラム期間中、トゥグジャノフ副首相および保健大臣は、フィリップス、キヤノン、Roche Diagnostics、GE Healthcare、アクチュブレントゲンといった医療機器メーカーの代表者との協議を行った。その結果、医療機器メーカーから、カザフスタンでの医療機器製造現地化プロジェクトの実施に関心が示された。もちろん最終決定は、カザフスタンの医療機関における医療機器への需要を調査した上でなされる。

また、医療機器メンテナンスサービスの充実、カザフスタンの専門家の研修、ライフサイクル契約、長期リース、官民パートナーシップの導入などの問題についても議論がなされた。現在は最終決定を待っている状況にある。世界的な製薬企業・医療機器メーカーとの直接的な話し合いを国のトップが行っているということを強調したい。

日本の医療機器メーカーの皆様に、カザフスタンでの医療機器生産・製造現地化での協力を呼び掛けたい。



## Instructions of the Head of State

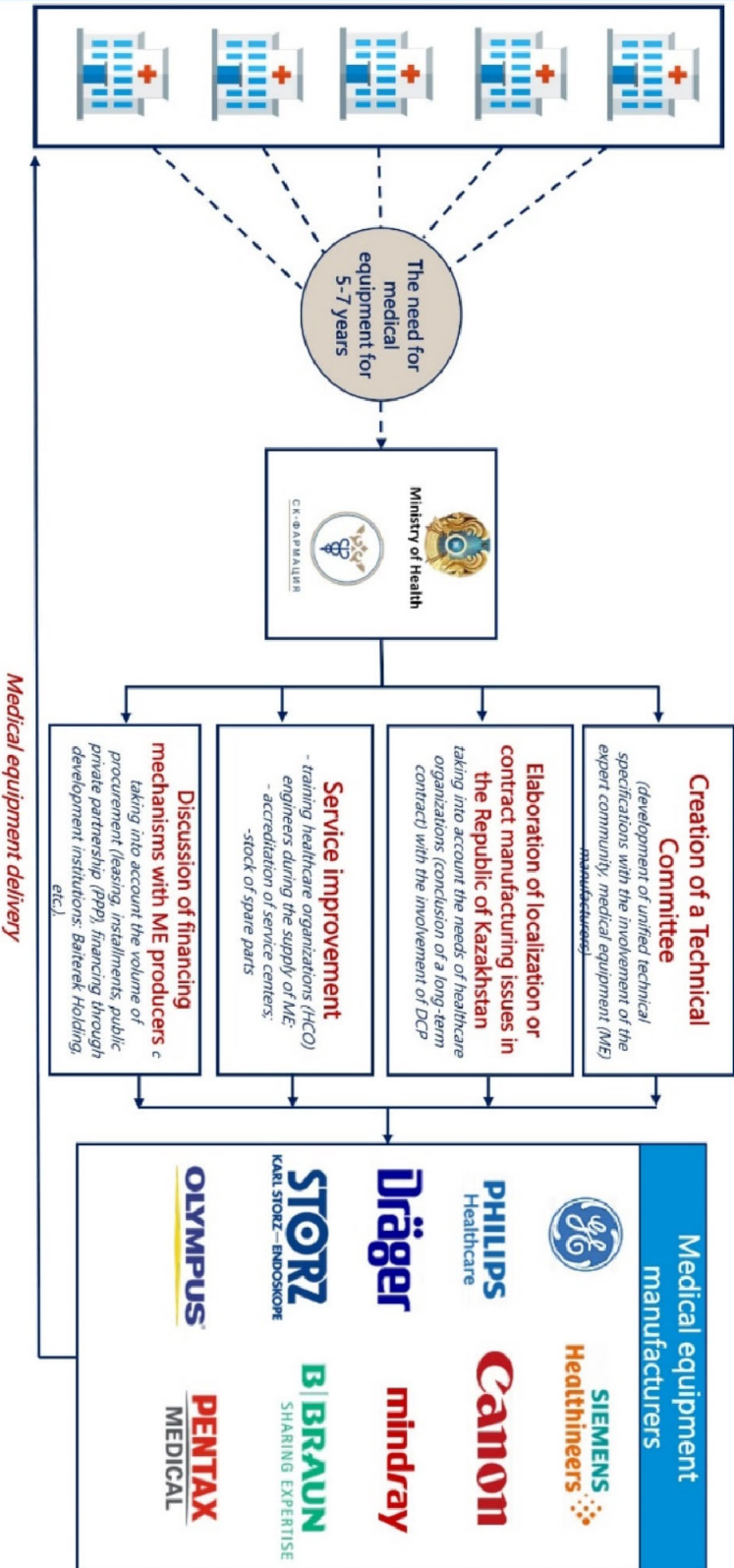
**The instruction of the Head of State given at the enlarged meeting of the Government dated 26.01.2021:** "To take measures to equip healthcare organizations with medical equipment with an emphasis on obstetrics and resuscitation services."

**The instruction of the Head of State given at the enlarged meeting of the Government dated 10.07.2021:** "It may be necessary to centralize the procurement of medical equipment, following the example of the procurement of medicines by SK-Pharmatciya. An alternative to the centralization of procurement may be some form of state regulation. It is necessary to delve into this issue, study international experience and propose a transparent, effective mechanism for the procurement of medical equipment."

**The message of the Head of State to the people of Kazakhstan dated 01.09.2021:** "It is important to attract investors and ensure the transfer of technologies and the innovative developments. It is necessary to expand the scope and nomenclature of offtake contracts with domestic manufacturers. The share of medicines and medical products of domestic production should be increased from the existing 17 to 50% already in 2025."



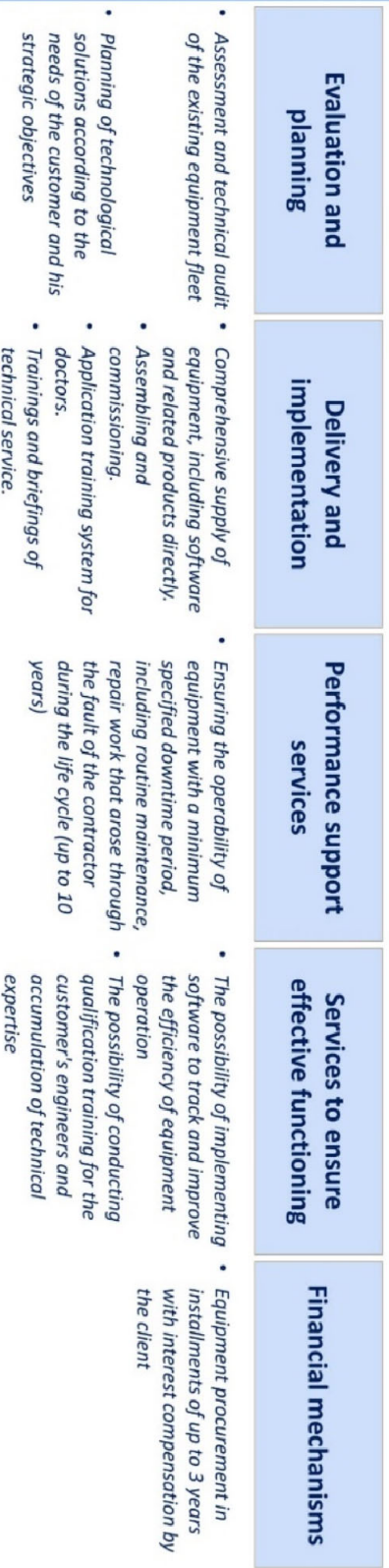
## Current plans to improve the medical equipment supply system (using localization/contract production mechanisms)



# Option of equipping healthcare organizations using the mechanism of contracts for the life cycle of medical equipment

## Life Cycle Contract (ways of a solution)

A model of direct long-term cooperation between a medical organization and a manufacturer of medical equipment



## (12)サイダ・エルデンベコヴァ カザフスタン製薬企業「Medservice Plus」事業開発部長 報告「カザフスタンにおける医薬品製造の現地化」

本日の私の報告では、医薬品製造現地化の現状、現地生産の発展に影響を与えるいくつかの要素、医薬品製造現地化の実績の3点について特に強調してお話したい。

まずカザフスタンにおける医薬品現地製造の現状について、医薬品は国の保健当局に登録されなければならないものであるが、現状では合計7,506品目が登録されている。その中でカザフスタン企業が製造しているのは1,053品目である。医薬品には原薬（API）、バルク、完成品の3種類があり、原薬やバルクも含めた全医薬品のうち、国産割合はまだ13%である。

現在、カザフスタンの国内メーカーは31社ある。全部で972品目の医薬品が製造されており、それぞれの投与剤形における国産割合は、外用薬で約4%、目薬・点鼻薬等で約10%、錠剤・カプセル・シロップ剤等が61%、非経口投与の医薬品で18%となっている。植物由来の医薬品では6.7%である。また、バイオシミラーの国産割合は1.3%、ワクチンやインターフェロン等の免疫学的製剤ではわずか0.4%、放射線の医薬品もわずか0.2%である。一方、ジェネリック医薬品では96%が国産のものとなっている。また薬剤コードの分類別では、例えば消化管・代謝に影響与える薬剤の国産割合は9%、循環器系疾患の国産割合は10%、皮膚疾患治療の薬剤では12%強となっている。いずれにしても、どの種類の薬剤に関しても、製品総数に占める国内メーカーのシェアはまだ小さいというのが現状である。

では次に、医薬品現地生産のための規制緩和について、市場へのアクセスとして登録の取得についてご紹介する。カザフスタンの国家要件に基づいた登録がなされていない医薬品の場合、まず2021年7月からはEUの要件に調和した、ユーラシア経済連合の規則に沿った登録が求められる。また、日本も含むICH（医薬品規制調和国際会議）諸国メーカーの臨床試験の査察が行われる。1枚の登録証で複数の製造拠点を登録することができる。登録申請前、あるいは日本やEUといった主な製造拠点の登録取得後に、カザフスタンの製造拠点への技術移転が可能となる。なおカザフスタンの国家要件に基づいて登録された医薬品の場合は、登録に修正を加えれば、技術移転を通じた製造の現地化が可能となる。

医薬品製造にはあらゆる段階での現地化の可能性がある。フルサイクル生産でも、一次包装や品質管理を伴う二次包装、バッチ生産からでも構わない。また、先発医薬品の場合には委託製造を行うための条件を定める。ローカルコンテンツの確認は不要で、シングルディストリビューターとの10年間の長期供給契約を結ぶための条件を別途定めることになる。医薬品の現地化は公共調達において優先される。また医薬品への付加価値税の免除がある。さらに工場建設のために特別なインダストリアル・ゾーンが割り当てられる。工場建設、GMP導入、スタッフ

トレーニングにかかる費用の一部を国が負担する。さらに医薬品の輸出に関する国の支援もあり、費用の一部を国が負担する。この中で特に強調したいのは、2点目に申し上げた、「先発医薬品委託製造の条件としてローカルコンテンツの確認は不要で、「SK-Pharmacy」との10年間の長期供給契約締結条件を別途定める」という点である。同契約は、国内メーカー発展のチャンスを保証するものであると我々は認識している。

また、「医薬品の現地製造が行われれば、公共調達において優先される」という点にも注目していただきたい。つまり競合するメーカーの製品があった場合、現地化されている製品の方が国庫による買い付けでは有利であるということだ。加えて、インダストリアル・ゾーンには様々な優遇措置がある。繰り返しになるが、特に工場建設には多大な費用がかかるため、国の支援は大きいものとなる。国による輸出費用の一部負担も大きな支援となる。ここで言う輸出は、CIS諸国への輸出、CIS諸国以外への輸出の両方を指している。

最後に、生産現地化の実績についてもお話ししたい。近年では2020年に新しい製薬工場が国内で建設され、GMP遵守の証明書も得て稼働を開始したところである。これは主にノルウェーとインドの製薬企業との協力による国際的な委託製造の例である。2021年には薬剤7品目の製造現地化に成功した。また現地化が進行中の薬剤が4品目あり、現地化の準備段階にある薬物分子が10品目以上ある。

我々にとって、この医薬品製造現地化は非常に重要な分野であり、すでに実績があるということをお改めて日本の皆様にお伝えしたい。





## CURRENT SITUATION OF LOCAL MANUFACTURING

Registered drugs **total - 7 506**

**Locally produced drugs - 1 053,**  
including:

	Drugs total	Share in registered pool %
<b>Medicinal substance, including plant materials</b>	37	0,49
<b>Medicinal bulk product</b>	44	0,58
<b>Medicinal product</b>	972	12,9

According to the state register of medicines of the Republic of Kazakhstan



## CURRENT SITUATION OF LOCAL MANUFACTURING

MSP

### Number of manufacturers – 31



- Himfarm
- Sorbent
- Pharmacy 2010
- TK Pharm Aktobe
- DOSFARM TOO
- DAULETH-PHARM
- SULTAN
- Karaganda pharmaceutical complex LLP
- Nobel Almaty Pharmaceutical Factory
- Shansharov-Farm
- Zerde Fito
- PC "Firm" KYZYLMAY "
- Kelun-Kazpharm
- "Kazakh pharmaceutical company "MEDSERVICE PLUS"
- FitOleum LLP
- Eleas PFC
- LeKos
- NUR-MAY PHARMACY
- Medoptik
- VIVA PHARM
- Industrial microbiology
- Microhim
- PLP "ZHANAFARM"
- Abdi Ibrahim Global Pharm
- Dolce
- Institute of Nuclear Physics of the Ministry of Energy of the Republic of Kazakhstan
- Eikos-Pharm
- Daulet Farm
- Research Institute for Biological Safety Problems
- Burli
- Nurli
- National Scientific Center for Especially Dangerous Infections named after Masgut Aikimbaev



## CURRENT SITUATION OF LOCAL MANUFACTURING

MSP

**Medicinal products - 972**

**Number of manufacturers– 31**

Medicinal form	Total	Local share
Medicinal forms for external use: Ointment, gel, liniment, cream, liquid for local use	37	3,9%
Solutions (drops) eye, nasal drops, ear drops, spray (oral, topical)	103	10,6%
Solid dosage forms (tablets, capsules, powders), oral suspensions, oral solutions	594	61%
Dosage forms for parenteral administration	173	17,8%
Herbal preparations (tinctures, herbal teas, extracts, oils)	65	6,7%



## CURRENT SITUATION OF LOCAL MANUFACTURING

MSP

**Medicinal products - 972**

**Number of manufacturers– 31**

Medicine type	Total	Local share
Biological medicinal products (Biosimilar drug, biosimilars)	13	1,3 %
Immunobiological preparation (vaccines, interferons)	4	0,4 %
Generic medicinal product, including well-studied medicinal products	936	96,3 %
Radiopharmaceuticals	2	0,2 %





## CURRENT SITUATION OF LOCAL MANUFACTURING

Anatomical-Therapeutic-Chemical classification system	Total	Local share, %
Code A. Drugs affecting the digestive tract and metabolism	88	9
Code B. Drugs that affect hematopoiesis and blood	55	
Code C. Drugs for the treatment of diseases of the cardiovascular system	98	10
Code D. Drugs for the treatment of skin disorders	121	12,4
Code G. Genitourinary drugs and sex hormones	17	
Code H. Hormonal preparations for systemic use (excluding sex hormones)	6	
Code J. Antimicrobials for systemic use	137	14
Code L. Antineoplastic and immunomodulating agents	83	
Code M. Drugs for the treatment of diseases of the musculoskeletal system	51	
Code N. Preparations for the treatment of diseases of the nervous system	110	11,3
Code P. Antiparasitic drugs, insecticides and repellents	7	
Code R. Medicines for the treatment of diseases of the respiratory system	125	12,9
Code S. Medications for the treatment of diseases of the sense organs	34	
Code V. Other drugs	40	



## FACTORS CONTRIBUTING TO LOCALIZATION DEVELOPMENT

Regulatory conditions for the development of local production of medicines

Market access - obtaining registration



### For drugs that are not registered according to national requirements in Kazakhstan

1. Requirements for the registration of medicines from July 2021 according to the Rules of the EAEU, harmonized with the requirements of the European Union.
2. Recognition of clinical trials of medicines, manufacturers of ICH countries (**which includes Japan**), inspections of clinical trials
3. Possibility of registration in one certificate for several production sites, which will allow transfer of technologies to the production site of Kazakhstan before filing for registration or after receiving registration of drugs from the main production site (for example, from Japan, the EU, etc.)



### For drugs that are registered according to national requirements in Kazakhstan

Localization of pharmaceutical manufacturing based on technology transfer by amending the registration dossier

## 2

### FACTORS CONTRIBUTING TO LOCALIZATION DEVELOPMENT

#### Regulatory conditions for the development of local production of medicines



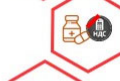
The possibility of localizing the production of drugs from any stage of production (full production cycle, primary packaging, secondary packaging with quality control and batch release)



For original drugs - contract manufacturing without confirmation of local content, separate conditions for a long-term supply of a drug with a single distributor for 10 years



Localization of drugs gives preferences in public procurement



No VAT on medicines



Allocated special industrial zones for the construction of the plant



Government partially covers the costs of plant construction, GMP and staff training



Government partially covers the costs of export of medicinal products

## 3

### PHARMACEUTICAL MANUFACTURING LOCALIZATION EXPERIENCE

*Contract manufacturing for an international pharmaceutical company (generic production)*



Successful localization of **7** drugs in 2021



In the process of localization - **4** drugs



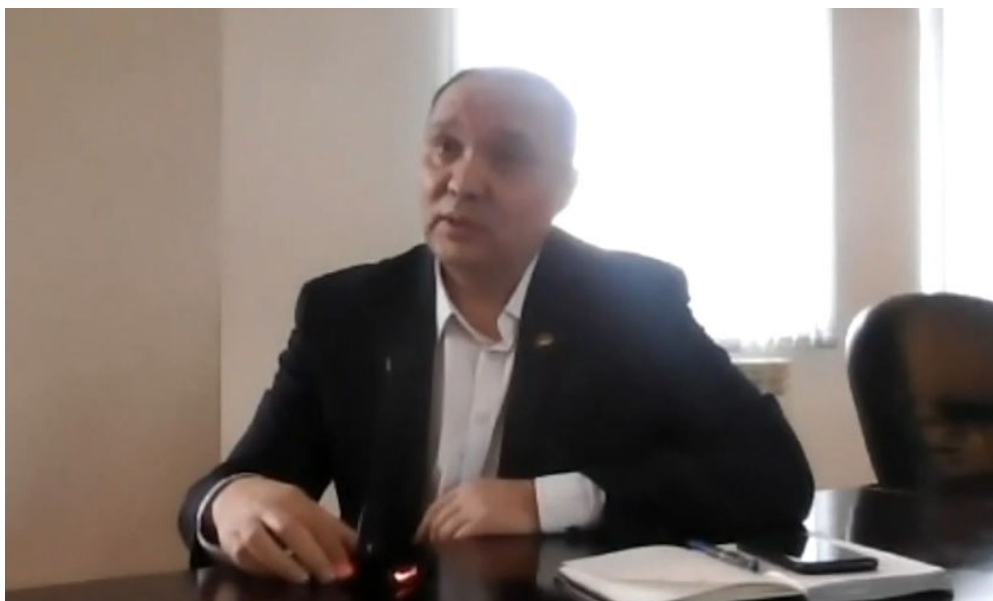
More than **10** molecules in preparation



### (13)マルス・マフムトフ 株式会社アクチュブレントゲン常務 コメント

我々アクチュブレントゲンは、レントゲン機器分野ですでに80年にわたる経験をもつ企業である。欧州の様々な企業との提携により、弊社の生産のうち30%ほどが外国企業製品の現地製造となっている。製造現地化は2007年より開始し、General Electricをはじめ米国、欧州の企業との提携のもと活動を行っている。

我々としては、ぜひ日本企業の皆様を我々の工場にお招きしたいと考えている。我々はいつでもオープンであるため、カザフスタンとの協力により、現地生産を行っていただければ幸いである。



## (14)山田紀子 ピー・ジェイ・エル㈱代表取締役社長 コメント

本日は、私が医療分野にどのように関わっているかを簡単にお話したい。

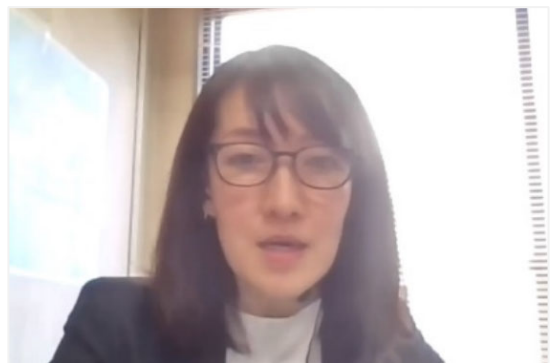
弊社は大きく分けて2つの事業を行っている。1つは、外国から医療機関を受診することを目的に来日する患者の受け入れコーディネーターである。「医療滞在ビザ」の身元保証だけでなく、医療機関の紹介・受診予約、滞在中の医療通訳や翻訳サービス、滞在中のあらゆるサポート、さらに帰国後のフォローも行っている。「医療滞在ビザ」というのは、日本の経済産業省または国土交通省に登録された法人のみが保証できるビザで、現在登録された法人は約200社ある。

もう1つの事業は、日本からの医療機器の輸出である。基本的にメーカーとの直接契約に基づいて輸出を行っている。輸出事業は日本の医療機関と医療機器メーカーとの連携に基づいて行われているため、日本の医療に関する情報や医療技術に関する情報について、弊社は専門家に常に確認できる立場にある。また、確認を経た的確な情報発信をすることに努めている。

患者の受け入れと医療機器の輸出、どちらの事業においても、需要把握のためには日本側だけでなく、外国側における信頼できるパートナーの存在が不可欠である。実際の事業を通じて情報交換を行い、その情報交換による事業発展の機会を増やしたいと思っている。

しかしながら、実際に事業をスタートさせること自体が課題でもある。カザフスタンと日本の間にも、相互に医療事情に関する情報がなかなか得られないという現状があるため、情報を得るための方法の1つとして今回のようなセッションは大変有用だと思う。本日は具体的なカザフスタンにおける医療分野の事情もご説明いただき、医薬品を扱うシングルディストリビューターや、メーカーによる協会の存在も知ることができた。そのおかげで、具体的にカザフスタンに提案したいことがイメージできてきたのではないかなと思う。今後の機会には、日本の医療事情についてもぜひ知っていただければと思う。

最後に、カザフスタンにもメーカーによる協会があるとのことなので、日本の協会についてもご紹介したい。日本にも医薬品や医療機器メーカーの協会がいくつかあるが、外国からの患者に医療を提供するという点での協会があり、それが「国際メディカル・コーディネーター事業者協会（JIMCA）」である。外国からの患者がトラブルなく安全に医療を受けられる、また日本の医療機関が安全に医療を提供できるということを目的として、現在ガイドラインの整備を行っている。今後は各国との医療交流も行っていきたい。両国の医療における接点や事業が広がることを期待している。



### セッション3 質疑応答

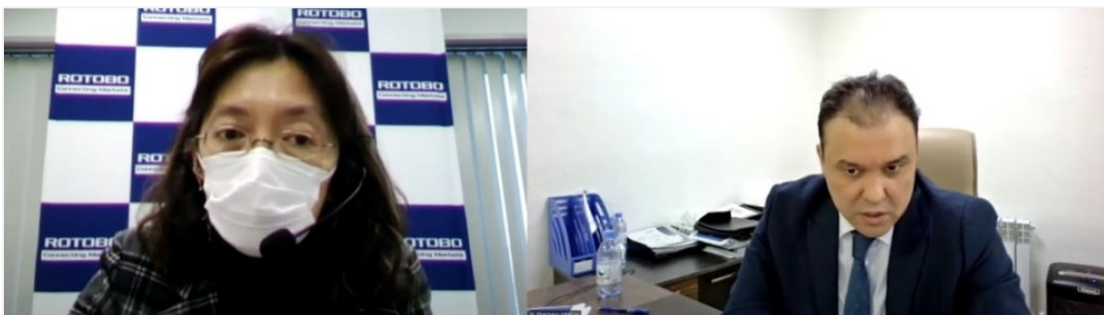
#### 有限責任事業組合「SK-Pharmacy」への質問：

購買対象となる医薬品や医療機器をどのように決めているのか。医療現場の需要はどのように「SK-Pharmacy」の調達計画に反映されるのか。また、民間の医療機関との関係について知りたい。「SK-Pharmacy」が外国から輸入した医薬品は民間の病院も購入することができるのか。

#### イスカリエフ・有限責任事業組合「SK-Pharmacy」会長回答：

我々は国営医療機関とのみ関係をもっている。一部、医療保険分野での付き合いはあるが、基本的に民間企業とは活動を行っていない。調達計画については毎年、医療機関から様々な申請を受け取っている。これらの情報は我々の調達計画に自動的に反映されることもあれば、ヒアリングを行い反映させることもある。2つ目のポイントは在庫管理である。我々は通常の買い付けサイクルの数量以外に、さらに25%分を在庫としている。現在、例えば新型コロナウイルスの医薬品については30~60品目、2倍の在庫量を維持している。ただしウイルスが変異し続けていることから、現在の品目数は16品目である。「SK-Pharmacy」はシングルディストリビューターであり、すべての医療機関の需要や提案を統合し、買い付けを行っている。大手外国製薬企業との長期契約による大規模な買い付けも行っている。国際機関経由の買い付けや入札システムもある。我々の供給先は2,000もの病院であることから、コスト削減のため入札は自動化されている。また我々は、医療機器に関して政府が提供するグラントのオペレーターでもある。これらはすべて国家プログラムに関係したもので、我々がその運用を担っているのである。

民間医療機関との関係については、「Medservice Plus」からお話があるかと思うが、我々を通じたカザフスタン国内製薬企業の連絡先リストの提供や、同協会による紹介は可能かと思う。基本的に民間市場は「Medservice Plus」を通じての活動しかしていない。国営ディストリビューター経由の活動は、世界でも便利なものとして機能しているものである。そして実際に我々は買い付け、保管、供給に至るまで、マルチな活動を行っている。



### カザフスタン製薬企業「Medservice Plus」への質問：

カザフスタンの国内メーカーは31社あるとのことだが、これらの企業は地理的にどこかの地域に集中しているのか。製薬クラスターのようなものはカザフスタンの国内に存在しているのか。それから現地化について、製品の国内生産で国家がその経費を一部負担する支援についてお話しされていたが、この一部というのは、法律などで決まっているのか。あるいは何らかの交渉においてそのポーションが決められるのか。

### エルデンベコヴァ・カザフスタン製薬企業「Medservice Plus」事業開発部長回答：

イスカリエフ「SK-Pharmacy」会長よりカザフスタン市場についてお話しいただいたため、私からは、カザフスタンが最も多くの無料医療サービス提供をしていることを強調したい。カザフスタン医薬品市場の約66%は、国による国民への無料医薬品提供が占めている。つまりシングルディストリビューターが、買い付け等のあらゆる活動により、国の医薬品市場の6割以上に携わっているということである。そして残りの約4割が、民間企業が供給する医薬品である。これが平均的な割合である。

1つ目の国内製薬企業の地理的分布についてのご質問だが、31社の企業は様々な州に分散して所在している。しかし、主要な大企業はアルマトィ市やシムケント市のような2大都市に集中していることにご注目いただきたい。多数の企業があるのはアルマトィ市、アルマトィ州だが、シムケント市にもいくつかの大手企業が存在する。その他の国内製薬企業は地方に点在しており、例えばそのうちの大企業の1社である「Karaganda pharmaceutical complex」はカラガンダ市に所在している。

また、私自身もアルマトィ市にいるわけだが、アルマトィ市には、市としての医薬品製造クラスター発展特別プログラムがある。そのほか、「SANTO」や「Himfarm」といった企業はシムケント市にある。「Zerde Fito」は薬草由来の原料を扱っている企業で、同社もシムケント市に所在する。しかし概して大多数の企業はアルマトィ市に所在している。

これに関連してご注目いただきたいのは、我々、カザフスタン製薬企業「Medservice Plus」の契約ポートフォリオである。現在、我々はディストリビューターとして最も大きなポートフォリオをもっている。我々が保有する契約数は約350件あり、うち160件が西側諸国の製薬企業との直接契約である。事実として、我々はオーストラリア大陸以外のすべての大陸とは取引がある。そして、我々のもつ350件の契約数のうち、残りの約半分が国内企業との契約である。これらの国内企業は我々と長期にわたってパートナー関係にあり、我々がディストリビューターとなりサービス等を提供している企業となる。また国内の製薬企業以外にも、保税倉庫、通関業

者、また独自の薬局販売網をもつ卸売業者など、いくつかのパートナーがいる。以上が弊社についての簡単な紹介である。

それから2つ目のご質問、国の支援に関してだが、私からお話しした国の様々な特典についてはご指摘の通り、法律規定がある。法で規定されていなければ、我々は契約などすることはできない。個別にご連絡をいただければ法律規定のリンクを提供する。これに関連して、経済発展省や保健省には、こうした国の支援プログラムについて紹介する様々なセミナーや会合を開催する機関がある。インターネット上で公開されている情報なのでお探しいただけると思う。

#### **スィズディコヴァ・有限責任事業組合「SK-Pharmacy」戦略部長：**

国内メーカーへの特典について、私から補足をさせていただきたい。我々「SK-Pharmacy」の報告でもお話ししたが、重要な特典の1つは、「SK-Pharmacy」と国内メーカーが10年間の長期供給契約を結ぶことである。この契約により長期にわたってサプライヤーの製品販売を保証することができる。これはカザフスタンメーカーのための主な特典の1つである。

#### **エルデンベコヴァ・カザフスタン製薬企業「Medservice Plus」事業開発部長：**

私は報告の中で、現地生産を予定する特定品目の供給のため、国がシングルディストリビューターとの協力のもと、国内メーカーに対して10年間の長期供給契約締結の可能性を与えたとお話しした。シングルディストリビューターが必要とするリストに含まれている医薬品の製造を現地化した場合、シングルディストリビューターは10年にわたって当該国内メーカーからのみ買い付けを行うことになり、当該製品の10年間の販売が保証されることを意味する。これはビジネスにとって非常に重要な側面であると思う。

#### **スィズディコヴァ・有限責任事業組合「SK-Pharmacy」戦略部長：**

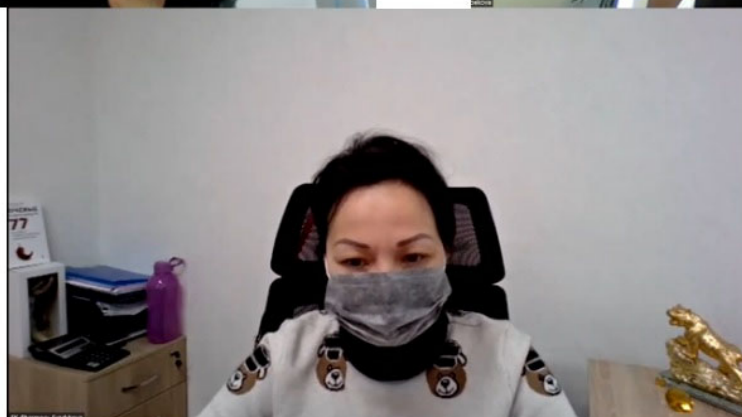
さらに加えて強調したいのは、委託生産契約を結んでいるメーカーとも契約締結が可能であるという点である。つまり「SK-Pharmacy」は、カザフスタンにおいて先発医薬品を現地製造したい外国メーカーとも長期契約を結ぶことができる。我々は10年間の当該医薬品の販売を保証する。もちろん当該医薬品の製造に関する特定の環境や品質の必要条件の遵守は求められる。報告でもお伝えしたことだが、我々が国内医療機関のために買い付けている製品のうち40%は国内メーカーからの買い付けであること改めて強調したい。

**エルデンベコヴァ・カザフスタン製薬企業「Medservice Plus」事業開発部長：**

日本側にご質問というかお願いがあるのだが、カザフスタン市場に進出される際には、医薬品の価格形成にご注意いただきたい。カザフスタンで日本の医薬品は、一般的な国内メーカーのものよりかなり高い価格での提供になる可能性がある。これは非常に重要な点である。他にも細かい注意点があるが、それは具体的にご連絡をくださった方にご説明したい。

**スィズディコヴァ・有限責任事業組合「SK-Pharmacy」戦略部長：**

それからもう1つ、カザフスタンの法律に則り全権を受け、我々ディストリビューターが発注者との契約を締結することができるという点も強調したい。これも外国のパートナーの方々にとってカザフスタン市場への進出のための重要な1ルートであると思う。ぜひ日本企業の皆様を我が国の市場にお招きしたい。



#### ◆セッション4: テーマ別分科会「鉱業・冶金分野における協力の可能性」

##### (15)ダニヤル・ムィルザフメフ 国営鉱業企業「タウケン・サムルク」投資・マーケティング部長 報告「国営鉱業企業『タウケン・サムルク』について」

私からは、国営鉱業企業「タウケン・サムルク」についてご紹介する。当社は関係者の利益のため、鉱業・冶金業界におけるハイテクで効率的な新技術の開発・導入に取り組んでいる企業である。簡単に申し上げれば、タウケン・サムルクは国家福祉基金「サムルク・カズィナ」のグループ企業である。タウケン・サムルクは、固体鉱物資源の採掘・生産を専門とする垂直統合企業である。

当社の使命は、戦略的パートナーとの共同プロジェクトの実施を通じて、カザフスタン共和国の鉱業・冶金産業分野の発展を促進することである。ビジョンとしては、資産ポートフォリオの多様化を前提としている。カザフスタンの鉱業・冶金分野において、当社は幅広い投資家にとって信頼できる戦略的パートナーである。多くの鉱区リソースを所有し、最高基準での投資プロジェクト実施を提供している。

当社の活動の目的は、まず、質の高い資産ポートフォリオを構築することにある。その手段として、主要な投資プロジェクトにおいて建設の完了と、設計パラメータの達成をタイムリーに実施している。またジュニアプログラム施行の枠組み内で、新規の地質探査プロジェクトを検討・実施している。

さらに、主要プロジェクト実施のため戦略的パートナーを誘致し、資産の運用効率を向上させ、投資効率を向上させている。投資家のため、平等と相互利益に基づいた柔軟な条件を創出し、持続可能な開発イニシアチブを実施している。

現在のプロジェクトポートフォリオは、①生産段階のプロジェクト、②開発段階のプロジェクト、③探査段階のプロジェクトの3つのカテゴリーに分類できる。このように、タウケン・サムルクには鉱業・冶金分野におけるプロジェクト実施について、すべての段階での経験がある。

生産段階のプロジェクトでは、具体的に挙げると、2013年に操業開始した精練所をもっており、2021年には51 tの金を精製した。また、1997年に操業開始したカズツィンク社に資本参加しており、出資比率は約30%である。

開発段階のプロジェクトとしては、まずは皆様もよくご存じのシャルキヤ鉱区を挙げたい。Micon社の評価で同鉱区の予測、推定、確定資源量(JORC規定)は1億7,490万 tとされている。亜鉛および鉛の平均含有量はそれぞれ3.76%および1.01%である。また、カラガンダ州北カトバ

ルおよびヴェルフニエ・カイクラクティ鉱区では、タングステンの予測、推定、確定資源量は122万3,000 t相当である。アライギル鉱区については、資源埋蔵量はカテゴリーC1・C2に区分され1,850万 t、鉛の平均含有量は5.4%、銀の平均含有量が1 t当たり26グラムである。

探査段階のプロジェクトにはクンディズディおよびベンチェグル鉱区があり、資源評価は銅70万～100万 tで、含有量は1～1.5%となっている。

投資家誘致のための戦略的目的達成に向けた協力についてお話しすると、現時点でカザフスタンには、商業的に採算が取れ地下資源利用の制限もない、すぐに生産が可能なプロジェクトがないため、やはり重要なことは共同探査のための経験豊富なパートナーを探すことである。これはシャルキヤ鉱区やアライギル鉱区、北カトパルおよびヴェルフニエ・カイクラクティ鉱区、またジュニアプログラムにおいても同様である。

ジュニアプログラムについては、フォーテスキュー・メタルズ・グループ（FMG）および「Discovery Ventures Kazakhstan」の協力のもと開発が順調に進んでいることを強調したい。プロジェクトの資金調達はパートナーによって合意に基づいて実施されており、タウケン・サムルクは今後もパートナーとの協力のもと投資を進める方向性である。すべてのプロジェクトは段階的に実施されている。まず、第1段階では、歴史的なデータの収集・解釈、地球物理学的調査、地質図の作成を行う。次に第2段階が、地球化学的評価と一次掘削の実施である。地球化学的な異常を評価するための体系的な土壌サンプリング、そしてリバーサーキュレーションドリルによる掘削が行われる。最終となる第3段階では、包括的な掘削が行われる。ここで最終的な地質構成データを確定し、採掘の商業的妥当性の評価をしていく。

このように、タウケン・サムルクは小規模な「ジュニア」企業を対象に支援を行うジュニアプログラムを展開している。こうした企業には大鉱床への投資機会があまりないという現状があるため、本プログラムを通じてマーケティング、専門家のサポートを提供している。タウケン・サムルクは本プログラムへのファイナンスサポートも行っている。このようなプログラムは世界でも人気があり、戦略的企業によって積極的に活用されているものである。

本プログラムのスキームは「戦略的プロセス」と呼ばれるものである。対象プロジェクトを選定し協力スキームや事業計画を策定した後、タウケン・サムルクは、プロジェクトの開始から完了、つまり最終的な決定を下して生産を開始するところまで、プロジェクトを計画どおり進め、資産を正しく活用することができるよう、各段階でのあらゆる種類のサービスを提供している。



## General Information

### ABOUT Us

Tau-Ken Samruk is a national mining company (group of Samruk- Kazyna Sovereign Wealth Fund)



### OUR Mission

Tau-Ken Samruk develops projects with strategic partners.

### OUR Vision

Tau-Ken Samruk is a company:

- ✓ with diversified portfolio of assets;
- ✓ reliable strategic partner;
- ✓ committed to the best standards in development of investment projects.



Tau-Ken Samruk JSC  
National Mining Company of Kazakhstan

tel.: +7 7172 55 93 51, [www.tks.kz](http://www.tks.kz)

2

## Our Projects

Production projects    Projects in field development    Exploration projects

**Kundyzdy and Berchogur, Cu**  
Historical estimate of resources are from 700 to 1 000 mln tons of copper with a grade of 1 - 1.5%

**Gold refinery plant**  
Operating since 2013  
Capacity 25 tones of gold per annum, 33 tones in 2020

**Kazzinc, Zn+Au**  
Operating since 1997  
TKS ownership interest 29,8%

**Exploration project with Fortescue (Cu, Au)**  
34 tenements, 13K sq.km

**Exploration project with Discovery Ventures Kazakhstan**  
(Polymetals) 4 tenements

**Alaigyr deposit, Pb+Ag**  
Resources by C<sub>1</sub>+C<sub>2</sub> categories — 18.5 Mtons of ore with an average lead grade of 5.4 % and 26.07 g/t of silver

**Northern Katpar and Verkhiye Kairakty, WO<sub>3</sub>-Mo**  
Verkhiye Kairakty- 1,132,806 tons of WO<sub>3</sub> (A+B+C<sub>1</sub>), Northern Katpar - 90,346 tons of WO<sub>3</sub> (C<sub>1</sub>+C<sub>2</sub>)

**Shalkiya deposit, Zn+Pb**  
Indicated and Inferred resources (JORC 2012) at 174.9 Mtons of ore, with Zn and Pb grade of 3.76% and 1.01% accordingly (CoG – 2%)



Tau-Ken Samruk JSC  
National Mining Company of Kazakhstan

tel.: +7 7172 55 93 51, [www.tks.kz](http://www.tks.kz)

3

● Possible cooperation

TKS projects

- **Shalkiya, Zn+Pb**
- **Alaigyr, Pb+Ag**
- **Northern Katpar and Verkhniye Kairakty, WO<sub>3</sub>-Mo**
- **Jewelry plant at TKS Gold refinery**



Third party projects

**Joint participation with TKS at Junior Mining and metals projects (greenfield and brownfield)**  
(third parties projects that meet minimal reserves requirements)

New projects

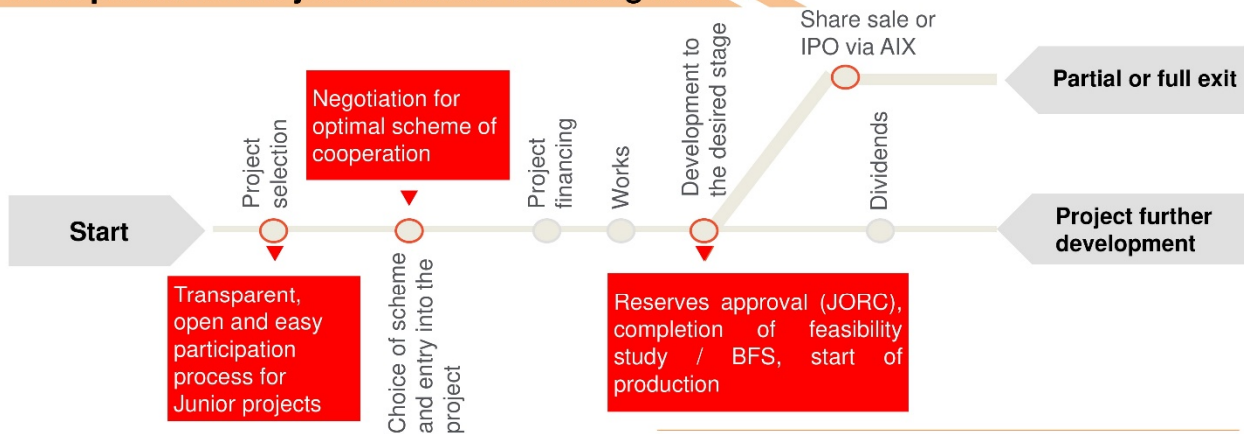
**TKS is ready to take new territories with partners for geological exploration purposes**



Tau-Ken Samruk JSC  
National Mining Company of Kazakhstan

tel.: +7 7172 55 93 51, [www.tks.kz](http://www.tks.kz)

Development of the junior metals & mining market



Metal type	Reserves	Grade
Gold	≥ 10	≥ 1 g/t
Copper	≥ 100 000	≥ 0,5%
Zinc	≥ 100 000	≥ 3%
Lead	≥ 100 000	≥ 3%



Tau-Ken Samruk JSC  
National Mining Company of Kazakhstan

tel.: +7 7172 55 93 51, [www.tks.kz](http://www.tks.kz)

## (16)アスハト・ジルバエフ 有限責任事業組合「YDD Corporation」コマーシャルディレクター 報告「YDD CorporationおよびAsiaFerroAlloysについて」

コロナ禍で様々な問題があるが、本日のようなウェビナーは情報収集や交流の良い機会である。カザフスタンにとっても素晴らしい機会だと思っている。カザフスタンには現在、多くのプロジェクトが存在しており、その中には世界にご紹介したいプロジェクトがある。

我々「YDD Corporation」そして「AsiaFerroAlloys」社は、まだ公式に登録してから4年という非常に若い企業である。簡潔に当社の概要をご説明すると、現在グループ全体で3,000人ほどの従業員がおり、フェロシリコンや濃縮炭、コークス、セミコークス、鋳物製品などを製造している。4年間で多くの成果を出してきた。新たに建設した工場には様々な国の最新設備を導入している。ロジスティクスの課題はあったが、政府の支援や弊社の大株主たちの支援により発展を遂げてきた。本日は我々が現在もっているものについてお話ししたい。

現在、「YDD Corporation」のフェロシリコン生産量は年間24万tになる。グレードは75、70、65のものを生産している。マイクロシリカの生産量は年間2万4,000tである。「AsiaFerroAlloys」社ではフェロマンガ、フェロシリコマンガ、フェロシリコン、コークス、セミコークス、濃縮炭等も生産している。

「YDD Corporation」のフェロアロイ工場は2019年に起工し、わずか22カ月で建設された。同工場には85.5MWAのアーキ炉が設置されている。現在の従業員数は600名ほどだが、800名に増える予定である。ご注目いただきたいのは、生産プロセスが98%自動化されていることで、同じ地域の同業他社が5,000~6,000人で行っている作業を弊社ではこの人数で行っているということである。工場の生産能力は、現時点では世界第5位を占めている。

また、我々が誇りに思っていることとして、同工場では高度なガス精製を行っており、ガス・ダストの99.8%はエアクーラー、サイクロン、バッグフィルターで構成される高度な吸引複合体によって吸着される。稼働開始後3年間に生産したフェロシリコンはすでに49カ国に輸出されている。日本市場との関係もすでに確立しており、今後も継続的に協力を展開していきたいと考えている。

では次に、「AsiaFerroAlloys」社についてご紹介したい。同社は2018年の創設であるが、カザフスタンに古くからある大手メーカーの不採算事業をロンドン証券取引所で買収したことにより作られた企業である。鋼球、研削シリンダー、破碎板、ポンプケーシングなど、すでに900種類以上の製品を生産対象としている。同社の工場はもともと鋳物工場であったが、インフラ開発が行われ、優秀な従業員を擁する企業に成長した。同工場ではコークス、セミコークスの生産も行っている。

2020年11月には、トカエフ大統領が我々の工場を視察した。株主とともに、2021年内に建設が定められていた2カ所の工場を大統領に見せた。この課題は想定よりも早く達成することができた。

例えば「AsiaFerroAlloys」社の濃縮炭工場は7カ月という短期間で、2021年4月に建設がなされた。同工場の生産能力は200万tである。カザフスタンがエネルギー大国であることは皆様ご存じかと思うが、主なエネルギーは石炭である。我々が行っている事業というのは、石炭の冶金分野での利用である。濃縮・焼結を行い他の国への販売を行っている。すでに多くの欧州諸国、そして近隣諸国と取引実績がある。日本や韓国メーカーとの交渉もしているが、現在はまだ検討段階にある。

また、2021年9月には新しい工場の建設が終了した。この「サリィ・アルカ・フェロアロイプラント」には8MVAの新たな鉍石用の熱炉が8基設置されている。工場の生産能力はフェロアロイ年間5万7,000tである。フェロマンガンとシリコマンガンの生産も行っており、各炉の能力により1日当たり25tのシリコマンガンを生産することができる。現在300人の従業員を抱えている。同工場の製品は日本市場にも向けられたものである。東南アジア諸国や欧州諸国、CIS諸国にも輸出している。

我々には49カ国の非常に多くのパートナーがいる。今後も継続的に協力を展開し、販売市場を拡大していきたい。





ASIA FERROALLOYS

# STEEL AND CAST IRON PRODUCTS

**2000+**  
WORKERS

**120 000** TONS  
PRODUCTION VOLUME



STEEL BALLS



GRINDING CYLINDERS



CRUSHING PLATES



BRAKE SHOES



PUMP CASINGS



POURING TROUGHS



FUTHERING



CREMLINER GEAR



COLLAR GUIDE



BELOW



PUMPING UNIT



CRONE



HOLDER



ROLLS



BROWNS



WORKING WHEEL

**900+**  
PRODUCTS

**COKE**



**SEMI-COKE**



**200 000** TONS  
PRODUCTION VOLUME

www.yddcorp.kz

## Our products are shipped to 49 countries - 5 continents



- AMERICA**
  - 1 Canada
  - 2 USA
  - 3 Colombia
  - 4 Peru
  - 5 Mexico
  - 6 Ecuador
- EUROPE**
  - 7 Austria
  - 8 Belgium
  - 9 Belarus
  - 10 Bulgaria
  - 11 Great Britain
  - 12 Georgia
  - 13 Greece
  - 14 Germany
  - 15 Israel
  - 16 Spain
  - 17 Macedonia
  - 18 Netherlands
  - 19 Poland
  - 20 Romania
  - 21 Russia
  - 22 Czech
  - 23 Sweden
  - 24 Turkey
  - 25 Ukraine
  - 26 Italy
  - 27 Estonia
  - 28 Moldova
- ASIA**
  - 29 Bahrain
  - 30 Vietnam
  - 31 India
  - 32 Kazakhstan
  - 33 UAE
  - 34 Taiwan
  - 35 Turkmenistan
  - 36 Uzbekistan
  - 37 South Korea
  - 38 Japan
  - 39 Pakistan
  - 40 Saudi Arabia
  - 41 Albania
- AUSTRALIA**
  - 42 Australia
- AFRICA**
  - 43 Gan
  - 44 Egypt
  - 45 Tunisia
  - 46 Cameroon
  - 47 Oman
  - 48 Senegal
  - 49 South African Republic



## (17)西野元樹 アドバンストマテリアルジャパン(株)営業本部長 コメント

本日のウェビナーでお話しさせていただくことは私にとって非常に光栄である。私はカザフスタンとのレアメタル取引を2000年から20年以上続けているが、この機会を通じて、カザフスタンと日本との協力関係の拡大に貢献出来ればと考えている。

アドバンストマテリアルジャパン（AMJ）はレアメタルトレーディングに特化した日本の貿易会社である。主なビジネスはレアメタルのプライマリー原料、これは鉱山や精錬工場が生産するレアメタル原料を中国、ロシア、CIS諸国から購入し、主に日本市場に供給することである。

AMJには5つの得意分野があり、それぞれ日本市場の20～40%程度の市場シェアを保有している。その5つの分野とは①タングステン、②チタン、③タンタル、④レアアース、⑤フェロアロイである。また近年、こうしたプライマリー原料以外に、スクラップトレーディング、またリサイクルビジネスにも力を入れている。

売上高は、2021年度で2億2,500万ドル、2022年度はまだ終わっていないが3億5,000万ドルとなる見込みである。レアメタル専門商社としては日本で一番大きな実績を上げている。

AMJのレアメタルビジネスの歴史は古く、1970年代末に中国からのタングステンやレアアースの原料輸入を開始した。また、1980年代末にソ連からチタンを始めとする多くのレアメタルの輸入を開始した。1990年代半ばには、カザフスタンのUK-TMP（ウスチカメノゴルスク・チタン・マグネシウム・コンビナート）社からチタンスポンジの購入を開始し、同社の安定生産のため多くの協力を行ってきた。

2000年代初旬からは、ロシア沿海地方のプリモルスク鉱山への鉱山設備の供給、そしてタングステン精鉱の購入を開始し、20年以上にわたって同鉱山の主要販売先として多くの協力を続けている。また、2000年代半ばには、同じくカザフスタンのUMZ（ウリバ冶金工場）社からタンタル・インゴットの購入を開始し、日本の需要家への安定供給を行っている。

AMJが扱うレアメタルは多岐に渡っており、メイン商品であるタングステン、チタン、タンタル、フェロアロイ、レアアース以外に、リチウム、マグネシウム、バナジウム、クロム、ガリウム、ゲルマニウム、セレン、ジルコニウム、ニオブウム、モリブデン、カドミウム、インジウム、アンチモンなども扱っている。そのような意味で、カザフスタンでこれらのレアメタルのサプライヤーがいるようであれば、ぜひ協力を行い、取引関係を構築していきたい。

先ほど、スクラップビジネスやリサイクルビジネスにも力を入れているとお伝えしたが、タングステンカーバイドスクラップ、レアアースの磁石スクラップ、廃基盤などのEウェイスト（電子廃棄物）、リチウムイオンバッテリーのスクラップなどの扱い量を増やしており、カザフ

スタンでこういったスクラップの回収をしている会社があれば、ぜひ取引を行いたい。

AMJにとってカザフスタンは非常に重要なパートナーである。すでにお伝えしたように、我々は1990年代半ばからカザフスタンとのチタンスポンジの取引を開始し、この取引がAMJの発展に大きく貢献してくれた。そのため、カザフスタンへの感謝の意味、そしてこれからの協力への期待を込めて、AMJのロゴのブルーと金色はカザフスタンの国旗から色を取らせてもらったものである。我々にとってカザフスタン、そしてカザフスタンのパートナーは非常に大事な存在である。これからもAMJがカザフスタンおよびカザフスタンのパートナーとの協力関係をさらに強くできることを期待している。



## セッション4 質疑応答

### 国営鉱業企業「タウケン・サムルク」への質問：

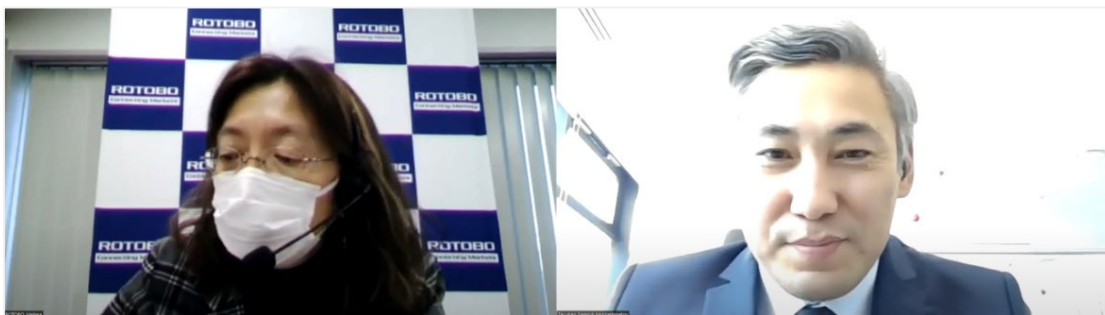
年初の抗議行動を受けた改革がこれからはなされると聞いているが、地下資源利用者に対する課税が重くなる、あるいは地下資源利用プロジェクトにおける投資環境が変わるといった報道を見たことがある。こうした情報は事実なのか。

### ムィルザフメトフ・国営鉱業企業「タウケン・サムルク」投資・マーケティング部長回答：

税法典における変更はなされる予定だと聞いている。変更がなされるのであれば、まずはその変更を待って、内容を見てみることにしたい。情報が事実なのかというご質問に対しては、そのような報道を見たことがないため明確にお答えすることは難しく、コメントすることは出来かねる。

投資環境については、次のことを申し上げたい。基本的にカザフスタンは変わることなく、魅力的な投資先であり続ける。その理由は2つあり、まず地元の労働力、そして安価なリソースである。例えば電力は相当安い。これらの主要要素によって、プロジェクトの実施コストを下げる、また十分に競争力をもった、短期間で採算性の取れたプロジェクトを実施することができる。

(モデレーターからの税法典の変更予定についての確認に対し) 税法のシステムそのものが変わるわけではなく、税法典の中での変更が行われる。国内企業、外国企業を問わずすべての法人に関して、課税に対する要件の変更がありうると聞いている。このような変更がもたらされれば、我々は税法典の中でそれを確認することになる。税法典の変更点を注視していくことをお勧めする。地下資源利用分野の課税にどのくらい影響するか、そこで最終決定が分かるだろう。我々が望むか望まないかには関わらず、税法典の変更というのは決まりがあり、順序だてて行われるものである。また複合的なプロセスがあり時間を要するものだ。税法典の修正というは、実のところそれほど頻繁に行われるものではない。



### **国営鉱業企業「タウケン・サムルク」への質問：**

御社のCAVEX IIでの展示を拝見した。展示物の中に、日本企業と共同実施したいプロジェクトとして希少金属・希土類金属に関するプロジェクトと記載されていた。本日のお話にはなかったようだが、具体的にどのようなことを提案されているのか。

### **ムィルザフメトフ・国営鉱業企業「タウケン・サムルク」投資・マーケティング部長回答：**

簡単にご説明したいと思う。「タウケン・サムルク」には自社の基準を考慮した発展戦略があり、その中で金属も優先分野として記載がなされている。この自社の基準となっているものの1つは市場の規模であるが、レアアースについては市場規模が限定的であるとみなしている。ただし、何らかのレアメタルが明確な発展傾向にあると分かれば、カザフスタンでのプロジェクト実施を戦略プログラムに入れることも検討する。

指摘しておきたいのは、過去にすでにカザフスタンにおいて、住友商事およびカザトムプロムと共同でのレアメタル生産プロジェクトの実施を試みたことがあったということである。残念ながら高値期間はそれほど長く続かず、中国によるレアアース輸出規制が行われた。同プロジェクトは徐々に実現しない方向になってきている。

レアメタルについて、タンタルやニオブウムなどはカザフスタンでも生産されており、これらはすべて輸出向けの生産だということは知っている。基本的に「タウケン・サムルク」のレベルでは、世界の傾向、そしてしかるべき技術をもつ戦略的パートナーの存在を考慮したうえで、ご提案を検討する用意はできている。

現在、電気自動車や代替エネルギーなどの方向で発展が進んでおり、希少金属・希土類市場の動きも活発化している。コバルトやニッケル、またアルミニウムなどの成長が分析されている。米国でもクリティカルメタルがホット・イシューとなっている。米国は中国からこれらを輸入していたことから、製品に使用される原材料をどう確保するかが課題となっている。

### **有限責任事業組合「YDD Corporation」への質問：**

政府の支援を受けたとお話しされていたが、それはなぜか。御社が活動されている分野がカザフスタンにとっての戦略分野だからなのか、あるいはフェロアロイという生産物が戦略分野に関係するからなのか。どういった理由で政府の強い支援を受けておられるのか。

鉄などの精錬に石炭を多く使用すると思うが、環境対策についてのこれからの発展計画はあるか。また環境対策分野で外国企業との協力を考えているか。

## ジルバエフ・有限責任事業組合「YDD Corporation」コマーシャルディレクター回答：

まず、国の支援については、第1回目が22カ月、第2回目が7カ月、第3回目が9カ月の工期であった我々の工場建設プロジェクトにおいて大きな支援を受けた。我々はコロナ禍の影響で非常に多くの困難に直面した。例えば中国やロシアとの国境が閉鎖され、貨物輸送で問題が発生した。カザフスタンでフェロアロイ自体は特に戦略的物資ではないのだが、このような影響を受けたことから、プロジェクトの円滑化を要望するレターを各国のカザフスタン大使館や外務省に送る必要性が出てきた。そしてこれを受け、工場の建設プロジェクトについてできるだけ建設計画に沿った実現が行われるよう政府が動いてくれた。我々が輸出向け製品を生産するイノベーション企業であり、さらに雇用創出や税基盤の構築といった意味でも重要な工場と考えていただけたのだと思う。つまり、私がここで申し上げたいのは、我々のこれまでの様々な成果が正しく評価されたということである。とても良いご質問をいただいた。

それから2つ目の環境対策についてのご質問だが、なぜそのようなご質問をされたかということとはよく分かる。お話ししたように、我々の生産能力200万tの濃縮炭工場では、工場の所在地と同じカザフスタン中央に位置するカラガンダ州の企業から石炭を購入している。我々はカーボンフットプリントを導入しており、石炭は電力エネルギー生産のためには利用していない。我々の石炭は冶金、フェロシリコン製造への再利用のためのものである。つまり鉄くずやコークス、セミコークスなど、あらゆる製品の一要素のようなものなのである。我々の石炭は再利用することができるため通常の石炭とは異なる。そのようなわけで、我々は環境保全に取り組んでおり、弊社の戦略におけるプライオリティの1つは環境保全である。プレゼンテーションでも触れたが、弊社の工場では最低でも（ガス・ダストの）99.8%の浄化が行われている。他の企業との協力についても、我々はオープンである。



## スイズディコフ 在日カザフスタン共和国大使館経済調査・投資計画担当参事官コメント:

私から少し補足させていただきたい。昨日も本日も、投資環境がどうなるのかという同様の根本的な質問があった。これについては二重の解釈があってはならない。トカエフ大統領は、すでに進出している既存の投資家に対する投資環境が変更されることはなく、国によるあらゆる保証や義務はすべて履行されると、はっきり宣言している。

また、地下資源法の変更については、逆に投資環境は良くなるということを意味している。特に脱炭素の側面から、世界中で使用されている国際基準を導入する。カザフスタンはこのような国際基準を自国の法政策に反映させていかなければならない。もし投資家に関する法令が変更されるとしても、それは改善の方向に向けた変更のみであり、悪い方向に変更することはない。この点の理解は非常にはっきりしている。

2点目として、「タウケン・サムルク」からお話ししたレアアース・レアメタルについて、具体的なお質問があれば、ぜひイベント終了後にB2B面談を行っていききたい。カザフスタンには「タウケン・サムルク」だけでなく、他にも商談対象となる鉱業・冶金分野の企業が多く存在している。また、第3セッションの「SK-Pharmacy」についても同様で、ご質問があればぜひ、B2Bで具体的な項目を挙げて協議をしていきたい。そこであらゆるプロセス、ニュアンスについて議論できればと思う。

また、「YDD Corporation」のような企業への国家支援についての話があったが、製造業に対しては、国はととても幅広い支援を行っている。そしてこうした支援は、外国企業に対しても提供されるものである。つまり皆様のような外国企業が製造業に投資をする場合には、国からの支援を受け取ることができる。



### 3. 当日紹介できなかった質問に対する報告者の書面回答

#### 【国営企業「カザフインベスト」への質問】

質問： 新体制では鉱山会社に対する対応は変わるのか。海外報道では、既存の鉱山会社に対し国際価格に準じた大增税をかけると記事にあったが、どうなのだろうか。

回答： トカエフ・カザフスタン共和国大統領は、この問題について注意深く調べるよう指示を出している。本件に関する何らかの根拠のない性急な決定がなされることは予期されていない。政府は投資家コミュニティと共に、国際課税と移転価格の課題を詳細に検討しているところである。鉱業・冶金部門の状況を考慮したうえ、全種類の固形鉱物資源についてその採掘に対する税の計算が行われている。

概して、地下資源利用分野におけるカザフスタンの投資環境は引き続き良好なものであり続ける。新たな「地下資源および地下資源利用についての法典」の導入以来、固形鉱物資源探査・採掘のため1,600以上のライセンスが発行されており、行政プロセスが大幅に簡素化され、投資家に対する環境は改善された。

#### 【国営企業「カザフインベスト」への質問】

質問： カザフスタンに投資する理由の1つに安い電力を挙げておられるが、仮想通貨のマイニングが盛んになることによって国内に電力不足が生じているとの報道が2021年、日本でもたびたび見られた。価格・供給量ともにカザフスタンの電力に問題はないのか。

回答： （2021～2022年）秋冬の電力・容量不足を未然に防ぐため、2021年11月にジャンブイル・ハイドロリサイクル発電所（GRES）の3号機が稼働を開始し、2022年1月には同4号機が稼働開始し、これらによって発電量を330MW（280MWから610MW）増大することが可能となった。

「灰色の」暗号通貨マイナーらの制御不能な増大および発電所での事故によって、2021年6月以降に電力不足となり、隣接する国からの約3億kWhのマイナスのバランスフローによってカバーされた。

また、集中した取引で電力が不足し計画輸入された際に、暗号通貨マイナーの活動を制限するメカニズムも導入された。

今日では、デジタルマイニングの違法な主体を特定する作業が続けられており、当該主体に対するさらなる規制として、次の対策が策定されている。

- ・ デジタルマイニング活動のライセンス導入やデジタルマイニング主体による

電力消費の割り当てを規定する法改正パッケージの採用

- ・ 新規の暗号通貨マイナーによる電力接続の一時停止措置
- ・ デジタルマイニング主体による、再生可能エネルギー源の電力消費および輸入電力消費への移行。

新たな電力容量産出を含むエネルギーバランスの安定化は、容量市場内でのプロジェクト実施を通じて計画されており、それにより2022～2025年にかけて1,760MWの追加が可能となる見込みである。同プロジェクトの総投資額は4,910億テングを越える予定である。

2021年の発電量は1,144億kWhであった。2022年の発電計画も1,144億kWhとなっている。

西部および南部地域のエネルギーシステムの強化や、西部地域の統一電力システムへの接続を含む、全国電力網の近代化作業が進行中である。

投資家を再生可能エネルギー部門に誘致する活動も続けられている。2022年には、2億2,500万ドル相当となる、総容量290MWの再生可能エネルギープロジェクトが10件実施される予定である。

2035年までに、風力発電所を中心とした再生可能エネルギー源利用のための発電能力約6.5GWの施設を含む、10GWを超える容量の増強が計画されている。

さらに、国のエネルギー収支では、基礎的な発電の新たな供給源として、少なくとも2.4GWの設備容量を備えた原子力発電所が見込まれている。

#### 【株式会社「情報会計センター」への質問】

**質問：** 民営化の対象には発電所や空港のような公共施設が含まれているようだが、購入した場合、こうした施設が採算に合うかどうかは料金設定によると思う。例えば発電所を購入したとして、外国投資家が対象地域の電力料金の設定に関わることができる可能性はあるのか。

**回答：** 民営化契約においては料金の規定はなされない。これらの企業は、業界の法律に従って、現在、規制の対象となっているか、あるいは所有権変更後に規制の対象となる。料金は数年間固定することができる。エネルギー分野では、新たな「Free Capacity」スキームへの移行が行われる予定である。

日本の戦略的な投資家が新しい発電所（例えば再生可能エネルギー）の建設を決定した場合、政府間協定が締結される可能性があり、それにより保証された料金の規定が可能となる。

### 3. オンラインイベント参加者アンケート結果

ウェビナー「カザフスタンと日本の投資発展の可能性」  
(2022年2月1日)  
参加者アンケート集計結果

2022年2月  
(一社)ロシアNIS貿易会 (ROTOBO)

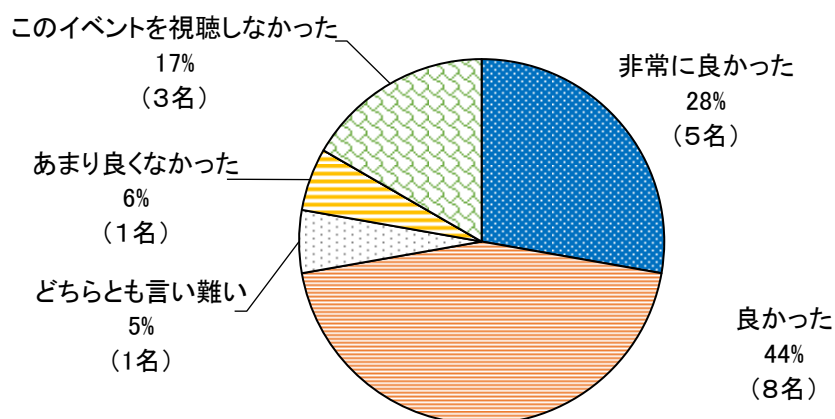
#### I. 回答者数

回答総数18件。

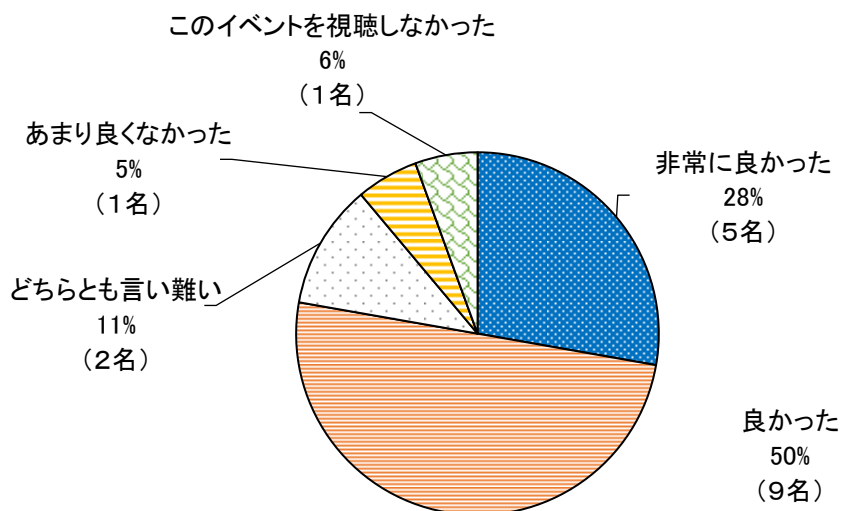
#### II. 設問への回答

##### セッション1：総論「カザフスタンの投資環境」

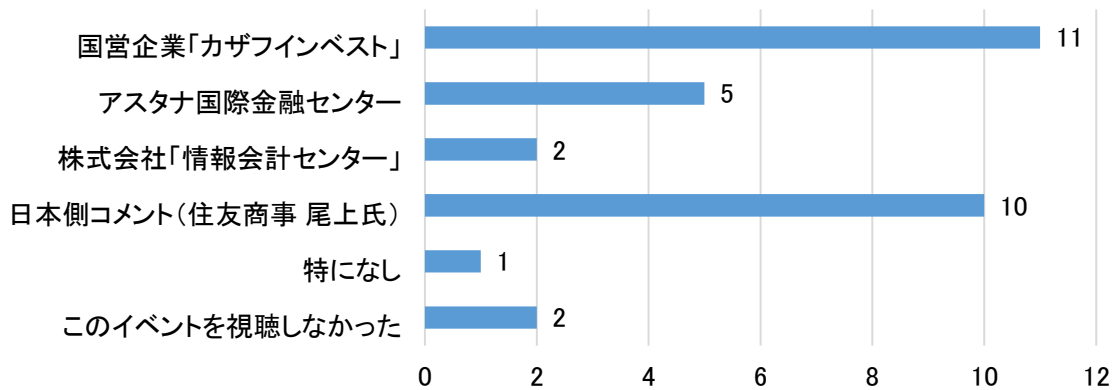
#### 1. セッション1：総論「カザフスタンの投資環境」全体の評価をお聞かせください。



#### 2. プログラム(テーマ設定、報告者の構成等)の評価をお聞かせください。



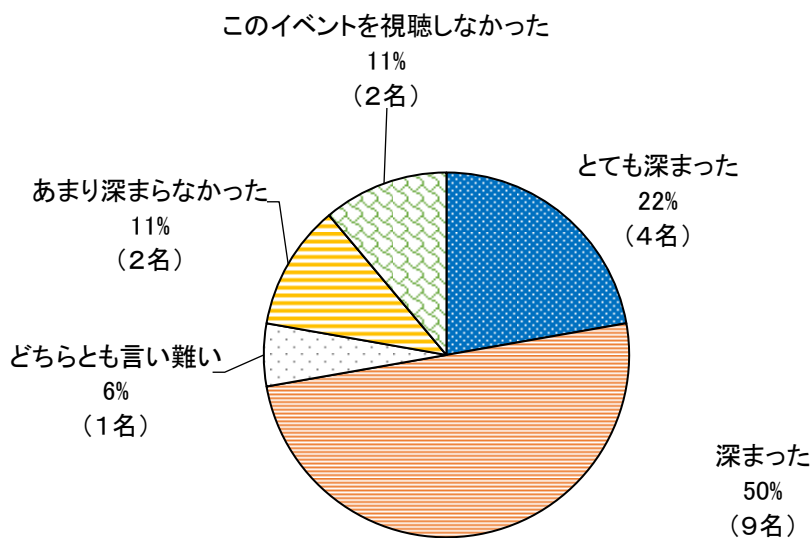
**3. ご視聴になった報告の中で、参考になった・有益であったものを以下よりご選択下さい(複数選択可)。**



**4. 上記報告についてご意見、ご感想等あれば自由にご記入ください。**

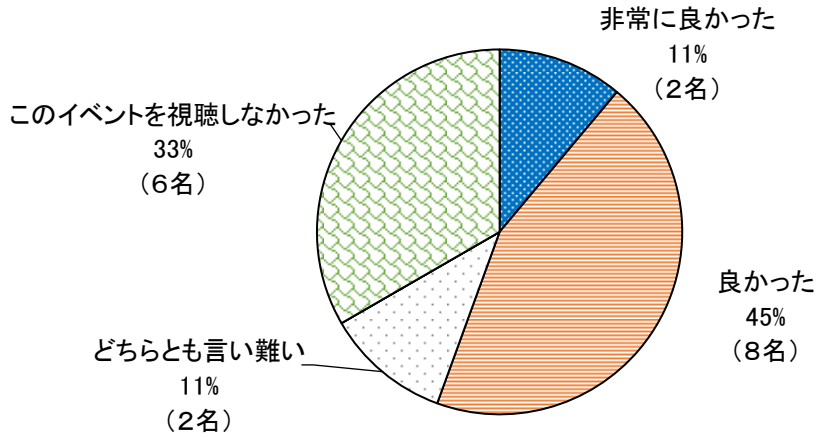
- 先月の難しい状況について、率直に話される姿勢に好感を抱いた。
- 世界が注目しているカザフスタンの投資政策に、暴動前後で変更がないというのが気になる点であり、回答が興味深かった。
- カザフスタン側のプレゼン資料は充実していた。ただし、日系企業では未だ目立った成功例が見当たらないのはなぜか。日本側コメントーターの3つの質問は核心を突いていると思う。
- セッションでは、今回のカザフスタンにおける騒乱に伴い、信頼回復のためにカザフスタン政府が対日に限らずどのような方針で臨むのか、その説明を期待していたが、深く触れないため判らなかった。現地事情が分からない企業がほとんどだと思うが、カントリーリスク分析も出来ないため、厳しい目の評価とした。

**5. 本日のウェビナーを視聴して、カザフスタンの投資環境や同国との貿易に関する知識は深まりましたか。**

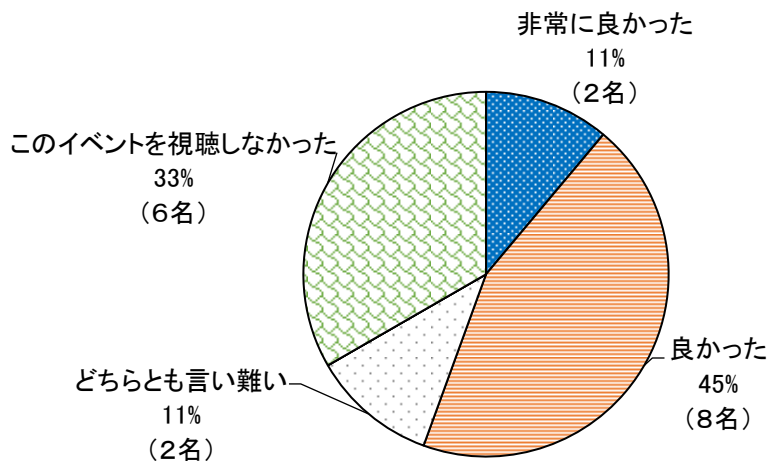


## セッション2：テーマ別分科会「IT分野における協力の可能性」

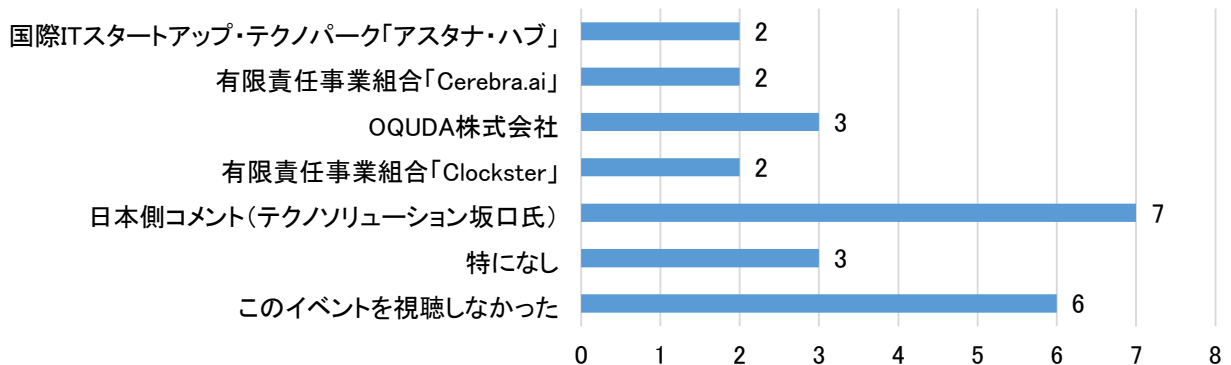
6. セッション2：テーマ別分科会「IT分野における協力の可能性」全体の評価をお聞かせください。



7. プログラム(テーマ設定、報告者の構成等)の評価をお聞かせください。



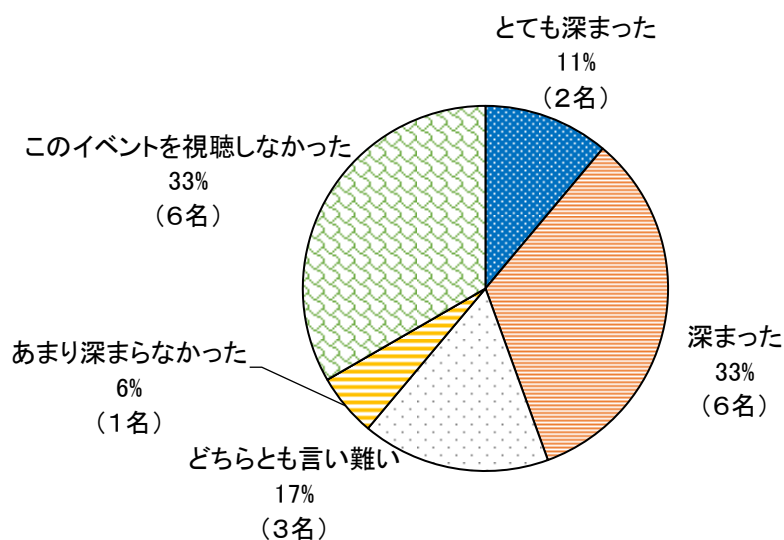
8. ご視聴になった報告の中で、参考になった・有益であったものを以下よりご選択下さい(複数選択可)。



9. 上記報告についてご意見、ご感想等あれば自由にご記入ください。

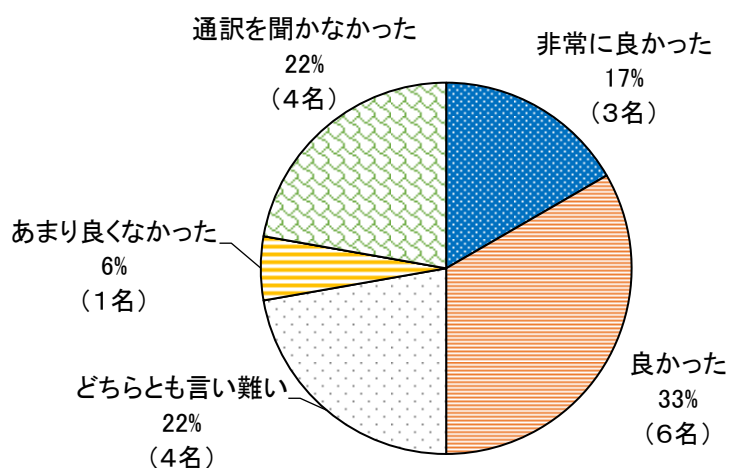
- カザフスタンでのデジタル化推進が継続して進んでいるようで大変興味深かった。より先進的な技術やビジネスモデルのスタートアップが出てくることを期待している。
- Q&Aや意見交換の時間が少なく残念だった。

10. 本日のオンラインイベントを視聴して、カザフスタンのデジタル・IT分野に関する知識は深まりましたか。

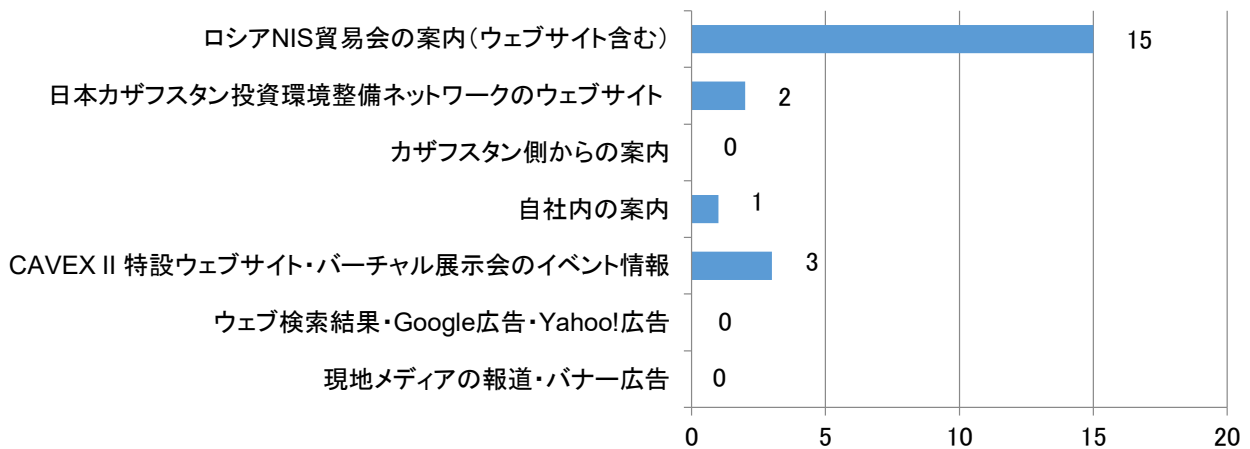


その他共通質問

11. 通訳の評価についてお聞かせください。



**12. 本日のオンラインイベント開催について、どこで知りましたか。以下より回答を選択してください(複数回答可)。**



**13. その他本日のオンラインイベント全体を通じてのご意見やご感想、あるいは今後の中央アジア関連のイベントに対するご要望、ご提案がありましたら以下自由にご記入ください。**

- カザフも一見洗練されているようで、時間をなかなか守らない等苦労があると思う。騒乱にかかわるコメントを日本・カザフスタンの双方から聞くことができ良かった。
- 質問時間がなく残念だった。
- 上記の通り、実態がどうなのか分析し、現地事情の実情を説明する機会をいただきたい。

ウェビナー「カザフスタンと日本の投資発展の可能性」  
(2022年2月2日)  
参加者アンケート集計結果

2022年2月  
(一社)ロシアNIS貿易会(ROTOBO)

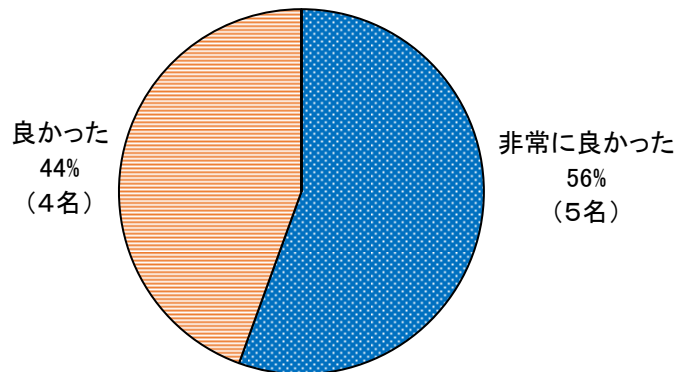
I. 回答者数

回答総数9件。

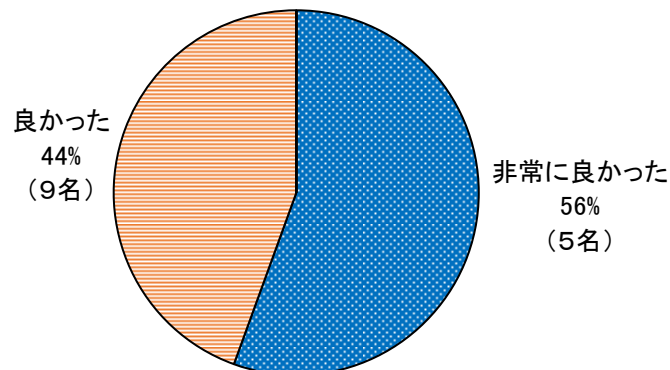
II. 設問への回答

セッション3: テーマ別分科会「医療分野における協力の可能性」

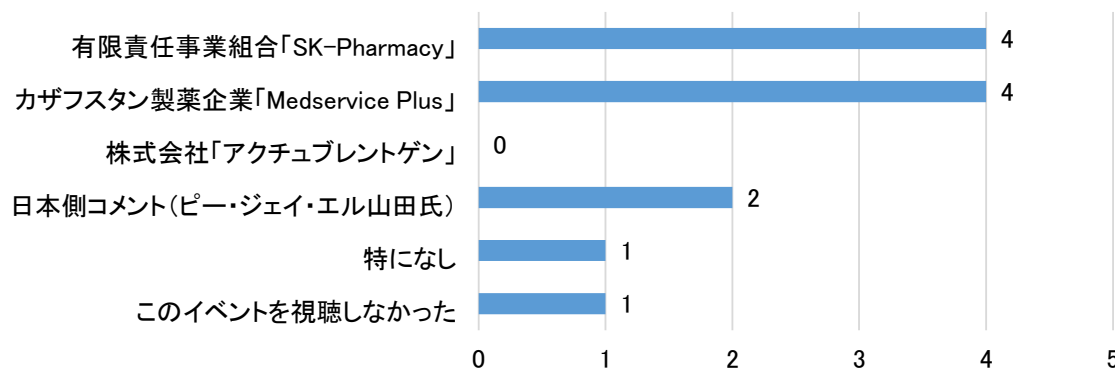
1. セッション3: テーマ別分科会「医療分野における協力の可能性」全体の評価をお聞かせください。



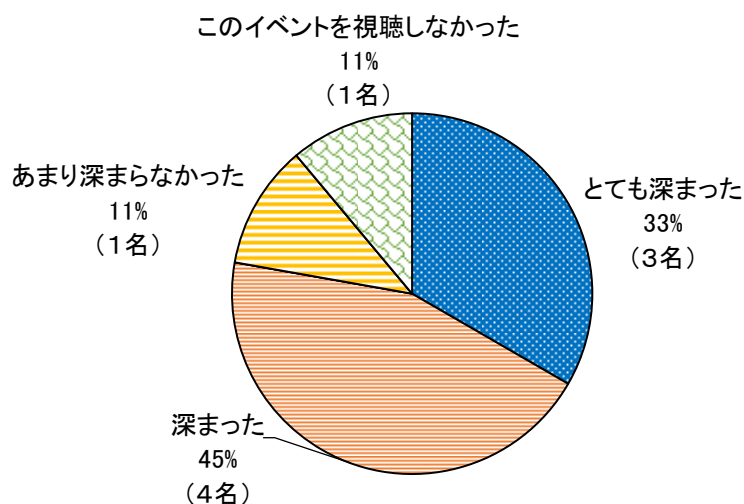
2. プログラム(テーマ設定、報告者の構成等)の評価をお聞かせください。



3. ご視聴になった報告の中で、参考になった・有益であったものを以下よりご選択下さい（複数選択可）。

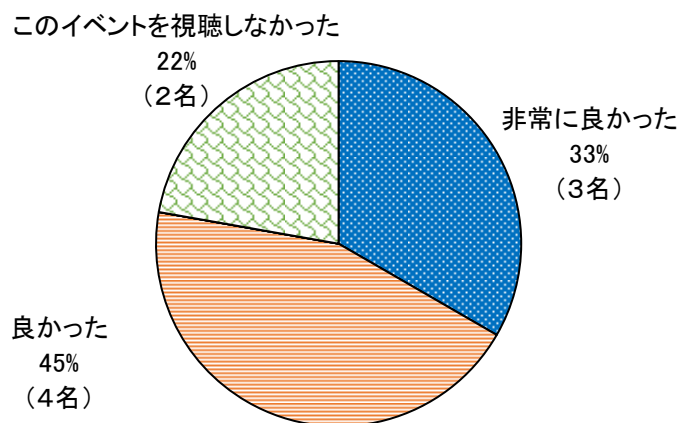


4. 本日のオンラインイベントを視聴して、カザフスタンの製薬分野に関する知識は深まりましたか。

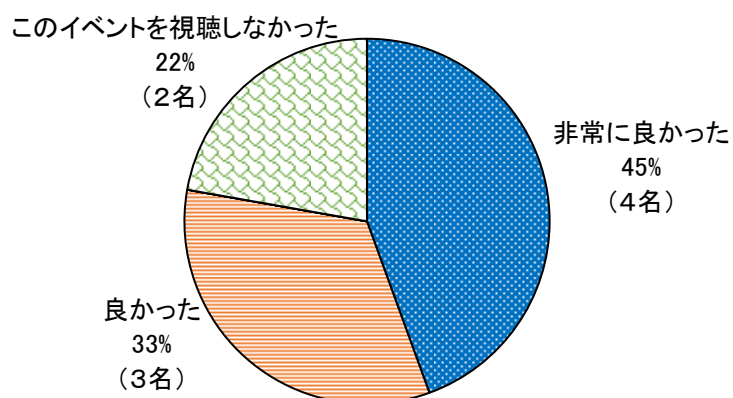


#### セッション4：テーマ別分科会「鉱業・冶金分野における協力の可能性」

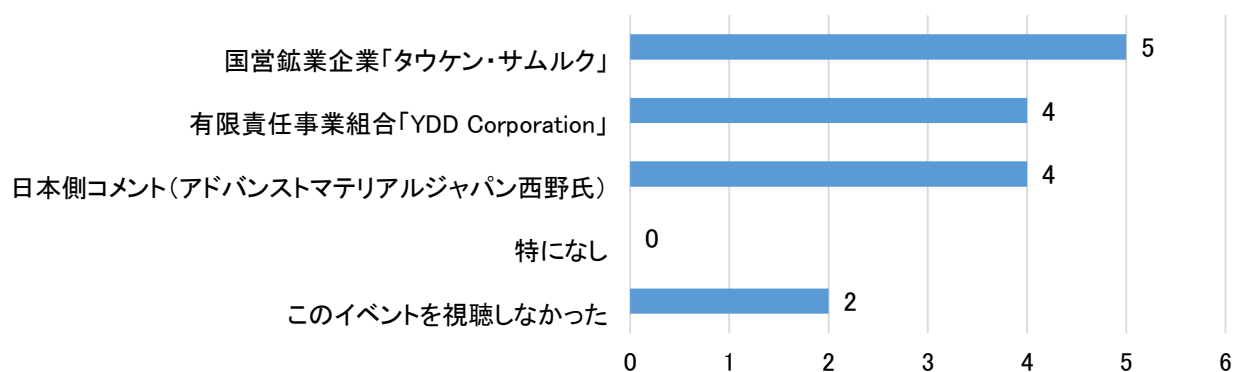
5. セッション4：テーマ別分科会「鉱業・冶金分野における協力の可能性」全体の評価をお聞かせください。



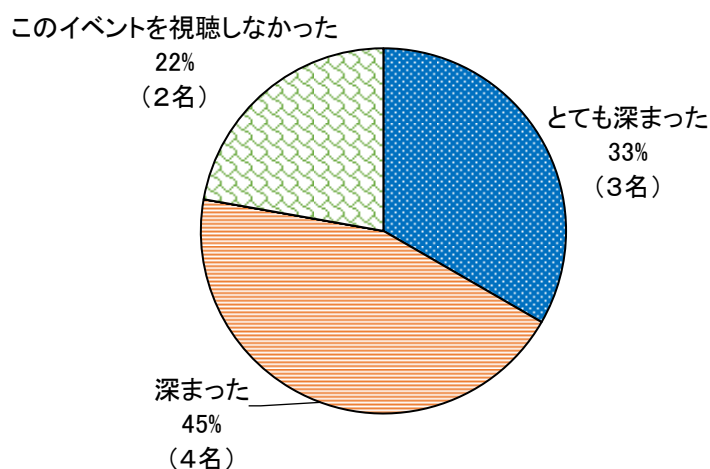
6. プログラム（テーマ設定、報告者の構成等）の評価をお聞かせください。



7. ご視聴になった報告の中で、参考になった・有益であったものを以下よりご選択下さい（複数選択可）。

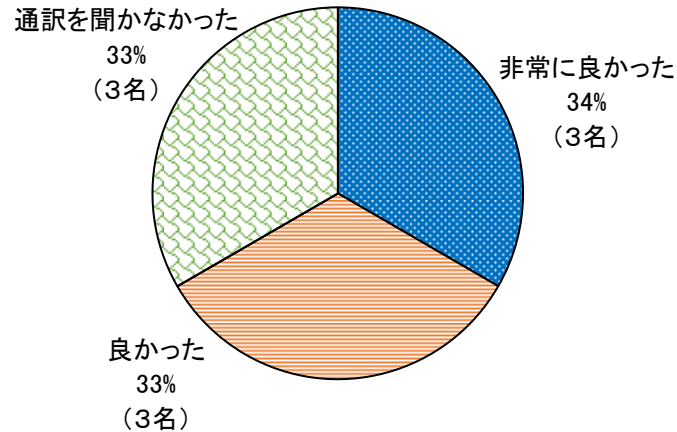


8. 本日のオンラインイベントを視聴して、カザフスタンの鉱業・冶金分野に関する知識は深まりましたか。

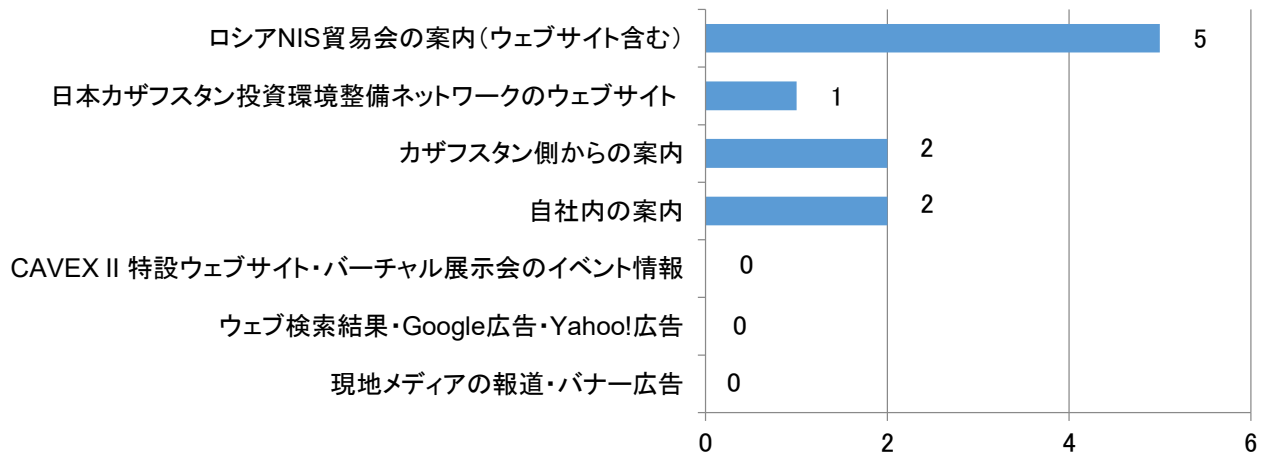


## その他共通質問

### 9. 通訳の評価についてお聞かせください。



### 10. 本日のオンラインイベント開催について、どこで知りましたか。以下より回答を選択してください（複数回答可）。



### 11. その他本日のオンラインイベント全体を通じてのご意見やご感想、あるいは今後の中央アジア関連のイベントに対するご要望、ご提案がありましたら以下自由にご記入ください。

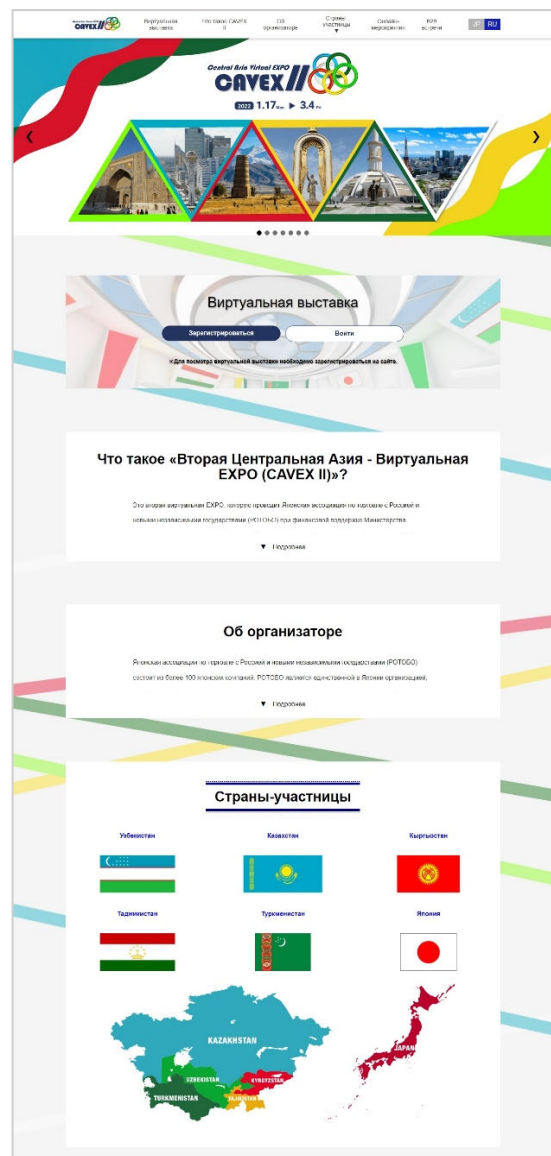
- 司会が毎度秀逸。
- どうしても年初の騒動もあり、安心して投資できる長期的信頼関係に傷がついてしまった中のセミナーで大変だったと思うが、報告者の方々の真摯な態度もあり、良い方向に向かっていると思う。最後のスィズディコフ参事官のコメントも好印象だった。

## II. 特設ウェブサイト・バーチャル展示会

### 1. 特設ウェブサイト

CAVEX IIの特設ウェブサイトおよびバーチャル展示会には各国の政府機関、組織、企業が参加し、日本企業に向けて商品や投資プロジェクトのPRを行った。オンラインプラットフォームとして設置された特設ウェブサイトでは、トップページでCAVEX II事業の概要や参加国を紹介するとともに、バーチャル展示会への入口が置かれた。

#### 特設ウェブサイト:トップページ(日本語・ロシア語)



また、国別ページでは当該国についての基礎情報を紹介、B2B（商談会）の候補となる各国の参加企業・組織・政府機関の情報を掲載し、ナショナルウィークに開催されるオンラインイベントへの参加やB2B（商談会）の希望、問い合わせを受け付けた。

カザフスタンからは特設ウェブサイトおよびバーチャル展示会の出展者として、20の機関・企業が参加した。

### 特設ウェブサイト:カザフスタンページ(日本語・ロシア語)

## CAVEXII参加企業一覧：カザフスタン

1	<p>【企業名】株式会社「情報会計センター」（財務省）</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="http://www.iuc.kz/">http://www.iuc.kz/</a> （ロシア語） / <a href="https://www.gosreestr.kz/en/">https://www.gosreestr.kz/en/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 国有財産・民営化の算定と運用、金融報告書の受託、有価証券市場における専門的活動、穀物受領書（有価証券）保有者国家電子目録構築と運用</p>
2	<p>【企業名】有限責任事業組合「SK-Pharmacy」</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="https://sk-pharmacy.kz/eng/">https://sk-pharmacy.kz/eng/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 カザフスタン共和国予算による薬剤・医療機器の安定買付</p>
3	<p>【企業名】国営鉱業企業「タウケン・サムルク」</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="https://tkz.kz/en/">https://tkz.kz/en/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 金の精錬、パートナーとの共同投資プロジェクト実施（アライグイル鉱区の多金属鉱山採掘・加工、精錬工場建設によるキシルオルダ州シャルキヤ鉱区多金属鉱山の産業開発、カラガンダ州北カトパル及びヴェルフニエ・カイラクティ鉱区におけるタングステン・モリブデンの探鉱など）</p>
4	<p>【企業名】投資発展都市センター「アスタナインベスト」</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="https://investinnur-sultan.kz/en/">https://investinnur-sultan.kz/en/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 ヌルスルタン市の投資魅力改善に係る分析研究、投資家の活動に対する情報提供、ヌルスルタン市における官民連携プロジェクトに対するコンサルテーション</p>
5	<p>【企業名】有限責任事業組合「YDD Corporation」</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="https://yddcorp.kz/">https://yddcorp.kz/</a> （ロシア語）</p> <p>【活動分野】 フェロシリコンの製造</p>
6	<p>【企業名】OQUDA株式会社</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="https://www.oquda.com/">https://www.oquda.com/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 外国の教育機関の学生募集に関する、専門家と組織向けのB2Bプラットフォーム</p>
7	<p>【企業名】有限責任事業組合「Cerebra.ai」</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="https://cerebra.kz/">https://cerebra.kz/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 神経放射線分野で虚血性脳卒中と出血性脳卒中の自動診断に用いられる人工知能</p>
8	<p>【企業名】有限責任事業組合「WebTotem」</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="https://webtotem.kz/">https://webtotem.kz/</a> （ロシア語）</p> <p>【活動分野】 新たなサイバー脅威からの企業のウェブサイトの保護および24時間体制でのウェブサイトの安全管理サポート</p>
9	<p>【企業名】有限責任事業組合「Clockster」</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="https://clockster.com/en/">https://clockster.com/en/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 中小企業向け従業員管理用クラウドサービス</p>

10	<p>【企業名】 有限責任事業組合「Kids Security」</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="https://eng.kidsecurity.net/">https://eng.kidsecurity.net/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 位置情報測定技術を利用した子供の安全のためのモバイルアプリケーション</p>
11	<p>【企業名】 有限責任事業組合「TENIR Logistic」</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="https://www.invest.gov.kz/">https://www.invest.gov.kz/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 二酸化チタン・特殊鋼・二酸化ケイ素の生産、チタン・マグネタイト鉱の精鉱品を生産する鉱業・化学冶金コンプレクスの建設</p>
12	<p>【企業名】 有限責任事業組合「KazCobalt」</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="https://www.invest.gov.kz/">https://www.invest.gov.kz/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 シェフチェンコ鉱床コバルト・ニッケル鉱石の採掘および精鉱</p>
13	<p>【企業名】 有限責任事業組合「カラガンダポリマーメタル」</p> <p>【ウェブサイトURL】 —</p> <p>【活動分野】 金属製品の加工およびコーティング</p>
14	<p>【企業名】 株式会社「Kazenergokabel」</p> <p>【ウェブサイトURL】 <a href="http://www.kazkabel.kz/en/">http://www.kazkabel.kz/en/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 1万8,000点以上の品目のケーブル・電線類製造</p>
15	<p>【企業名】 有限責任事業組合「SSAP」</p> <p>【ウェブサイト URL】 <a href="http://www.ssap.kz/en/?lang=en">http://www.ssap.kz/en/?lang=en</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 工業用硫酸の生産</p>
16	<p>【企業名】 農業生産協同組合「Ertis Agro」</p> <p>【ウェブサイト URL】 <a href="http://ertyscoop.com/">http://ertyscoop.com/</a> （ロシア語）</p> <p>【活動分野】 油糧作物および穀物の生産・加工・販売と保管・流通</p>
17	<p>【企業名】 有限責任事業組合「Belsan I K」</p> <p>【ウェブサイト URL】 <a href="https://www.invest.gov.kz/">https://www.invest.gov.kz/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 羊毛の一次加工（高度な加工と繊維の除去（カシミヤ）を含む）、洗浄、ウールトップの生産</p>
18	<p>【企業名】 経済特区「パヴロダル」運営会社</p> <p>【ウェブサイト URL】 <a href="https://sezpv.com/">https://sezpv.com/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 パヴロダル経済特区におけるアルミ箔製造工場の建設</p>
19	<p>【企業名】 有限責任事業組合「Bal Textile」</p> <p>【ウェブサイト URL】 <a href="https://baltexstil.kz/en/main/">https://baltexstil.kz/en/main/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 合成プロピレン系を原料とする絨毯および絨毯製品製造</p>
20	<p>【企業名】 養蜂農場「Paseka」</p> <p>【ウェブサイト URL】 <a href="http://paseka-111.kz/">http://paseka-111.kz/</a> （英語）</p> <p>【活動分野】 養蜂製品（天然はちみつ、花粉、ビーポーレン、ローヤルゼリー、蜜蝋）の生産・加工・分包・販売</p>

## 2. バーチャル展示会

2022年1月24日（月）からは、バーチャル展示会を開催した。バーチャル空間に設けられた展示会の会場に各国のナショナルブースが設置された。

国旗をモチーフとした国別カラー（カザフスタン：水色、ウズベキスタン：黄緑、キルギス：赤、タジキスタン：金、トルクメニスタン：深緑、日本：白）や民族的模様で飾られたナショナルブースでは、各国（タジキスタンを除く）の挨拶動画が放映され、来場者を出迎えた。ブース内には、B2B（商談会）の候補となる企業・組織・政府機関のパネルが掲示され、パネルをクリックすると基礎情報や製品・プロジェクトを紹介するカード、動画などの展示コンテンツを見られる仕組みとなっている。また、ブース内にはスクリーンが設置され、そこでも国や企業の紹介動画、またオンラインイベント後にはアーカイブ動画を見ることができる。

それぞれのブースでは、ナショナルウィーク中に開催するオンラインイベントへの申し込みをはじめ、B2B（商談会）希望や問い合わせを受け付けたほか、対象国に関する基礎情報をQ&A形式で掲載し、情報提供を行った。また新たな試みとして、ブース・オペレータとして登録した各国の現地事務局がチャットや名刺交換等、来場者とダイレクトに交流できるコミュニケーション機能を設けた。

展示会場の中央に設置された特設スクリーンは、ナショナルウィークごとに対象国のPR映像に切り替わり、こちらでも当該国のブース内と同様の動画コンテンツを見ることができる。

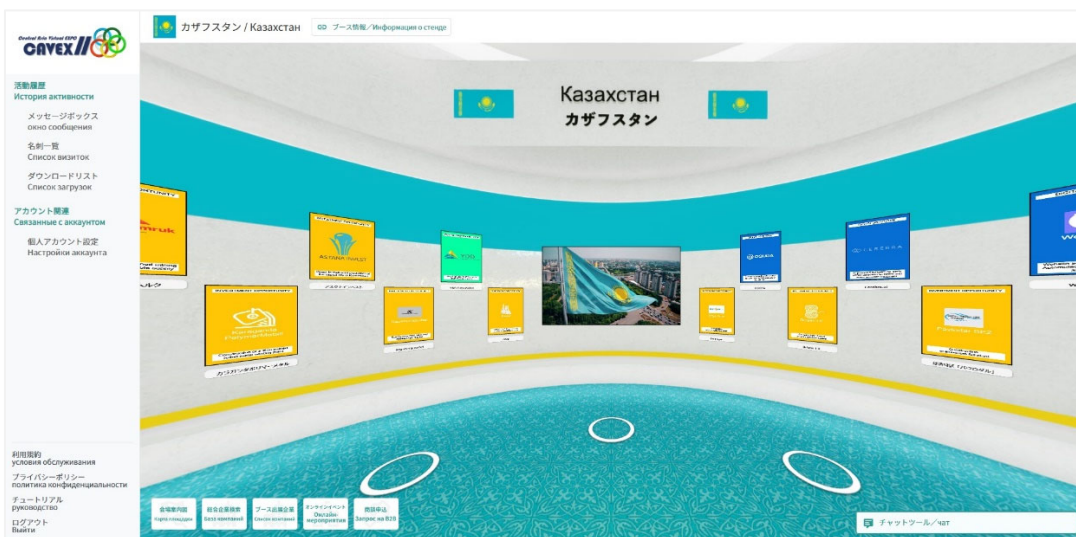
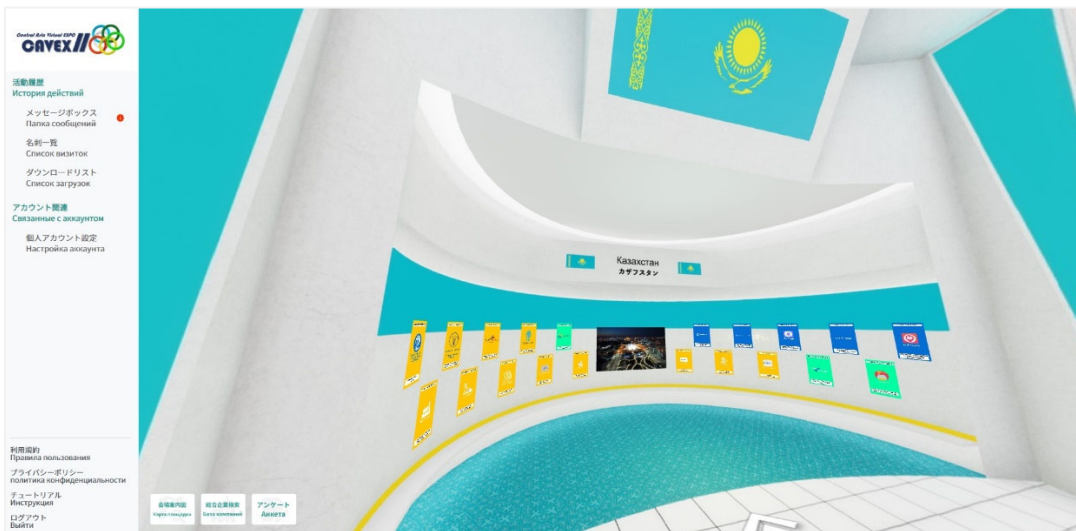
### バーチャル展示会会場



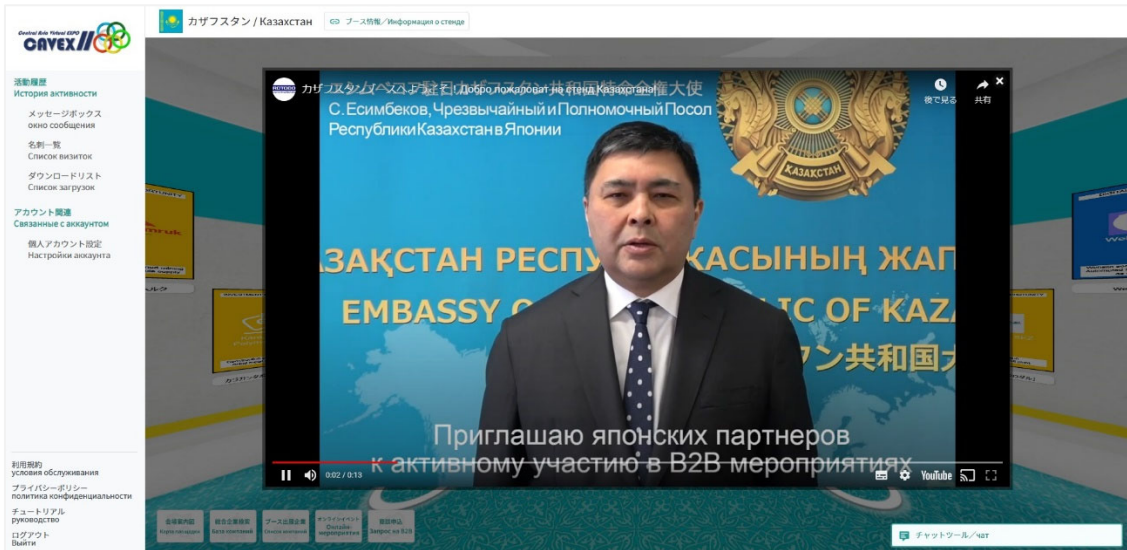
## バーチャル展示会：中央スクリーン（カザフスタン・ナショナルウィーク）



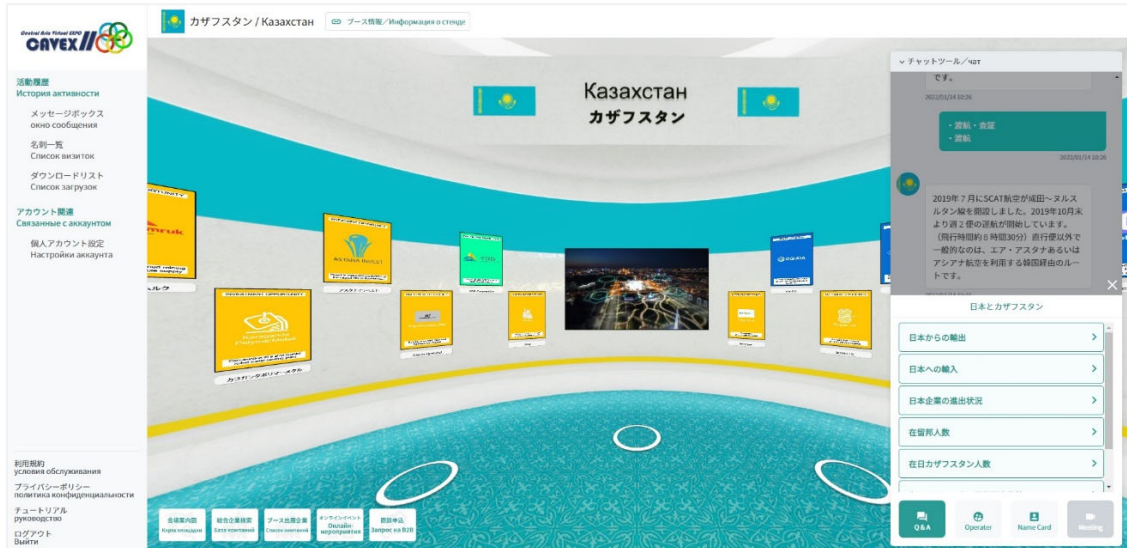
## バーチャル展示会：カザフスタンブース



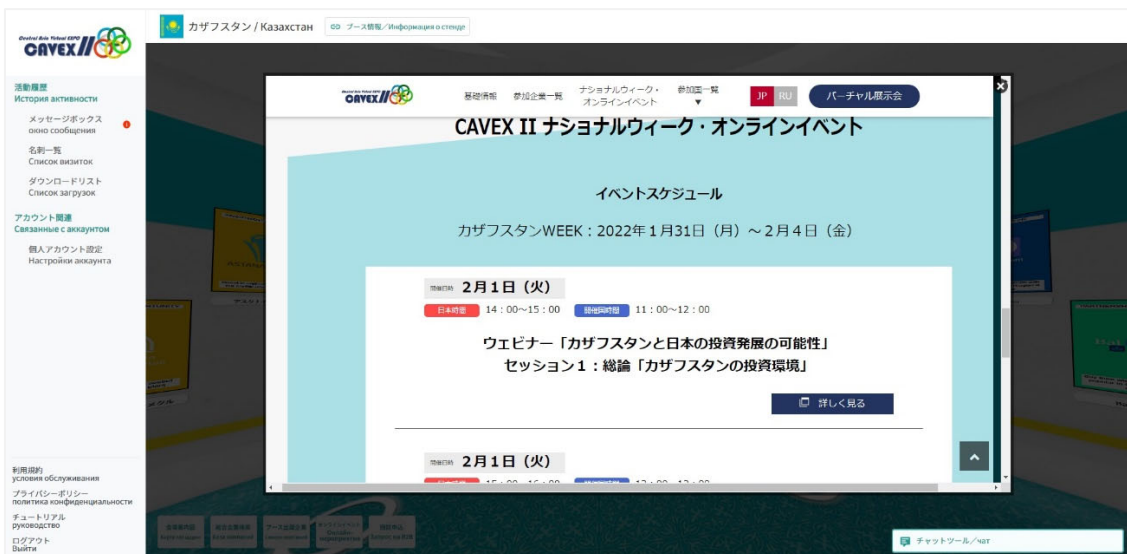
## バーチャル展示会：カザフスタンブース (挨拶動画)



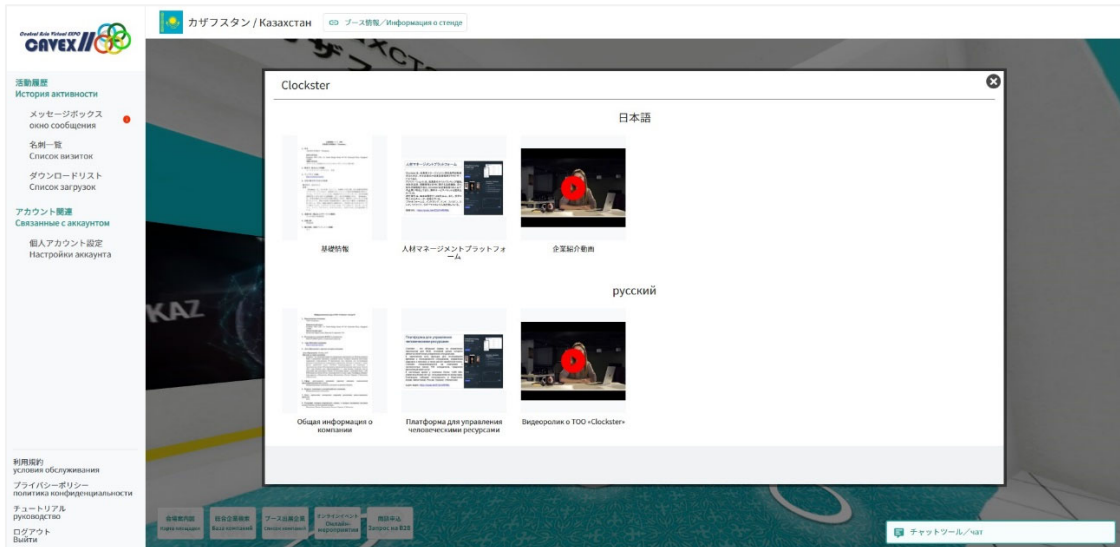
## バーチャル展示会：カザフスタンブース (Q & A)



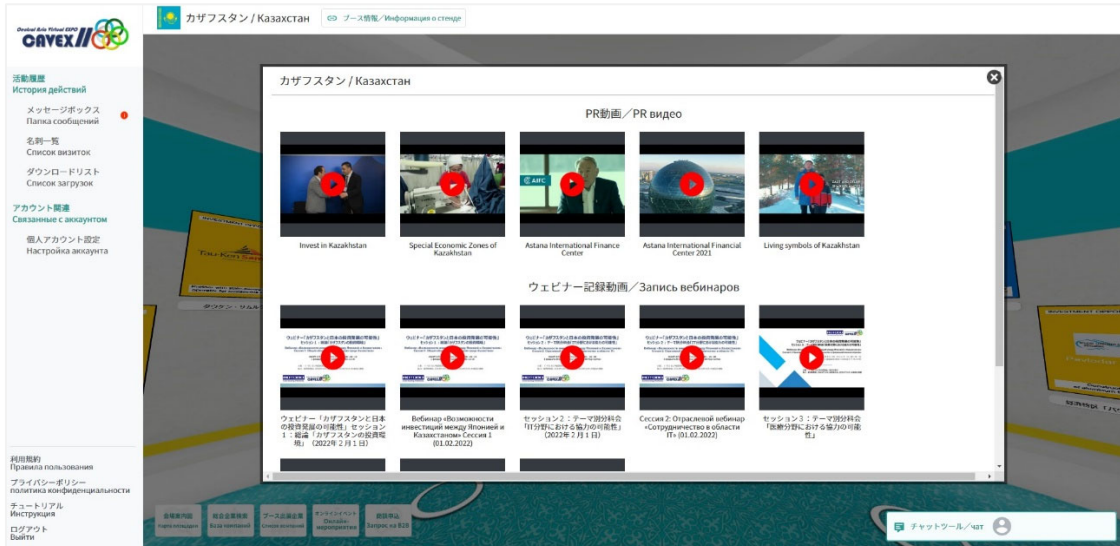
## バーチャル展示会：カザフスタンブース (オンラインイベント案内)



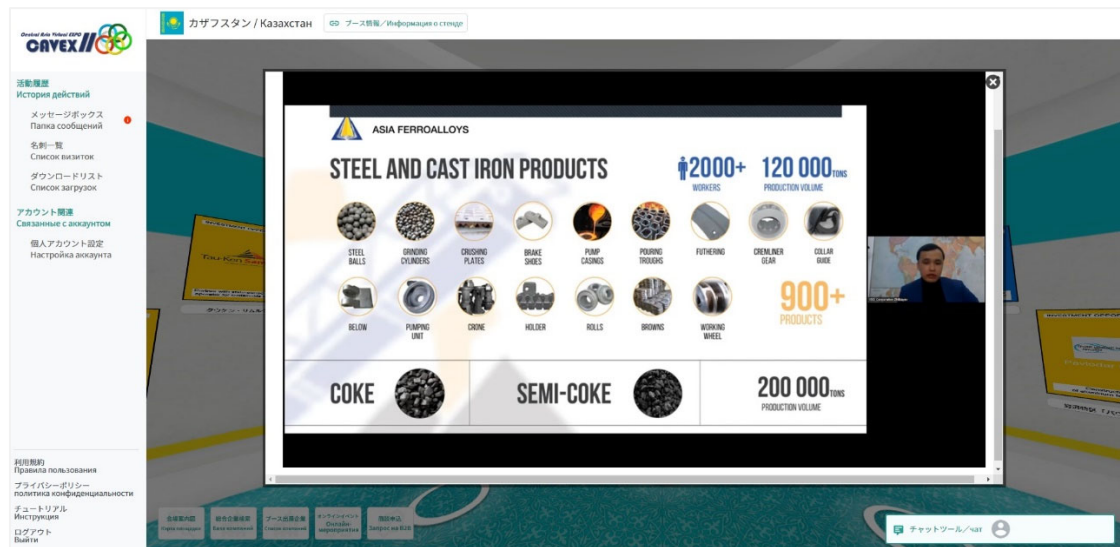
## バーチャル展示会:カザフスタンプース(企業情報)



## バーチャル展示会:カザフスタンプース(PR動画)



## バーチャル展示会:カザフスタンプース(オンラインイベントアーカイブ動画)



# カザフスタン概要

(一社)ロシアNIS貿易会  
2021年10月現在

## 1. 基本情報

(1) 地勢：旧ソ連中央アジアの北部、ユーラシア大陸の真ん中に位置する。国土の大半が草原。カスピ海周辺に石油・天然ガス、また全国土にウラン、鉄鉱石、銅など豊富な鉱物資源が埋蔵する。



(2) 面積：272万4,900km<sup>2</sup>（日本の7.2倍）

(3) 人口：1,888.0万人（2021年初）

(4) 首都：ヌルスルタン市（旧アスタナ）

(5) 主要都市：アルマトィ（197.7万人）、ヌルスルタン（118.4万人）、シムケント（107.4万人）、アクトベ（51.2万人）、カラガンダ（50.1万人）など（2021年初）。



(出所) 外務省ウェブサイトより

(5) 民族：カザフ人（68.5%）、ロシア人（18.9%）、ウズベク人（3.3%）、ウイグル人（1.5%）、ウクライナ人（1.4%）など（2020年初）。カザフ人はもともとアジア系の遊牧民族。

(6) 言語：国家言語はカザフ語（トルコ語系の言語）。ただし、ロシア語も憲法上の公式言語として広範に使用される。

(7) 宗教：カザフ人、ウズベク人はイスラム教スンニ派（ただし、戒律は中東・湾岸に比べると厳しくはない）、ロシア人はキリスト教のロシア正教。

## 2. 政治情勢

(1) 独立

1991年12月 ソ連邦解体とともに独立。（それまではソ連邦を構成するカザフ・ソヴィエト社会主義共和国）

## (2) 大統領

K. トカエフ (TOKAYEV, Kasym-Zhomart Kemelevich)。1953年生れ (68歳)。前政権下で外相、副首相、首相等を歴任した重鎮で、前大統領に極めて忠実な人物として知られる。1919年3月のナザルバエフ大統領辞任表明の際、上院議長であったため憲法の規定により大統領に就任、同年6月の選挙によって大統領に選出される(得票率:70.76%)。

(参考) N. ナザルバエフ (NAZARBAYEV, Nursultan Abishevich)。1940年生れ (81歳)。1991年12月、国民の直接投票により初代大統領に選出。以降、2019年3月まで30年近くその座にあったが、突然辞任を表明した。ただし、憲法および特別法により同氏には初代大統領として多くの終身特権が認められており、現状を事実上の院政とする見方もある。

## 3. 経済状況

### (1) 経済水準

(イ) GDP (2020年) : 1,647.9億ドル。

(ロ) 国民1人当たりGDP (2020年) : 8,732.6ドル (推定値)。

(ハ) 1人あたり名目平均月額給与 (2020年) : 21万3,003テンゲ (約496ドル)。

### (2) 主要産業・輸出品

(イ) 主要産業: 石油・金属、石炭等の地下資源採掘、鉄・非鉄金属産業、農業(穀物)。

(ロ) 主要輸出品: 原油、鉄・非鉄金属、穀物。

### (3) 経済指標 (前年比増減率、%)

表1 カザフスタンの主要経済指標

(前年同期比実質増減率、%)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020
国内総生産 (GDP)	1.2	1.1	4.1	4.1	4.5	▲2.6
鉱工業生産	▲1.6	▲1.1	7.3	4.4	4.1	▲0.7
農林水産業生産	3.4	5.4	3.1	3.5	▲0.1	5.6
固定資本投資	3.7	2.0	5.8	17.5	8.8	▲3.4
商品小売販売高	▲2.5	2.0	2.7	5.7	5.9	▲4.1
インフレ率 (消費者物価指数)	6.6	14.6	7.4	6.0	5.3	6.8

## 4. 貿易・投資

### (1) 貿易

#### (イ) 貿易額

輸出（2020年）：469億4,970万ドル。

輸入（2020年）：380億8,140万ドル

#### (ロ) 主要貿易国

輸出（2020年）：①米国（19.2%）、①オランダ（14.2%）、③ドイツ（10.4%）。

輸入（2020年）：①ドイツ（34.9%）、②米国（16.8%）、③ウクライナ（12.8%）。

### (2) 日本との関係

(イ) 2019年度までの日本の対カザフスタン累計援助額は有償、無償、技術協力あわせ約1,151.4億円。2000年以降のカザフスタンの急速な経済成長を受け、過去10年は有償の大型案件はほとんどなくなっており、他の中央アジア諸国とは異なりドナーとしての日本の存在感は小さい。

カザフスタンの貿易に占める日本の比率は過去5年間、輸出入ともに総額の1～2%の間を推移、大きな変化はない。二国間の貿易は同国の独立以来、ほぼ一貫して日本入超で、輸入はかつてその全量がフェロアロイ（合金鋼）であったが、近年、原油が主要輸出品目に加わった。カスピ海沖の石油開発に日本企業が参加していることによるもので、中央アジア地域では珍しい大型直接投資案件となっている。

#### (ロ) 日本との貿易

日本の輸出（2020年）：3億6,207万ドル。自動車（40.9%）、鋼管（20.3%）、鉱山・建設用機械（9.3%）。

日本の輸入（2020年）：7億4,563万ドル。原油及び粗油（46.8%）、合金鋼（48.3%）。

#### (ハ) 二国間条約

2004年8月 日・カザフスタン技術協力協定署名（2005年6月発効）。

2008年12月 日・カザフスタン租税条約署名（2009年12月発効）。

2010年3月 日・カザフスタン原子力協定署名（2011年5月発効）。

2014年10月 日・カザフスタン投資協定署名（2015年10月発効）。

(ニ) 在留邦人数（2019年10月現在）：171人。（外務省ウェブサイトより）

※数値の出所は特に断りのない限り、カザフスタン国家経済省統計委員会、CIS統計委員会、IMF、日本外務省、日本財務省。

---

---

令和3年度国庫補助事業  
中央アジア地域等貿易投資促進事業  
中央アジア投資環境整備・ビジネス振興事業  
産業育成ビジネスマッチング事業

## 第2回中央アジア・バーチャルEXPO (CAVEX II) 国別オンラインイベント報告書:カザフスタン

2022年3月発行

編集・発行

一般社団法人ロシアNIS貿易会

ロシアNIS経済研究所

東京都中央区新川1-2-12

電話 (03) 3551-6218

---

---

©禁無断転載